

重症心身障害児者実態調査報告書

平成 29 年 3 月

名古屋市健康福祉局

●● 目 次 ●●●●

1	本人・家族向調査	3
	調査概要	5
	調査結果	6
	○ご本人の状況	7
	○日常生活の状況	13
	○医療に関する状況	25
	○福祉サービスの利用状況	29
	○家族（介護者）の状況	36
	○『名古屋市重症心身障害児者施設ティンクルなごや』について	45
	○その他	47
2	診療所向調査	51
	調査概要	53
	調査結果	54
3	福祉サービス事業所等向調査	69
	調査概要	71
	調査結果	72
	（参考）調査票	85

1 本人・家族向調査

調査概要〔本人・家族向調査〕

1 目的

この調査は、名古屋市全体の重症心身障害児者の生活実態や在宅又は施設での生活に必要なとされる支援等を把握し、今後の重症心身障害児者の施策検討のための基礎資料とする。

2 調査期間

平成 28 年 8 月 2 日～平成 28 年 8 月 26 日（調査基準日：平成 28 年 8 月 1 日）

3 調査対象

平成 28 年 6 月 1 日現在、市内在住又は本市が入所決定して市外施設に入所している重症心身障害児者

なお、重症心身障害児者とは、次のいずれかの条件を満たす方とした。

- （１）愛護手帳が１度又は２度で、かつ身体障害者手帳の肢体不自由（下肢、体幹又は脳原性による移動機能障害）の程度が１級又は２級の方
- （２）児童相談所が重症心身障害児として認定している方

4 調査方法

調査票を対象者に郵送し、同封の封筒で郵送により回収

5 調査項目

調査の内容は次の項目により構成した。

- ご本人の状況
- 日常生活の状況
- 医療に関する状況
- 福祉サービスの利用状況
- 家族（介護者）の状況
- 『名古屋市重症心身障害児者施設ティンクルなごや』について
- その他

6 回収状況

発送・回収状況は次のとおりである。

発送件数 A	回収数 B	回収率 B/A	有効回答数 C	有効回答率 C/A
1,201 件	758 件	63.1%	758 件	63.1%

7 その他

- ・結果の取りまとめは、調査票の設問順を基準とした。
- ・nは、質問に対する回答なし（不明）を含む集計対象数で、割合算出の基準である。
- ・割合はnに対する各選択肢の百分率（％）で小数点以下第２位を四捨五入し、小数点第１位までを表記した。また、割合の合計が 100.0％となるよう、個々の選択肢の割合を調整した。
- ・一人の回答者が二つ以上回答することができる設問は、各選択肢の割合の合計は 100.0％を超えている。

調査結果

1 記入者

問1 このアンケートにお答えいただくのはどなたですか。ご本人（障害児・者）から見た続柄で1つだけ○をつけてください。

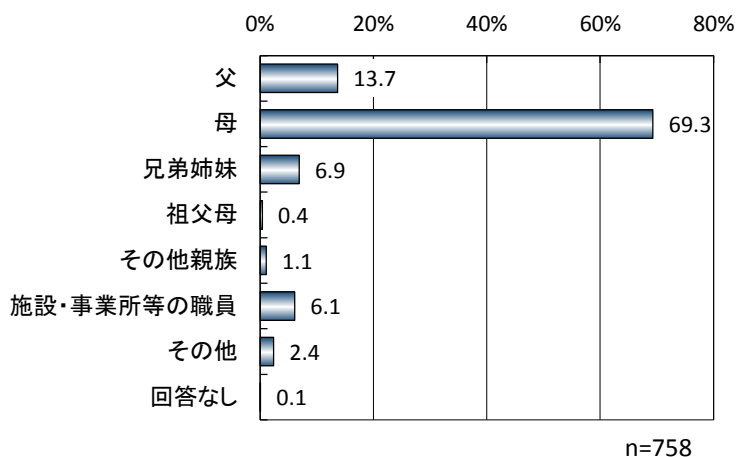
「母」が69.3%と最も多く、次いで「父」が13.7%、「兄弟姉妹」が6.9%となっている。

表1 記入者

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

父	母	兄弟姉妹	祖父母	その他親族	施設・事業所等の職員	その他	回答なし	計
104 13.7	526 69.3	52 6.9	3 0.4	8 1.1	46 6.1	18 2.4	1 0.1	758 100.0

図1 記入者



2 生活場所

問2 ご本人が現在生活しているところについて、1つだけ○をつけてください。
〔 短期入所中、入所又は入院中の方は、それまでに普段生活していたところを選択してください。 〕

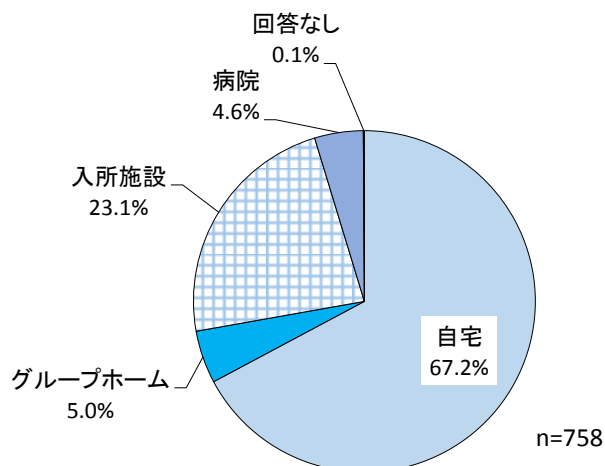
「自宅」が67.2%と最も多く、次いで「入所施設」が23.1%となっている。

表2 生活場所

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

自宅	グループホーム	入所施設	病院	回答なし	計
509 67.2	38 5.0	175 23.1	35 4.6	1 0.1	758 100.0

図2 生活場所



○ご本人の状況

1 性別

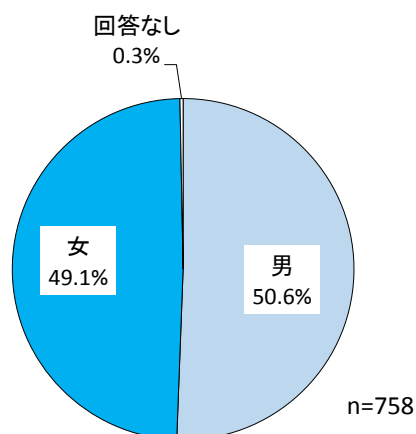
問3 ご本人の性別に○をつけてください。

「男」が50.6%、「女」が49.1%となっている。

表3 性別 [上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

男	女	回答なし	計
384 50.6	372 49.1	2 0.3	758 100.0

図3 性別



2 年齢

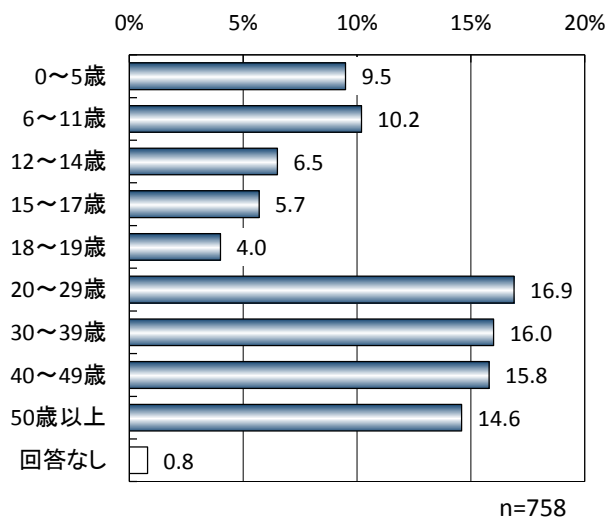
問4 ご本人の年齢を記入してください。（平成28年8月1日現在）

「0～5歳」及び「6～11歳」は計19.7%、「20～39歳」が16.9%、「12～14歳」、「15～17歳」及び「18～19歳」は計16.2%となっている。

表4 年齢 [上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

0～5歳	6～11歳	12～14歳	15～17歳	18～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50歳以上	回答なし	計
72 9.5	77 10.2	49 6.5	43 5.7	30 4.0	129 16.9	121 16.0	120 15.8	111 14.6	6 0.8	758 100.0

図4 年齢



3 身長・体重

問5 ご本人の身長と体重を記入してください。

身長は、「140～150 cm未満」が 22.2%と最も多く、次いで「150～160 cm未満」が 20.6%、「160～170 cm未満」が 12.8%となっている。

体重は、「30～40 kg未満」が 21.2%と最も多く、次いで「10～20 kg未満」が 18.6%、「40～50 kg未満」が 18.1%となっている。

表 5-1 身長

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

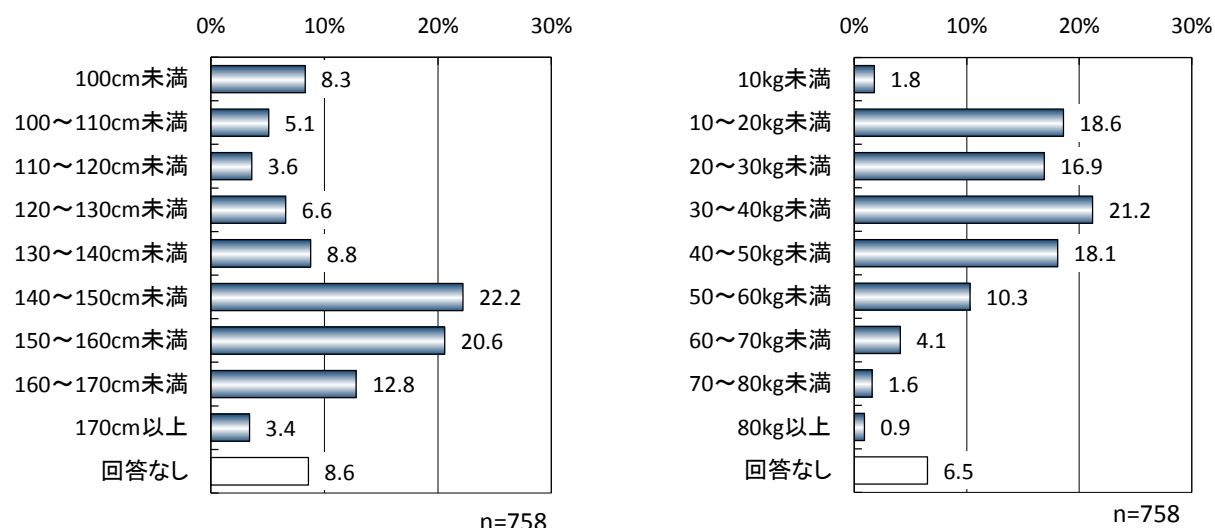
100cm 未満	100～ 110cm 未満	110～ 120cm 未満	120～ 130cm 未満	130～ 140cm 未満	140～ 150cm 未満	150～ 160cm 未満	160～ 170cm 未満	170cm 以上	回答なし	計
63 8.3	39 5.1	27 3.6	50 6.6	67 8.8	168 22.2	156 20.6	97 12.8	26 3.4	65 8.6	758 100.0

表 5-2 体重

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

10kg 未満	10～20kg 未満	20～30kg 未満	30～40kg 未満	40～50kg 未満	50～60kg 未満	60～70kg 未満	70～80kg 未満	80kg 以上	回答なし	計
14 1.8	141 18.6	128 16.9	161 21.2	137 18.1	78 10.3	31 4.1	12 1.6	7 0.9	49 6.5	758 100.0

図 5 身長・体重



4 居住区

問6 ご本人のお住まいの区を記入してください。
 なお、ご本人がグループホームに入居中の場合はグループホームの所在区、入所・入院中の場合は、入所・入院する前の居住区を記入してください。

「西区」が12.1%と最も多く、次いで「北区」が10.8%、「緑区」が9.5%となっている。

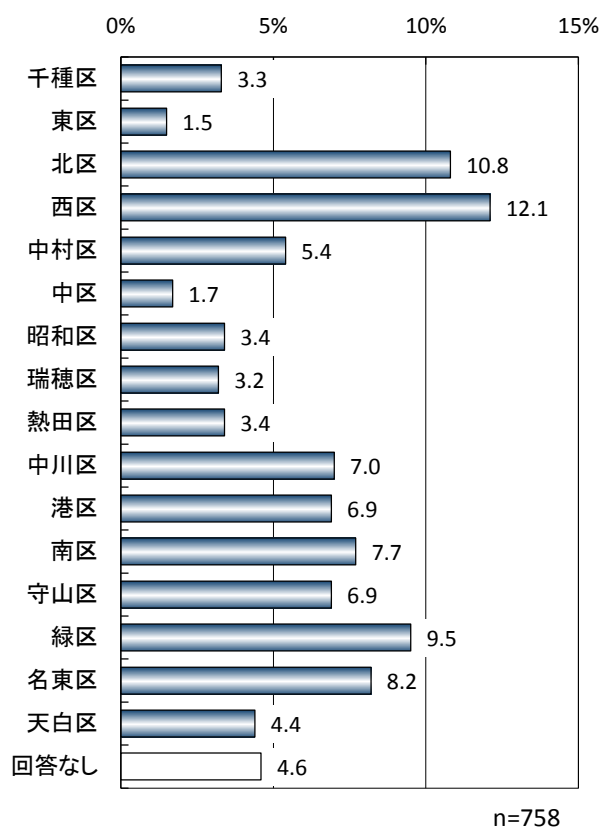
表6 居住区

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

千種区	東区	北区	西区	中村区	中区	昭和区	瑞穂区	熱田区	中川区
25 3.3	11 1.5	82 10.8	93 12.1	41 5.4	13 1.7	26 3.4	24 3.2	26 3.4	53 7.0

港区	南区	守山区	緑区	名東区	天白区	回答なし	計
52 6.9	58 7.7	52 6.9	72 9.5	62 8.2	33 4.4	35 4.6	758 100.0

図6 居住区



5 手帳所持状況

問7 ご本人の手帳の内容について記入してください。

「身体障害者手帳」は97.2%が所持しており、そのうち「1級」と「2級」の割合は計98.9%となっている。

「愛護手帳（療育手帳含む）」は92.5%が所持しており、そのうち「1度」、「2度」及び「A判定」の割合は計99.1%となっている。

表 7-1 手帳所持状況 [上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

身体障害者手帳	愛護手帳 (療育手帳含む)	回答なし	計
737	701	12	758
97.2	92.5	1.6	100.0

図 7-1 手帳所持状況

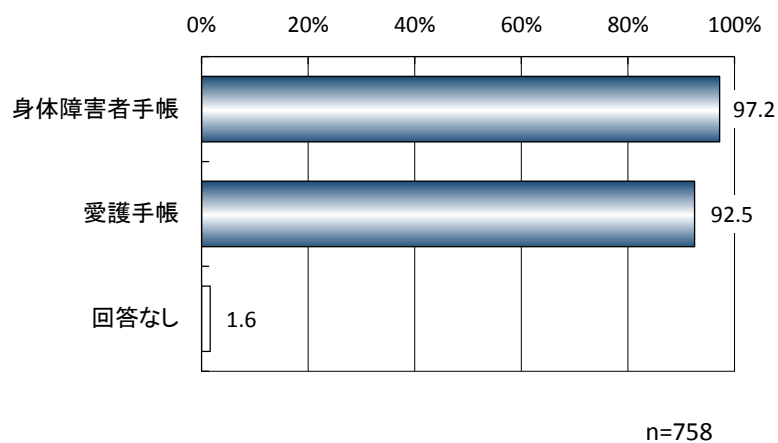


表 7-2 身体障害者手帳等級

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

1級	2級	3級	4級	5級	6級	回答なし	計
515	214	2	1	1	2	2	737
69.9	29.0	0.3	0.1	0.1	0.3	0.3	100.0

図 7-2 身体障害者手帳等級

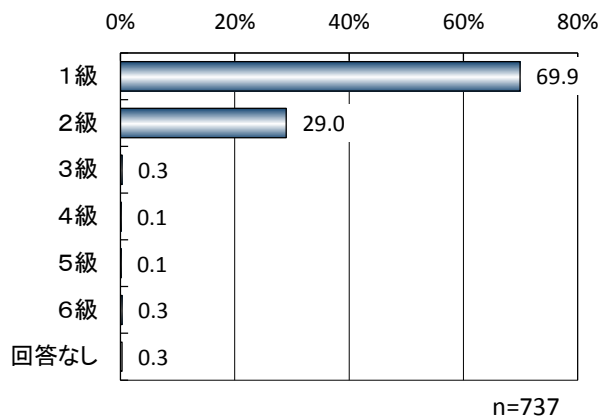
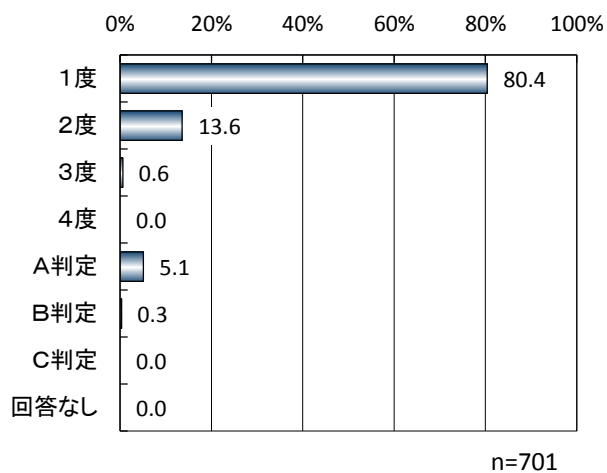


表 7-3 愛護手帳等級

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

1度	2度	3度	4度	A判定	B判定	C判定	回答なし	計
564	95	4	0	36	2	0	0	701
80.4	13.6	0.6	0.0	5.1	0.3	0.0	0.0	100.0

図 7-3 愛護手帳等級



6 障害支援区分認定の有無

問8 ご本人は、障害支援区分の認定を受けていますか。いずれかに○をつけてください。

「受けている」が82.8%となっており、そのうち「区分6」の人は76.8%となっている。

表 8-1 障害支援区分認定の有無

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

受けている	受けていない	回答なし	計
423 82.8	27 5.3	61 11.9	511 100.0

図 8-1 障害支援区分認定の有無

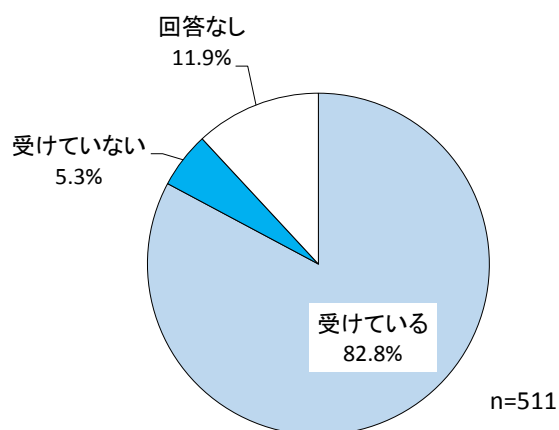
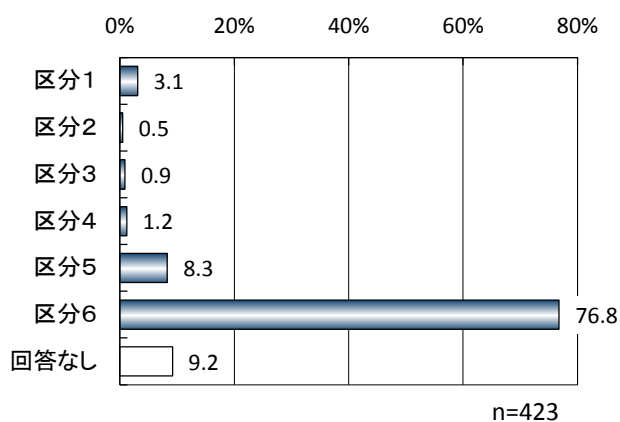


表 8-2 障害支援区分

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	回答なし	計
13 3.1	2 0.5	4 0.9	5 1.2	35 8.3	325 76.8	39 9.2	423 100.0

図 8-2 障害支援区分



○日常生活の状況

1 学校教育の場所

問9 ご本人が義務教育対象年齢の方にお聞きします。学校教育はどこで受けていますか。1つだけ○をつけてください。

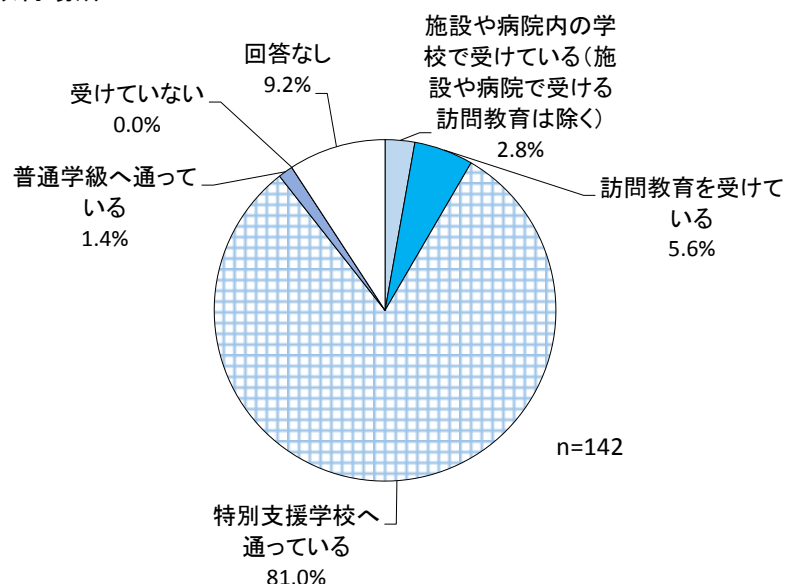
「特別支援学校へ通っている」が81.0%となっている。

表9 学校教育場所

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

施設や病院内の学校で受けている（施設や病院で受ける訪問教育は除く）	訪問教育を受けている	特別支援学校へ通っている	普通学級へ通っている	受けていない	回答なし	計
4 2.8	8 5.6	115 81.0	2 1.4	0 0.0	13 9.2	142 100.0

図9 学校教育場所



2 移動の状況

問 10 ご本人の移動の状況はいかがですか。1つだけ○をつけてください。

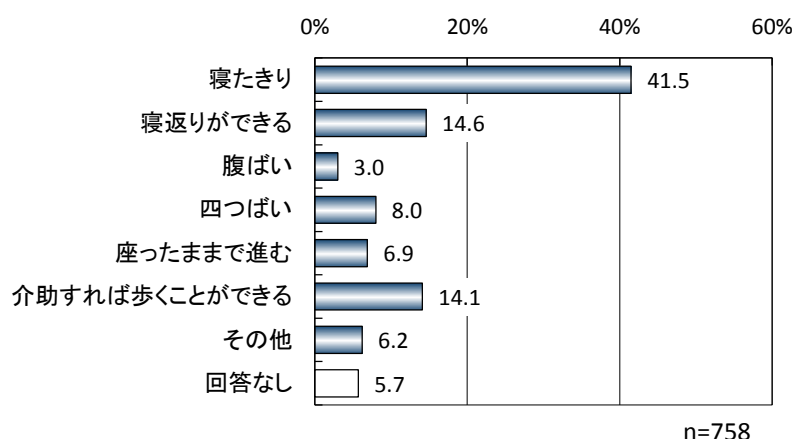
「寝たきり」が41.5%と最も多く、次いで「寝返りができる」が14.6%、「介助すれば歩くことができる」が14.1%となっている。

表 10-1 移動の状況

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

寝たきり	寝返りができる	腹ばい	四つばい	座ったままで進む	介助すれば歩くことができる	その他	回答なし	計
314 41.5	111 14.6	23 3.0	61 8.0	52 6.9	107 14.1	47 6.2	43 5.7	758 100.0

図 10 移動の状況



生活場所別でみると、「寝たきり」の方は、「自宅」で42.3%、「入所施設」で39.4%、「病院」で65.6%と最も多く、「介助すれば歩くことができる」方は、「グループホーム」で39.4%と最も多くなっている。

表 10-2 移動の状況（生活場所別）

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

区分	寝たきり	寝返りができる	腹ばい	四つばい	座ったままで進む	介助すれば歩くことができる	その他	回答なし	計
自宅	215 42.3	82 16.1	18 3.5	50 9.8	33 6.5	65 12.8	24 4.7	22 4.3	509 100.0
グループホーム	7 18.4	3 7.9	1 2.6	2 5.3	2 5.3	15 39.4	5 13.2	3 7.9	38 100.0
入所施設	69 39.4	25 14.3	4 2.3	9 5.1	14 8.0	26 14.9	15 8.6	13 7.4	175 100.0
病院	23 65.6	1 2.9	0 0.0	0 0.0	3 8.6	1 2.9	3 8.6	4 11.4	35 100.0
回答なし	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	1 100.0
計	314 41.5	111 14.6	23 3.0	61 8.0	52 6.9	107 14.1	47 6.2	43 5.7	758 100.0

3 移動の手段

問 11 ご本人の移動の手段はいかがですか。1つだけ○をつけてください。

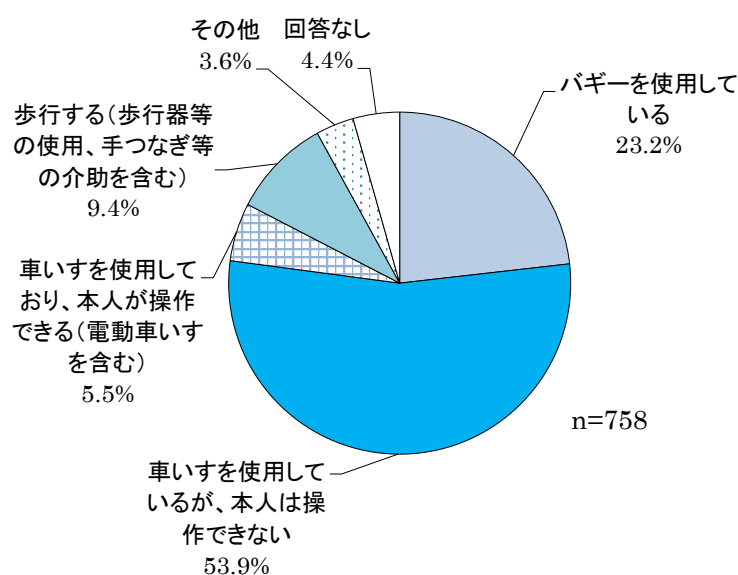
「車いすを使用しているが、本人は操作できない」が 53.9%と最も多く、次いで「バギーを使用している」が 23.2%となっている。

表 11-1 移動の手段

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

バギーを使用している	車いすを使用しているが、本人は操作できない	車いすを使用しており、本人が操作できる(電動車いすを含む)	歩行する(歩行器等の使用、手つなぎ等の介助を含む)	その他	回答なし	計
176 23.2	409 53.9	42 5.5	71 9.4	27 3.6	33 4.4	758 100.0

図 11 移動の手段



生活場所別でみると、「車いすを使用しているが、本人は操作できない」方は、すべての区分で最も多く、次いで「バギーを使用している」方は、「自宅」で 31.2%、「歩行する（歩行器等の使用、手つなぎ等の介助を含む）」方は、「グループホーム」で 28.9%となっている。

表 11-2 移動の手段（生活場所別）

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

区分	バギーを使用している	車いすを使用しているが、本人は操作できない	車いすを使用しており、本人が操作できる(電動車いすを含む)	歩行する(歩行器等の使用、手つなぎ等の介助を含む)	その他	回答なし	計
自宅	159 31.2	247 48.7	21 4.1	43 8.4	21 4.1	18 3.5	509 100.0
グループホーム	2 5.3	20 52.6	2 5.3	11 28.9	1 2.6	2 5.3	38 100.0
入所施設	11 6.3	119 68.0	18 10.3	15 8.6	2 1.1	10 5.7	175 100.0
病院	4 11.4	23 65.7	1 2.9	2 5.7	3 8.6	2 5.7	35 100.0
回答なし	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	1 100.0
計	176 23.2	409 53.9	42 5.5	71 9.4	27 3.6	33 4.4	758 100.0

4 意思表示・言語の状況

問 12 ご本人の意思表示・言語はいかがですか。1つだけ○をつけてください。

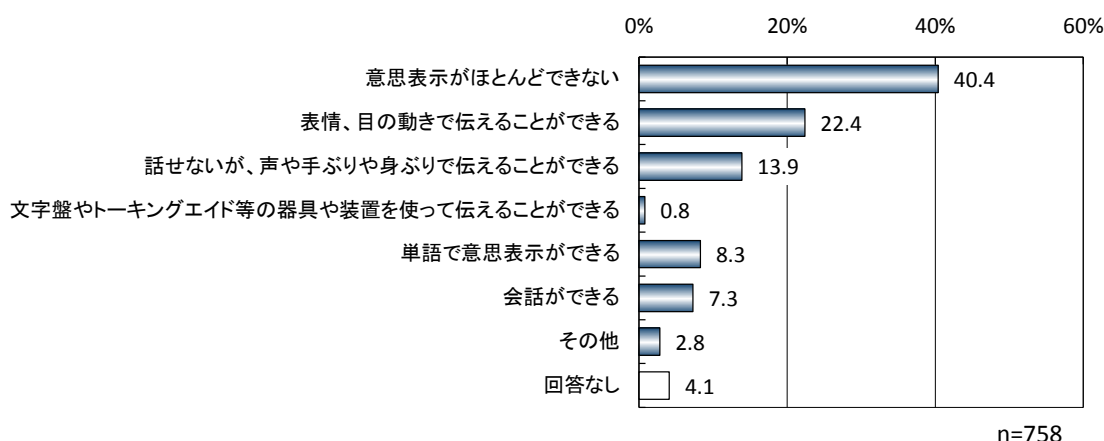
「意思表示がほとんどできない」が40.4%と最も多く、次いで「表情、目の動きで伝えることができる」が22.4%となっている。

表 12-1 意思表示・言語の状況

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

意思表示がほとんどできない	表情、目の動きで伝えることができる	話せないが、声や手ぶりや身ぶりで伝えることができる	文字盤やトーキングエイド等の器具や装置を使って伝えることができる	単語で意思表示ができる	会話ができる	その他	回答なし	計
307 40.4	170 22.4	105 13.9	6 0.8	63 8.3	55 7.3	21 2.8	31 4.1	758 100.0

図 12 意思表示・言語の状況



生活場所別でみると、「意思表示がほとんどできない」方は、「自宅」で37.1%、「グループホーム」で31.6%、「入所施設」で47.4%、「病院」で65.6%となっている。

一方、意思表示が可能な「表情、目の動きで伝えることができる」「話せないが、声や手ぶりや身ぶりで伝えることができる」「文字盤やトーキングエイド等の器具や装置を使って伝えることができる」「単語で意思表示ができる」「会話ができる」方の合計は、「自宅」で56.8%、「グループホーム」で57.8%、「入所施設」で45.2%、「病院」で25.8%となっている。

表 12-2 意思表示・言語の状況（生活場所別）

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

区分	意思表示がほとんどできない	表情、目の動きで伝えることができる	話せないが、声や手ぶりや身ぶりで伝えることができる	文字盤やトーキングエイド等の器具や装置を使って伝えることができる	単語で意思表示ができる	会話ができる	その他	回答なし	計
自宅	189 37.1	130 25.5	78 15.3	4 0.8	42 8.3	35 6.9	13 2.6	18 3.5	509 100.0
グループホーム	12 31.6	7 18.4	7 18.4	1 2.6	3 7.9	4 10.5	2 5.3	2 5.3	38 100.0
入所施設	83 47.4	27 15.4	19 10.9	1 0.6	17 9.7	15 8.6	4 2.3	9 5.1	175 100.0
病院	23 65.6	6 17.1	1 2.9	0 0.0	1 2.9	1 2.9	2 5.7	1 2.9	35 100.0
回答なし	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	1 100.0
計	307 40.4	170 22.4	105 13.9	6 0.8	63 8.3	55 7.3	21 2.8	31 4.1	758 100.0

5 食事の状況

問 13 ご本人の食事の状況はいかがですか。1つだけ○をつけてください。

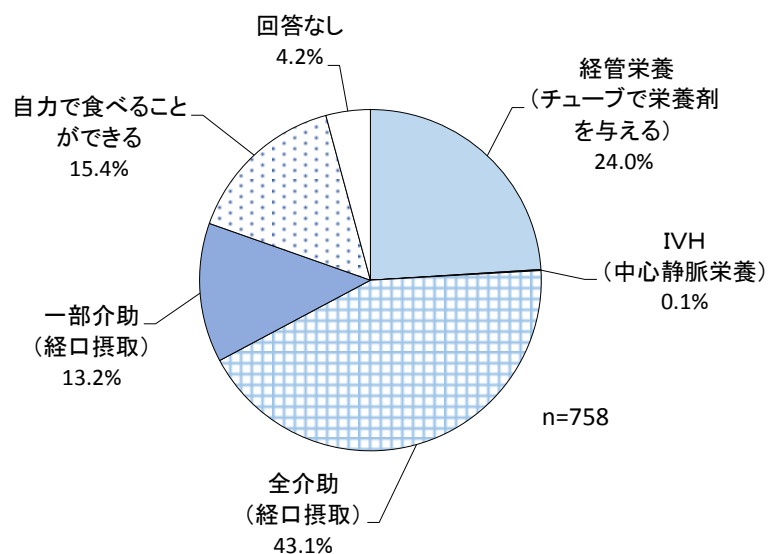
「全介助（経口摂取）」が 43.1%と最も多く、次いで「経管栄養（チューブで栄養剤を与える）」が 24.0%、「自力で食べることができる」が 15.4%となっている。

表 13-1 食事の状況

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

経管栄養（チューブで栄養剤を与える）	IVH（中心静脈栄養）	全介助（経口摂取）	一部介助（経口摂取）	自力で食べることができる	回答なし	計
182 24.0	1 0.1	326 43.1	100 13.2	117 15.4	32 4.2	758 100.0

図 13 食事の状況



生活場所別でみると、「全介助（経口摂取）」の方は、「自宅」で 47.2%、「グループホーム」で 36.8%、「入所施設」で 36.1%と最も多く、「経管栄養（チューブで栄養剤を与える）」の方は、「病院」で 51.4%と最も多くなっている。

表 13-2 食事の状況（生活場所別）

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

区分	経管栄養（チューブで栄養剤を与える）	IVH（中心静脈栄養）	全介助（経口摂取）	一部介助（経口摂取）	自力で食べることができる	回答なし	計
自宅	117 23.0	1 0.2	240 47.2	63 12.4	72 14.1	16 3.1	509 100.0
グループホーム	3 7.9	0 0.0	14 36.8	10 26.3	9 23.7	2 5.3	38 100.0
入所施設	44 25.1	0 0.0	63 36.1	24 13.7	34 19.4	10 5.7	175 100.0
病院	18 51.4	0 0.0	9 25.7	3 8.6	2 5.7	3 8.6	35 100.0
回答なし	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	1 100.0
計	182 24.0	1 0.1	326 43.1	100 13.2	117 15.4	32 4.2	758 100.0

6 食事に要する平均時間

問 14 一回の食事に要する平均時間について、1つだけ○をつけてください。

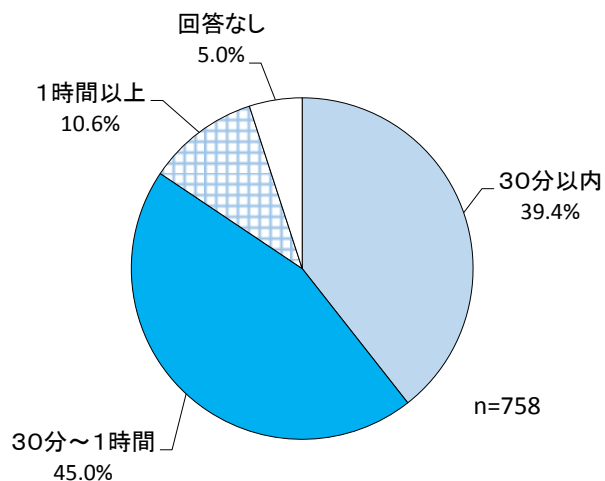
「30 分～1 時間」が 45.0%と最も多く、次いで「30 分以内」が 39.4%となっている。

表 14 食事に要する平均時間

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

30分以内	30分～1時間	1時間以上	回答なし	計
299 39.4	341 45.0	80 10.6	38 5.0	758 100.0

図 14 食事に要する平均時間



7 排泄の状況

問 15 ご本人の排泄の状況はいかがですか。1つだけ○をつけてください。

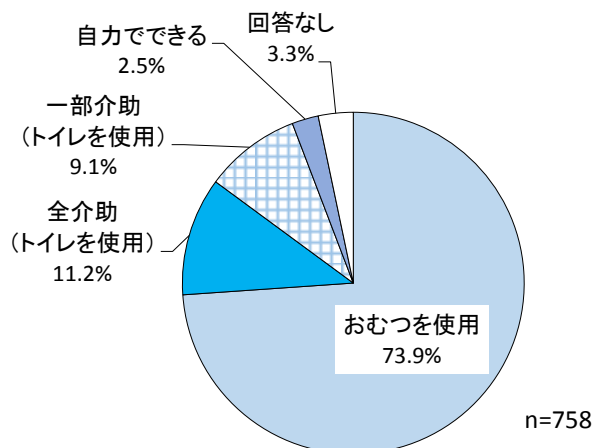
「おむつを使用」が73.9%と最も多い。

表 15-1 排泄の状況

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

おむつを使用	全介助 (トイレを使用)	一部介助 (トイレを使用)	自力でできる	回答なし	計
560 73.9	85 11.2	69 9.1	19 2.5	25 3.3	758 100.0

図 15 排泄の状況



生活場所別でみると、「おむつを使用」している方は、「自宅」で77.3%、「グループホーム」で39.5%、「入所施設」で67.3%、「病院」で91.4%と最も多くなっている。

また、介助によりトイレを使用する「全介助（トイレを使用）」又は「一部介助（トイレを使用）」が必要な方の合計は、「グループホーム」で50.0%となっている。

表 15-2 排泄の状況（生活場所別）

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

区分	おむつを使用	全介助 (トイレを使用)	一部介助 (トイレを使用)	自力でできる	回答なし	計
自宅	394 77.3	49 9.6	40 7.9	12 2.4	14 2.8	509 100.0
グループ ホーム	15 39.5	9 23.7	10 26.3	3 7.9	1 2.6	38 100.0
入所施設	118 67.3	26 14.9	19 10.9	4 2.3	8 4.6	175 100.0
病院	32 91.4	1 2.9	0 0.0	0 0.0	2 5.7	35 100.0
回答なし	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0
計	560 73.9	85 11.2	69 9.1	19 2.5	25 3.3	758 100.0

8 排泄の予告状況

問 16 ご本人の排泄の予告の状況はいかがですか。1 つだけ○をつけてください。

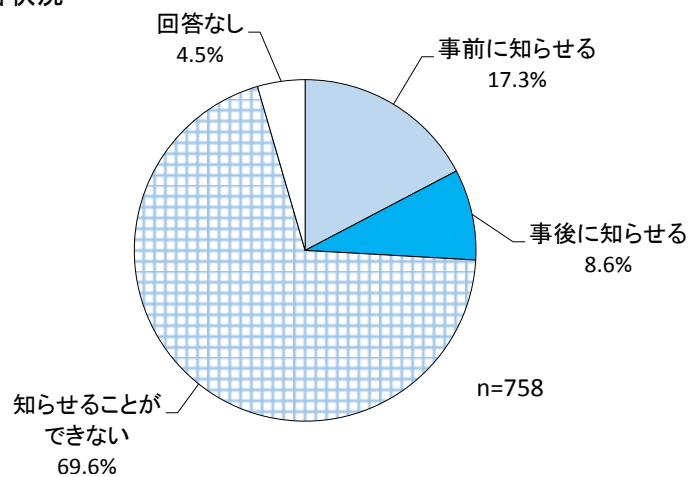
「知らせることができない」が 69.6%と最も多い。

表 16-1 排泄の予告状況

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

事前に知らせる	事後に知らせる	知らせることができない	回答なし	計
131 17.3	65 8.6	528 69.6	34 4.5	758 100.0

図 16 排泄の予告状況



意思表示・言語の状況別でみると、排泄を「事前に知らせる」方は、「文字盤やトーキングエイド等の器具や装置を使って伝えることができる」で66.6%、「単語で意思表示ができる」で50.7%、「会話ができる」で72.7%と最も多くなっている。

また、排泄を「知らせることができない」方は、「意思表示がほとんどできない」で94.4%、「表情、目の動きで伝えることができる」で74.0%、「話せないが、声や手ぶりや身ぶりで伝えることができる」で60.9%と最も多くなっている。

表 16-2 排泄の予告状況（意思表示・言語の状況別） [上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

区分	事前に知らせる	事後に知らせる	知らせることができない	回答なし	計
意思表示がほとんどできない	8 2.6	7 2.3	290 94.4	2 0.7	307 100.0
表情、目の動きで伝えることができる	12 7.1	29 17.1	126 74.0	3 1.8	170 100.0
話せないが、声や手ぶりや身ぶりで伝えることができる	27 25.7	13 12.4	64 60.9	1 1.0	105 100.0
文字盤やトーキングエイド等の器具や装置を使って伝えることができる	4 66.6	0 0.0	1 16.7	1 16.7	6 100.0
単語で意思表示ができる	32 50.7	11 17.5	17 27.0	3 4.8	63 100.0
会話ができる	40 72.7	4 7.3	10 18.2	1 1.8	55 100.0
その他	6 28.6	1 4.8	13 61.8	1 4.8	21 100.0
回答なし	2 6.5	0 0.0	7 22.6	22 70.9	31 100.0
計	131 17.3	65 8.6	528 69.6	34 4.5	758 100.0

排泄の状況別でみると、排泄を「事前に知らせる」方は、「全介助（トイレを使用）」で57.6%、「一部介助（トイレを使用）」で73.9%、「自力でできる」で78.9%と最も多くなっている。

また、排泄を「知らせることができない」方は、「おむつを使用」で86.2%と最も多くなっている。

表 16-3 排泄の予告状況（排泄の状況別） [上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

区分	事前に知らせる	事後に知らせる	知らせることができない	回答なし	計
おむつを使用	16 2.9	55 9.8	483 86.2	6 1.1	560 100.0
全介助(トイレを使用)	49 57.6	6 7.1	29 34.1	1 1.2	85 100.0
一部介助(トイレを使用)	51 73.9	4 5.8	12 17.4	2 2.9	69 100.0
自力でできる	15 78.9	0 0.0	3 15.8	1 5.3	19 100.0
回答なし	0 0.0	0 0.0	1 4.0	24 96.0	25 100.0
計	131 17.3	65 8.6	528 69.6	34 4.5	758 100.0

9 緩下剤・浣腸の使用状況

問 17 ご本人の排便に関して緩下剤又は浣腸を使用しますか。1つだけ○をつけてください。

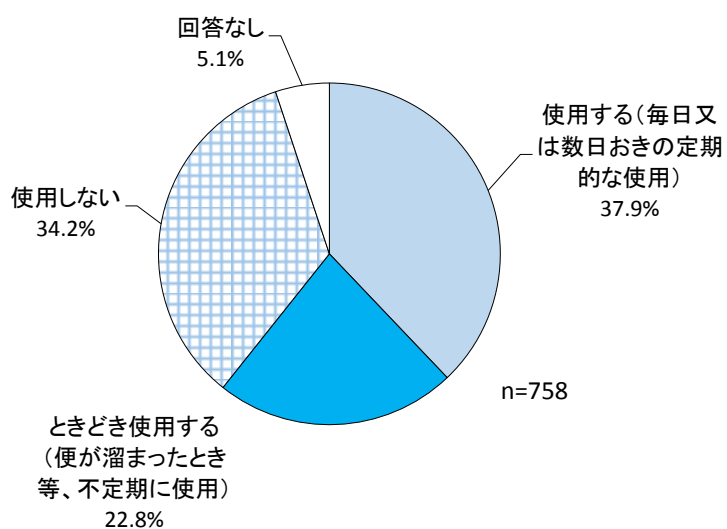
「使用する（毎日又は数日おきの定期的な使用）」が 37.9%と最も多く、次いで「使用しない」が 34.2%、「ときどき使用する（便が溜まったとき等、不定期に使用）」が 22.8%となっている。

表 17 緩下剤・浣腸の使用状況

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

使用する （毎日又は数日おきの 定期的な使用）	ときどき使用する （便が溜まったとき等、 不定期に使用）	使用しない	回答なし	計
287 37.9	173 22.8	259 34.2	39 5.1	758 100.0

図 17 緩下剤・浣腸の使用状況



10 発作の有無

問 18 ご本人はてんかん発作がありますか。いずれかに○をつけてください。また、「1. 発作あり」に○をつけた方は、その頻度について、平均回数を記入し、回答された回数の単位に○をつけてください。

「発作あり」が 50.5%となっており、そのうち発作の頻度は、「年に 1～5 回」が 25.0%と最も多く、次いで「日に 3～6 回」が 15.7%、「月に 1～3 回」が 13.3%となっている。

表 18-1 発作の有無 [上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

発作あり	発作なし	回答なし	計
383 50.5	337 44.5	38 5.0	758 100.0

図 18-1 発作の有無

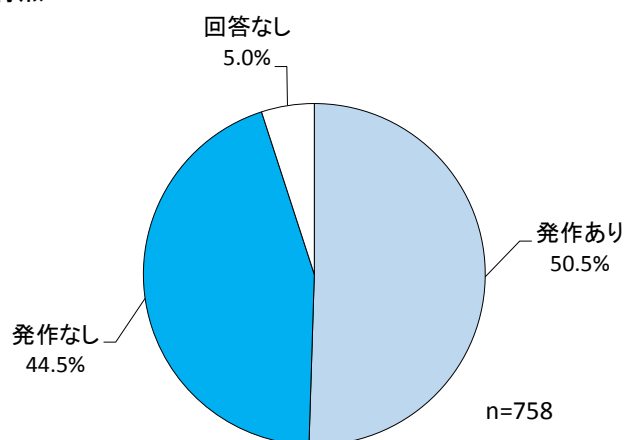
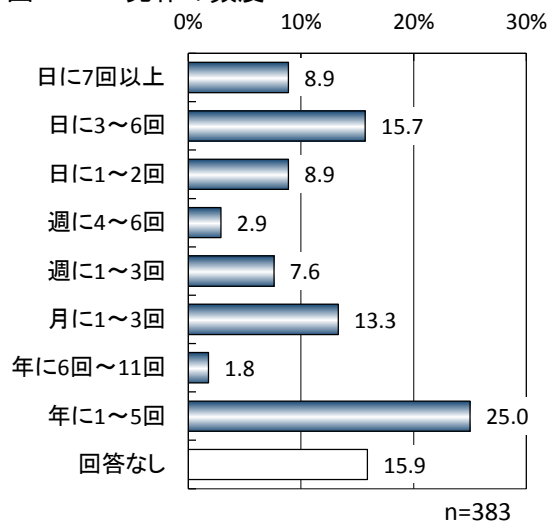


表 18-2 発作の頻度 [上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

日に 7 回以上	日に 3～6 回	日に 1～2 回	週に 4～6 回	週に 1～3 回	月に 1～3 回	年に 6～11 回	年に 1～5 回	回答なし	計
34 8.9	60 15.7	34 8.9	11 2.9	29 7.6	51 13.3	7 1.8	96 25.0	61 15.9	383 100.0

図 18-2 発作の頻度



1 1 投薬の状況

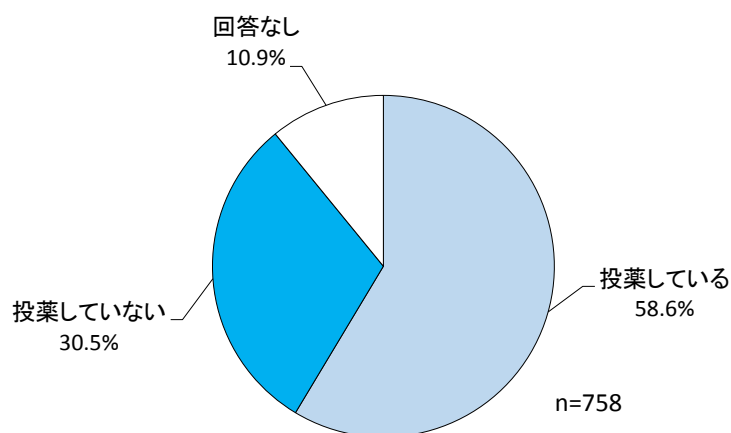
問 19 てんかん発作を抑える投薬はしていますか。いずれかに○をつけてください。

「投薬している」が 58.6%となっている。

表 19-1 投薬の状況 [上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

投薬している	投薬していない	回答なし	計
444 58.6	231 30.5	83 10.9	758 100.0

図 19 投薬の状況



発作の有無別でみると、「投薬している」方は「発作あり」で 93.2%、「発作なし」で 24.9%となっている。

表 19-2 投薬の状況（発作の有無別） [上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

区分	投薬している	投薬していない	回答なし	計
発作あり	357 93.2	25 6.5	1 0.3	383 100.0
発作なし	84 24.9	205 60.9	48 14.2	337 100.0
回答なし	3 7.9	1 2.6	34 89.5	38 100.0
計	444 58.6	231 30.5	83 10.9	758 100.0

○医療に関する状況

1 医療的処置の有無

問 20 ご本人に医療的処置を行っていますか。いずれかに○をつけてください。また、「1. 行っている」に○をつけた方は、行っている医療的処置すべてに○をつけてください。

「行っている」が 37.2%となっており、そのうち医療的処置は「経管栄養」が 70.6%と最も多く、次いで「吸引」が 63.1%となっている。

経管栄養の処置の種類では、「胃ろう」が 71.9%と最も多い。

表 20-1 医療的処置の有無 [上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

行っている	行っていない	回答なし	計
282 37.2	456 60.2	20 2.6	758 100.0

図 20-1 医療的処置の有無

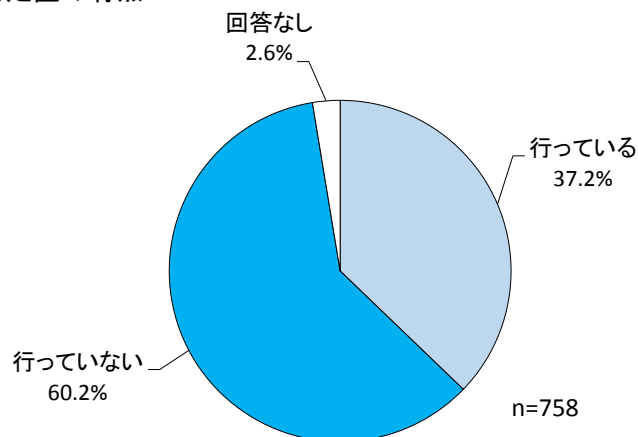


表 20-2 医療的処置の種類【複数回答】

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

吸引	吸入	在宅酸素	人工呼吸器管理	導尿	じょくそうの手当	経管栄養
178 63.1	74 26.2	44 15.6	46 16.3	27 9.6	24 8.5	199 70.6

気管切開の手当 (カニューレ交換、 消毒等)	IVH(中心静脈栄養)	その他	回答なし	回答者数
66 23.4	1 0.4	32 11.3	0 0.0	282 100.0

図 20-2 医療的処置の種類【複数回答】

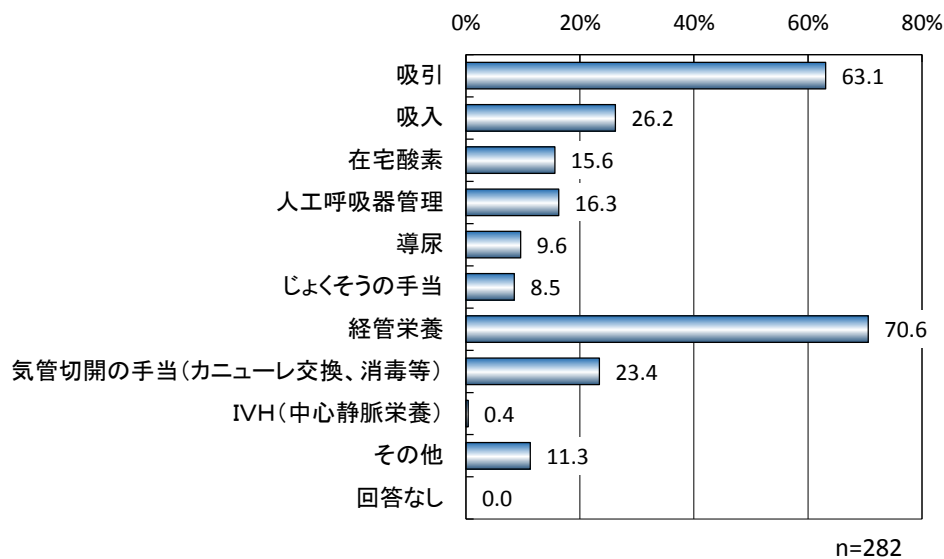
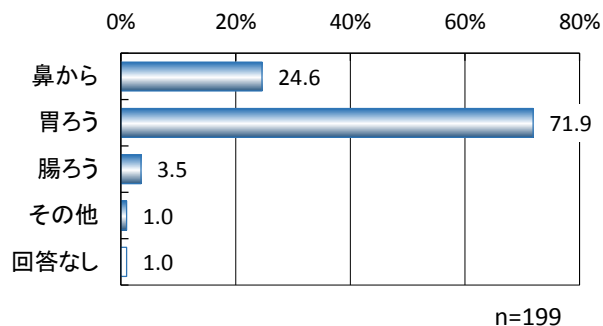


表 20-3 経管栄養の処置の種類【複数回答】

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

鼻から	胃ろう	腸ろう	その他	回答なし	回答者数
49 24.6	143 71.9	7 3.5	2 1.0	2 1.0	199 100.0

図 20-3 経管栄養の処置の種類



2 診療所の有無

問 21 問 2 で、ご本人が現在生活しているところを「1. 自宅」と答えた方のみ記入してください。
ご本人が風邪、軽症な感染症等の診療、予防接種等が必要な場合、地域でかけられる診療所等がありますか。いずれかに○をつけ、ある場合はかかる診療科を記入してください。

「ある」が 86.2%となっており、そのうちかかる診療科は、「内科」が 40.8%、「小児科」が 40.5%となっている。

表 21-1 診療所の有無 [上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

ある	ない	回答なし	計
439 86.2	60 11.8	10 2.0	509 100.0

図 21-1 診療所の有無

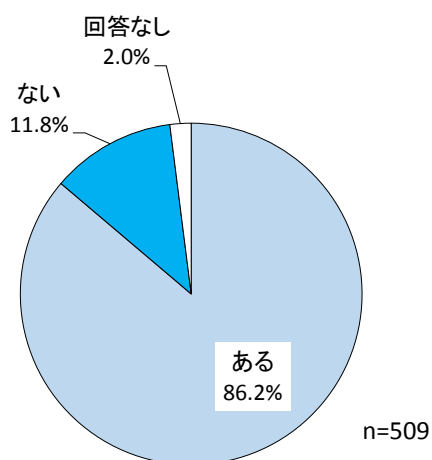
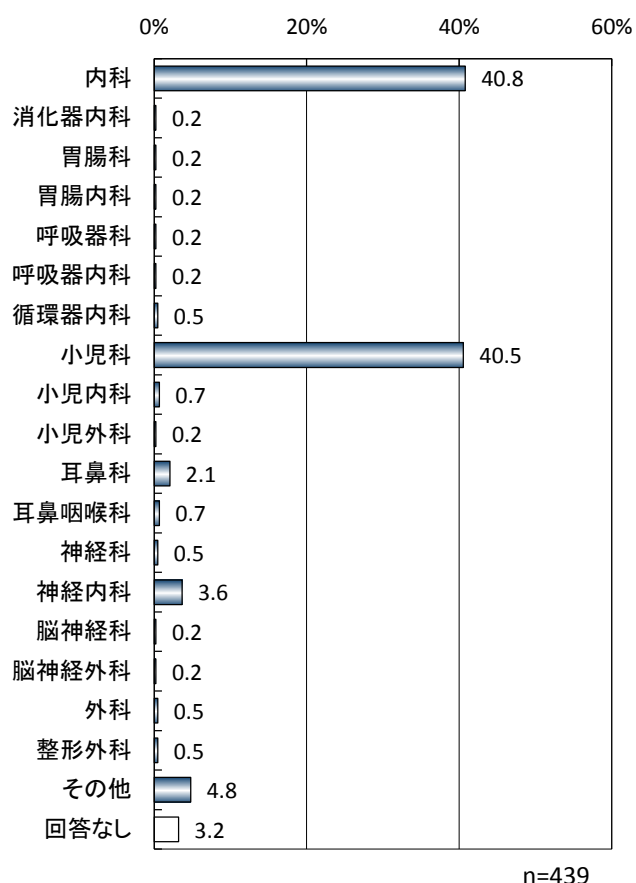


表 21-2 診療科

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

内科	消化器内科	胃腸科	胃腸内科	呼吸器科	呼吸器内科	循環器内科	小児科	小児内科	小児外科	耳鼻科
179 40.8	1 0.2	1 0.2	1 0.2	1 0.2	1 0.2	2 0.5	178 40.5	3 0.7	1 0.2	9 2.1
耳鼻咽喉科	神経科	神経内科	脳神経科	脳神経外科	外科	整形外科	その他	回答なし	計	
3 0.7	2 0.5	16 3.6	1 0.2	1 0.2	2 0.5	2 0.5	21 4.8	14 3.2	439 100.0	

図 21-2 診療科



医療的処置の有無別でみると、地域でかかれる診療所等が「ある」方は、医療的処置を「行っている」で 80.2%、「行っていない」で 89.7%となっている。

表 21-3 診療所の有無（医療的処置の有無別）

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

区分	ある	ない	回答なし	計
行っている	154 80.2	32 16.7	6 3.1	192 100.0
行っていない	280 89.7	28 9.0	4 1.3	312 100.0
回答なし	5 100.0	0 0.0	0 0.0	5 100.0
計	439 86.2	60 11.8	10 2.0	509 100.0

○福祉サービスの利用状況

1 福祉サービス利用の有無

問 22 問2で、ご本人が現在生活しているところを「1. 自宅」又は「2. グループホーム」と答えた方のみ記入してください。

ご本人は現在、福祉サービスを利用していますか。いずれかに○をつけてください。また、「1. 利用している」に○をつけた方は、利用しているサービスすべてに○をつけてください。

「利用している」が91.2%となっており、そのうち福祉サービス利用では、「短期入所」が39.7%と最も多く、次いで「居宅介護」が37.9%、「生活介護」が37.1%となっている。

表 22-1 福祉サービス利用の有無 [上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

利用している	利用していない	回答なし	計
499 91.2	31 5.7	17 3.1	547 100.0

図 22-1 福祉サービス利用の有無

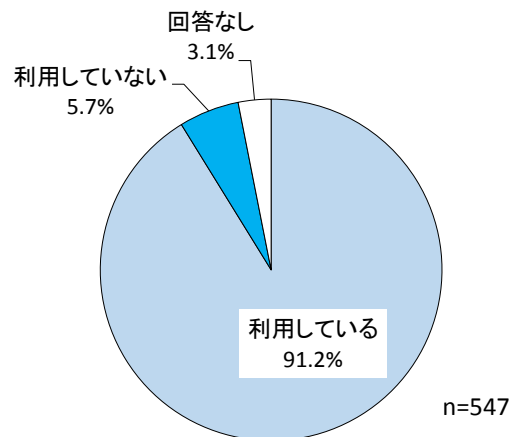
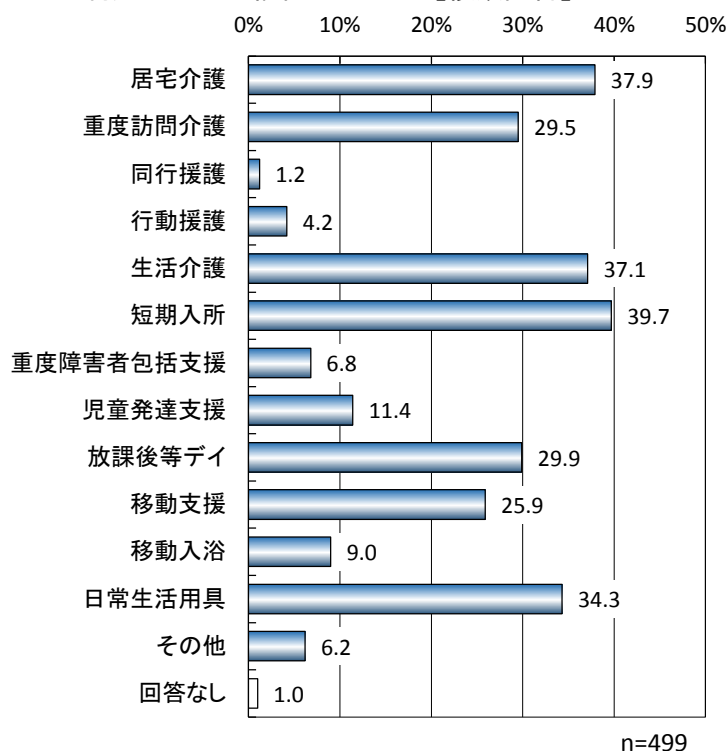


表 22-2 利用している福祉サービス【複数回答】 [上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

居宅介護	重度訪問介護	同行援護	行動援護	生活介護	短期入所	重度障害者 包括支援	児童発達支援
189 37.9	147 29.5	6 1.2	21 4.2	185 37.1	198 39.7	34 6.8	57 11.4

放課後等デイ	移動支援	移動入浴	日常生活用具	その他	回答なし	回答者数
149 29.9	129 25.9	45 9.0	171 34.3	31 6.2	5 1.0	499 100.0

図 22-2 利用している福祉サービス【複数回答】



年齢別でみると、福祉サービスの利用の有無は、すべての区分で「利用している」の割合が多くなっている。

利用している福祉サービスは、「児童発達支援」は「0～5 歳」で 70.7%、「放課後等デイ」は「6～11 歳」で 83.3%、「12～14 歳」で 84.1%、「15～17 歳」で 87.5%と最も多くなっている。

また、「生活介護」は「18～19 歳」で 65.2%、「20～29 歳」で 72.8%、「40～49 歳」で 56.9%、「短期入所」は「30～39 歳」で 62.5%、「居宅介護」は「50 歳以上」で 54.2%と最も多くなっている。

表 22-3 福祉サービス利用の有無（年齢別）

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

区分	利用している	利用していない	回答なし	計
0～5 歳	58 87.9	6 9.1	2 3.0	66 100.0
6～11 歳	72 96.0	1 1.3	2 2.7	75 100.0
12～14 歳	44 93.6	0 0.0	3 6.4	47 100.0
15～17 歳	40 95.2	1 2.4	1 2.4	42 100.0
18～19 歳	23 92.0	1 4.0	1 4.0	25 100.0
20～29 歳	103 95.4	4 3.7	1 0.9	108 100.0
30～39 歳	80 90.9	8 9.1	0 0.0	88 100.0
40～49 歳	51 81.0	6 9.5	6 9.5	63 100.0
50 歳以上	24 82.8	4 13.8	1 3.4	29 100.0
回答なし	4 100.0	0 0.0	0 0.0	4 100.0
計	499 91.2	31 5.7	17 3.1	547 100.0

表 22-4 利用している福祉サービス【複数回答】（年齢別）

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（％）]

区分	居宅介護	重度訪問介護	同行援護	行動援護	生活介護	短期入所	重度障害者 包括支援
0～5 歳	4 6.9	5 8.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	11 19.0	2 3.4
6～11 歳	23 31.9	5 6.9	0 0.0	0 0.0	2 2.8	21 29.2	0 0.0
12～14 歳	19 43.2	6 13.6	0 0.0	2 4.5	4 9.1	14 31.8	1 2.3
15～17 歳	20 50.0	1 2.5	0 0.0	1 2.5	3 7.5	14 35.0	0 0.0
18～19 歳	11 47.8	8 34.8	0 0.0	3 13.0	15 65.2	9 39.1	2 8.7
20～29 歳	41 39.8	48 46.6	4 3.9	3 2.9	75 72.8	54 52.4	12 11.7
30～39 歳	35 43.8	40 50.0	1 1.3	4 5.0	48 60.0	50 62.5	9 11.3
40～49 歳	20 39.2	25 49.0	1 2.0	5 9.8	29 56.9	20 39.2	4 7.8
50 歳以上	13 54.2	7 29.2	0 0.0	3 12.5	7 29.2	3 12.5	4 16.7
回答なし	3 75.0	2 50.0	0 0.0	0 0.0	2 50.0	2 50.0	0 0.0
計	189 37.9	147 29.5	6 1.2	21 4.2	185 37.1	198 39.7	34 6.8

区分	児童発達支援	放課後等デイ	移動支援	移動入浴	日常生活用具	その他	回答なし	回答者数
0～5歳	41 70.7	11 19.0	0 0.0	0 0.0	28 48.3	7 12.1	0 0.0	58 100.0
6～11 歳	13 18.1	60 83.3	17 23.6	1 1.4	36 50.0	1 1.4	1 1.4	72 100.0
12～14 歳	1 2.3	37 84.1	17 38.6	0 0.0	19 43.2	1 2.3	0 0.0	44 100.0
15～17 歳	0 0.0	35 87.5	19 47.5	0 0.0	12 30.0	2 5.0	0 0.0	40 100.0
18～19 歳	2 8.7	5 21.7	6 26.1	3 13.0	9 39.1	1 4.3	0 0.0	23 100.0
20～29 歳	0 0.0	0 0.0	22 21.4	14 13.6	33 32.0	6 5.8	2 1.9	103 100.0
30～39 歳	0 0.0	0 0.0	21 26.2	13 16.3	20 25.0	4 5.0	1 1.3	80 100.0
40～49 歳	0 0.0	0 0.0	16 31.4	10 19.6	10 19.6	3 5.9	1 2.0	51 100.0
50 歳以上	0 0.0	0 0.0	9 37.5	4 16.7	2 8.3	6 25.0	0 0.0	24 100.0
回答なし	0 0.0	1 25.0	2 50.0	0 0.0	2 50.0	0 0.0	0 0.0	4 100.0
計	57 11.4	149 29.9	129 25.9	45 9.0	171 34.3	31 6.2	5 1.0	499 100.0

医療的処置の有無別でみると、福祉サービスを「利用している」方は、医療的処置を「行っている」で91.8%、「行っていない」で91.6%となっている。

利用している福祉サービスは、医療的処置を「行っている」方は、「日常生活用具」が47.0%と最も多く、次いで「居宅介護」が44.2%、「短期入所」が40.3%となっており、医療的処置を「行っていない」方は、「生活介護」が42.0%と最も多くなっている。

表 22-5 福祉サービス利用の有無（医療的処置の有無別） [上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

区分	利用している	利用していない	回答なし	計
行っている	181 91.8	8 4.1	8 4.1	197 100.0
行っていない	314 91.6	21 6.1	8 2.3	343 100.0
回答なし	4 57.1	2 28.6	1 14.3	7 100.0
計	499 91.2	31 5.7	17 3.1	547 100.0

表 22-6 利用している福祉サービス【複数回答】（医療的処置の有無別別）

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

区分	居宅介護	重度訪問介護	同行援護	行動援護	生活介護	短期入所	重度障害者 包括支援	児童発達支援
行っている	80 44.2	61 33.7	4 2.2	8 4.4	52 28.7	73 40.3	19 10.5	21 11.6
行っていない	107 34.1	85 27.1	2 0.6	13 4.1	132 42.0	124 39.5	15 4.8	35 11.1
回答なし	2 50.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	1 25.0	0 0.0	1 25.0
計	189 37.9	147 29.5	6 1.2	21 4.2	185 37.1	198 39.7	34 6.8	57 11.4

区分	放課後等デイ	移動支援	移動入浴	日常生活用具	その他	回答なし	回答者数
行っている	57 31.5	44 24.3	28 15.5	85 47.0	16 8.8	0 0.0	181 100.0
行っていない	90 28.7	83 26.4	17 5.4	85 27.1	15 4.8	5 1.6	314 100.0
回答なし	2 50.0	2 50.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	4 100.0
計	149 29.9	129 25.9	45 9.0	171 34.3	31 6.2	5 1.0	499 100.0

2 福祉サービス利用の希望状況

問 23 問2で、ご本人が現在生活しているところを「1. 自宅」又は「2. グループホーム」と答えた方のみ記入してください。
今後どのような福祉サービスの利用を希望しますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

「短期入所」が51.6%と最も多く、次いで「生活介護」が35.1%、「日常生活用具」が31.4%となっている。

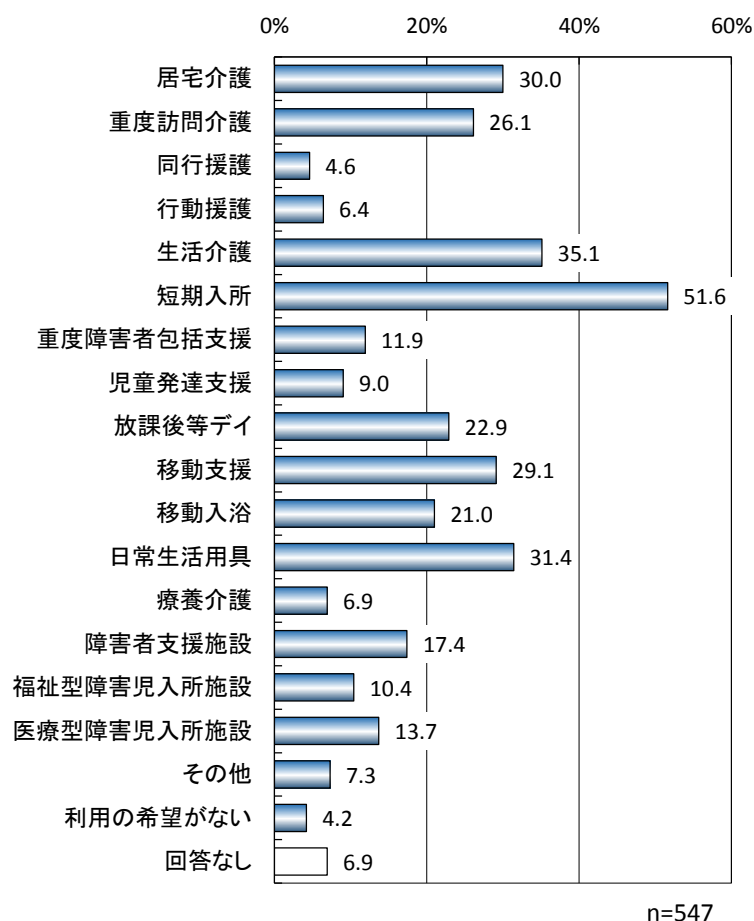
表 23 福祉サービス利用の希望状況【複数回答】

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

居宅介護	重度訪問介護	同行援護	行動援護	生活介護	短期入所	重度障害者 包括支援	児童発達支援	放課後等デイ	移動支援
164 30.0	143 26.1	25 4.6	35 6.4	192 35.1	282 51.6	65 11.9	49 9.0	125 22.9	159 29.1

移動入浴	日常生活用具	療養介護	障害者支援 施設	福祉型障害 児入所施設	医療型障害 児入所施設	その他	利用の希望 がない	回答なし	回答者数
115 21.0	172 31.4	38 6.9	95 17.4	57 10.4	75 13.7	40 7.3	23 4.2	38 6.9	547 100.0

図 23 福祉サービス利用の希望状況【複数回答】



3 福祉サービス量の満足度

問 24 問 2 で、ご本人が現在生活しているところを「1. 自宅」又は「2. グループホーム」と答えた方のみ記入してください。
 ご本人が利用している福祉サービスの量に満足していますか。1 つだけ○をつけてください。

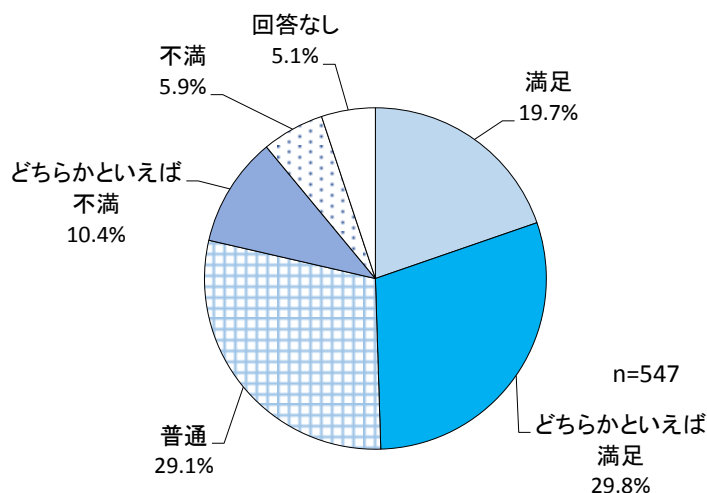
「満足」と「どちらかといえば満足」の割合は計 49.5%、「どちらかといえば不満」と「不満」の割合は計 16.3%となっている。

表 24 福祉サービス量の満足度

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

満足	どちらかといえば満足	普通	どちらかといえば不満	不満	回答なし	計
108 19.7	163 29.8	159 29.1	57 10.4	32 5.9	28 5.1	547 100.0

図 24 福祉サービス量の満足度



4 福祉サービス質・内容の満足度

問 25 問2で、ご本人が現在生活しているところを「1. 自宅」又は「2. グループホーム」と答えた方のみ記入してください。
 ご本人が利用している福祉サービスの質や内容に満足していますか。1つだけ○をつけてください。

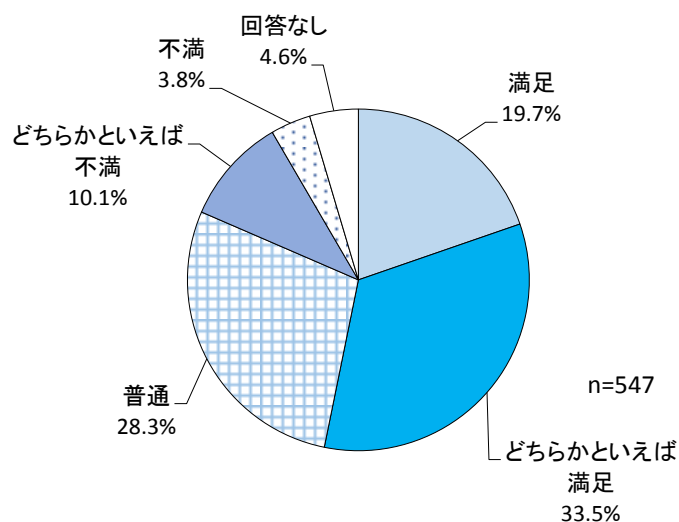
「満足」と「どちらかといえば満足」の割合は計 53.2%、「どちらかといえば不満」と「不満」の割合は計 13.9%となっている。

表 25 福祉サービス質・内容の満足度

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

満足	どちらかといえば満足	普通	どちらかといえば不満	不満	回答なし	計
108 19.7	183 33.5	155 28.3	55 10.1	21 3.8	25 4.6	547 100.0

図 25 福祉サービス質・内容の満足度



○家族（介護者）の状況

1 同居家族

問 26 問 2 で「1. 自宅」と答えた方のみ記入してください。

ご本人からみて同居されている家族について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

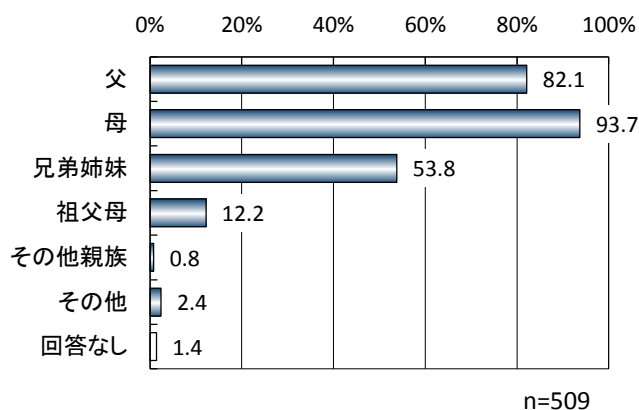
「母」が 93.7%と最も多く、次いで「父」が 82.1%、「兄弟姉妹」が 53.8%となっている。

表 26 同居家族【複数回答】

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

父	母	兄弟姉妹	祖父母	その他親族	その他	回答なし	回答者数
418 82.1	477 93.7	274 53.8	62 12.2	4 0.8	12 2.4	7 1.4	509 100.0

図 26 同居家族【複数回答】



2 主な介護者

問 27 問 2 で「1. 自宅」と答えた方のみ記入してください。

どなたがご本人のお世話を主にされていますか。1つだけ○をつけてください。

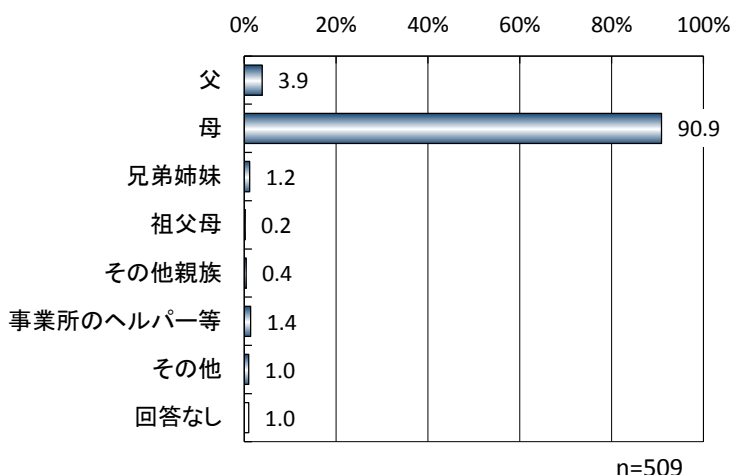
「母」が 90.9%となっている。

表 27 主な介護者

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

父	母	兄弟姉妹	祖父母	その他親族	事業所のヘルパー等	その他	回答なし	計
20 3.9	463 90.9	6 1.2	1 0.2	2 0.4	7 1.4	5 1.0	5 1.0	509 100.0

図 27 主な介護者



3 主な介護者の年齢

問 28 問 27 で 1～5 に○をつけた方のみ記入してください。主な介護者の年齢を記入してください。(平成 28 年 8 月 1 日現在)

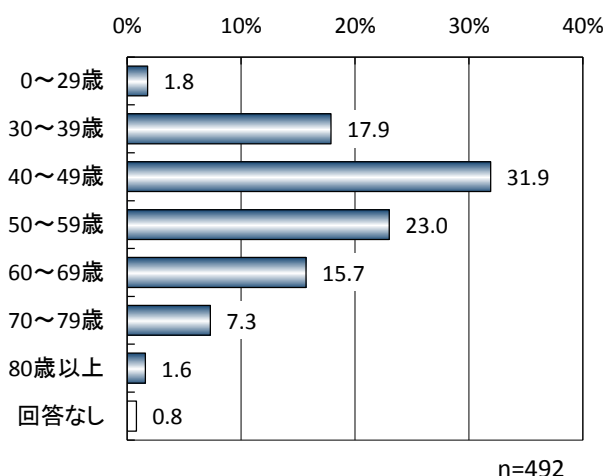
「40～49 歳」が 31.9%と最も多く、次いで「50～59 歳」が 23.0%、「30～39 歳」が 17.9%となっている。

表 28 主な介護者の年齢

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

29 歳以下	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70～79 歳	80 歳以上	回答なし	計
9 1.8	88 17.9	157 31.9	113 23.0	77 15.7	36 7.3	8 1.6	4 0.8	492 100.0

図 28 主な介護者の年齢



4 主な介護者の健康状況

問 29 問 27 で 1～5 に○をつけた方のみ記入してください。主な介護者の健康状況について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

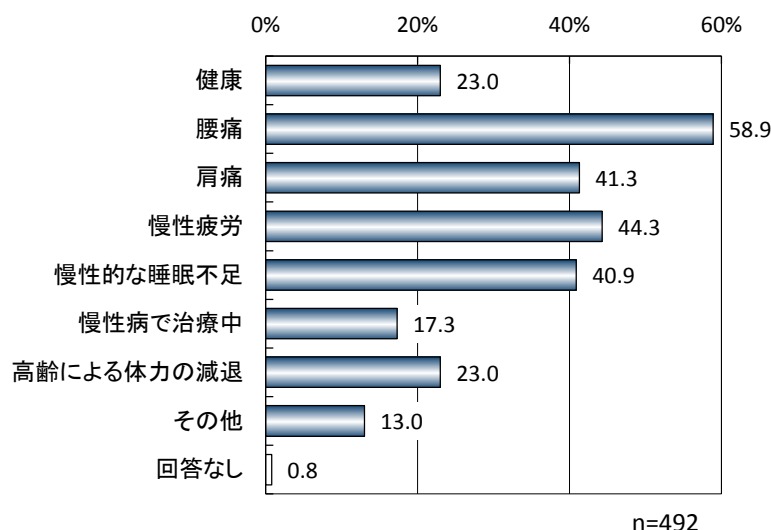
「腰痛」が 58.9%と最も多く、次いで「慢性疲労」が 44.3%、「肩痛」が 41.3%、「慢性的な睡眠不足」が 40.9%となっている。

表 29 主な介護者の健康状況【複数回答】

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

健康	腰痛	肩痛	慢性疲労	慢性的な睡眠不足	慢性病で治療中	高齢による体力の減退	その他	回答なし	回答者数
113 23.0	290 58.9	203 41.3	218 44.3	201 40.9	85 17.3	113 23.0	64 13.0	4 0.8	492 100.0

図 29 主な介護者の健康状況【複数回答】



5 主な介護者の睡眠状況

問 30 問 27 で 1～5 に○をつけた方のみ記入してください。主な介護者の睡眠状況について、あてはまるものいずれかに○をつけ、一日の睡眠時間を記入してください。

「連続・継続してまとまった時間眠れる」が 70.8%、「短時間睡眠を複数回とっている」が 26.8%となっている。

一日の睡眠時間について、「連続・継続してまとまった時間眠れる」人は、「6 時間以上 7 時間未満」が 32.4%と最も多く、次いで「5 時間以上 6 時間未満」が 28.4%となっている。

一方、「短時間睡眠を複数回取っている」人は、「3 時間未満」が 26.5%と最も多くなっている。

表 30-1 主な介護者の睡眠状況

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

連続・継続して まとまった時間眠れる	短時間睡眠を 複数回とっている	回答なし	計
348 70.8	132 26.8	12 2.4	492 100.0

図 30-1 主な介護者の睡眠状況

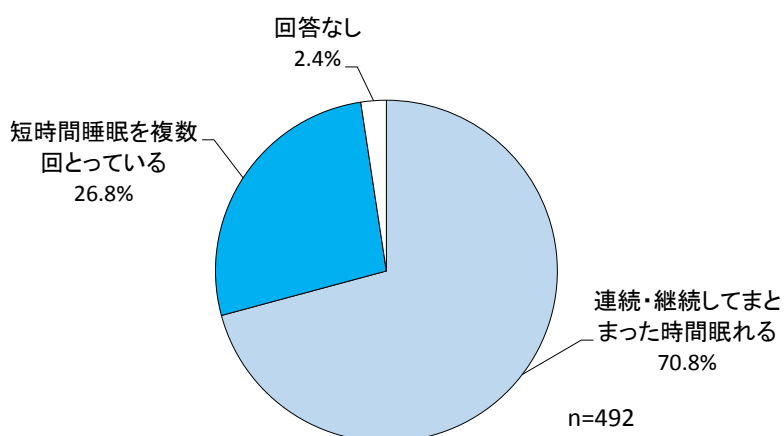


表 30-2 連続・継続してまとまった時間眠れる人の一日の睡眠時間

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

3 時間未満	3～4 時間 未満	4～5 時間 未満	5～6 時間 未満	6～7 時間 未満	7～8 時間 未満	8～9 時間 未満	9 時間以上	回答なし	計
2	12	34	99	113	57	27	2	2	348
0.6	3.4	9.8	28.4	32.4	16.4	7.8	0.6	0.6	100.0

図 30-2 連続・継続してまとまった時間眠れる人の一日の睡眠時間

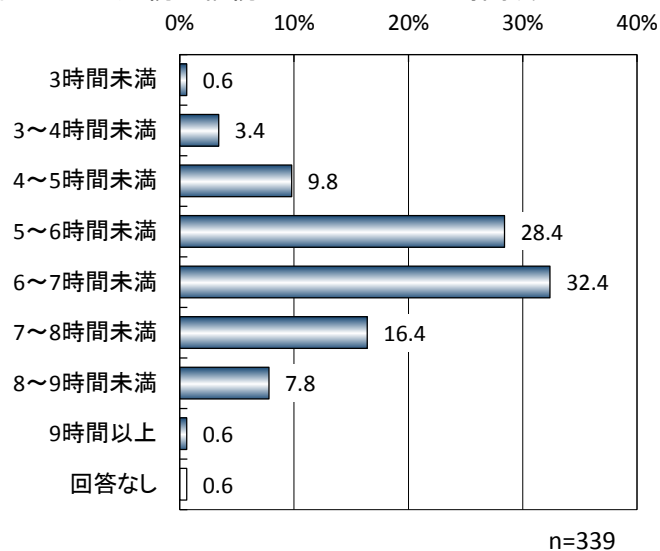
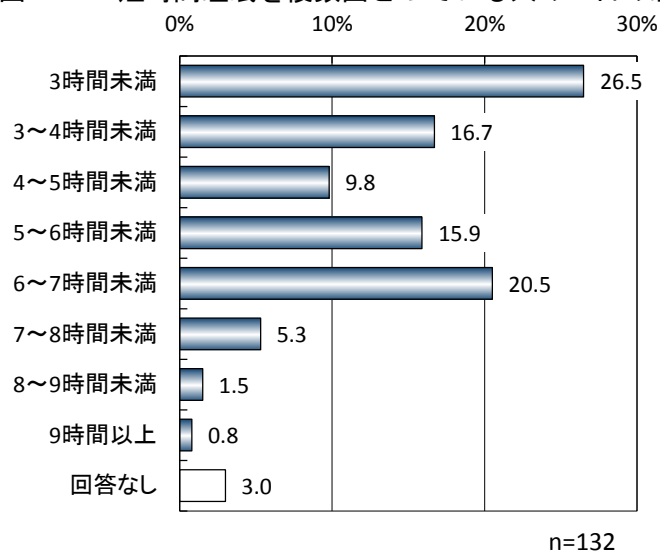


表 30-3 短時間睡眠を複数回とっている人の一日の睡眠時間

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

3 時間未満	3～4 時間 未満	4～5 時間 未満	5～6 時間 未満	6～7 時間 未満	7～8 時間 未満	8～9 時間 未満	9 時間以上	回答なし	計
35	22	13	21	27	7	2	1	4	132
26.5	16.7	9.8	15.9	20.5	5.3	1.5	0.8	3.0	100.0

図 30-3 短時間睡眠を複数回とっている人の一日の睡眠時間



医療的処置の有無別でみると、「連続・継続してまとまった時間眠れる」方は、医療的処置を「行っている」が60.8%、「行っていない」が76.7%となっている。

行っている医療的処置の種類別でみると、「短時間睡眠を複数回とっている」方は、「じょくそうの手当」が55.6%と最も多くなっている。

表 30-4 主な介護者の睡眠状況（医療的処置の有無別） [上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

区分	連続・継続して まとまった時間眠れる	短時間睡眠を 複数回とっている	回答なし	計
行っている	113 60.8	72 38.7	1 0.5	186 100.0
行っていない	231 76.7	59 19.6	11 3.7	301 100.0
回答なし	4 80.0	1 20.0	0 0.0	5 100.0
計	348 70.8	132 26.8	12 2.4	492 100.0

表 30-5 主な介護者の睡眠状況（医療的処置の種類別） [上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

区分	連続・継続して まとまった時間眠れる	短時間睡眠を 複数回とっている	回答なし	計
吸引	84 62.7	50 37.3	0 0.0	134 100.0
吸入	40 67.8	19 32.2	0 0.0	59 100.0
在宅酸素	21 48.8	22 51.2	0 0.0	43 100.0
人工呼吸器管理	19 55.9	15 44.1	0 0.0	34 100.0
導尿	8 47.1	8 47.1	1 5.8	17 100.0
じょくそうの手当	8 44.4	10 55.6	0 0.0	18 100.0
経管栄養	81 62.8	48 37.2	0 0.0	129 100.0
気管切開の手当	28 60.9	18 39.1	0 0.0	46 100.0
IVH(中心静脈栄養)	1 100.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0
その他	8 42.1	11 57.9	0 0.0	19 100.0
回答なし	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
回答者数	113 60.8	72 38.7	1 0.5	186 100.0

主な介護者の健康状況別でみると、「連続・継続してまとまった時間眠れる」方は、「健康」が85.8%と最も多く、「短時間睡眠を複数回とっている」方は、「慢性的な睡眠不足」が47.8%と最も多く、次いで「慢性病で治療中」が41.2%となっている。

また、「短時間睡眠を複数回とっている」方のうち、一日の睡眠時間が「3時間未満」の場合、「腰痛」「肩痛」「慢性疲労」「慢性的な睡眠不足」「慢性病で治療中」の割合が最も高くなっている。

表 30-6 主な介護者の睡眠状況（主な介護者の健康状況別） [上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

区分	連続・継続して まとまった時間眠れる	短時間睡眠を 複数回とっている	回答なし	計
健康	97 85.8	15 13.3	1 0.9	113 100.0
腰痛	205 70.7	80 27.6	5 1.7	290 100.0
肩痛	136 67.0	65 32.0	2 1.0	203 100.0
慢性疲労	135 61.9	77 35.3	6 2.8	218 100.0
慢性的な睡眠不足	103 51.2	96 47.8	2 1.0	201 100.0
慢性病で治療中	49 57.6	35 41.2	1 1.2	85 100.0
高齢による体力の減退	67 59.3	41 36.3	5 4.4	113 100.0
その他	34 53.1	27 42.2	3 4.7	64 100.0
回答なし	0 0.0	1 25.0	3 75.0	4 100.0
回答者数	348 70.8	132 26.8	12 2.4	492 100.0

表 30-7 短時間睡眠を複数回とっている人の一日の睡眠時間（主な介護者の健康状況別）

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

区分	3時間未満	3～4時間 未満	4～5時間 未満	5～6時間 未満	6～7時間 未満	7～8時間 未満	8～9時間 未満	9時間以上	回答なし	計
健康	6 39.9	1 6.7	2 13.3	0 0.0	4 26.7	1 6.7	1 6.7	0 0.0	0 0.0	15 100.0
腰痛	20 24.7	13 16.3	9 11.3	15 18.8	15 18.8	4 5.0	1 1.3	1 1.3	2 2.5	80 100.0
肩痛	13 20.0	11 16.9	8 12.3	14 21.6	13 20.0	2 3.1	0 0.0	1 1.5	3 4.6	65 100.0
慢性疲労	17 22.0	12 15.6	9 11.7	15 19.5	15 19.5	4 5.2	1 1.3	1 1.3	3 3.9	77 100.0
慢性的な 睡眠不足	26 27.1	14 14.6	11 11.5	19 19.8	17 17.7	5 5.2	1 1.0	0 0.0	3 3.1	96 100.0
慢性病で 治療中	8 22.9	7 20.0	5 14.3	7 20.0	6 17.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 5.7	35 100.0
高齢による 体力の減退	9 22.0	10 24.4	2 4.9	10 24.4	6 14.6	1 2.4	0 0.0	0 0.0	3 7.3	41 100.0
その他	5 18.5	6 22.2	1 3.7	3 11.1	8 29.7	2 7.4	0 0.0	0 0.0	2 7.4	27 100.0
回答なし	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0
回答者数	35 26.5	22 16.7	13 9.8	21 15.9	27 20.5	7 5.3	2 1.5	1 0.8	4 3.0	132 100.0

6 介護協力者の有無

問 31 問 27 で 1～5 に○をつけた方のみ記入してください。主な介護者の他に、日常的に介護の協力をしていただいている方がみえますか。いずれかに○をつけてください。また、おみえになる場合は、ご本人から見た続柄で、あてはまるものすべてに○をつけてください。

介護協力者は「いる」が 79.5%となっており、そのうち「父」が 65.5%と最も多く、次いで「事業所のヘルパー等」が 34.0%、「兄弟姉妹」が 19.9%となっている。

表 31-1 介護協力者の有無 [上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

いる	いない	回答なし	計
391 79.5	98 19.9	3 0.6	492 100.0

図 31-110 介護協力者の有無

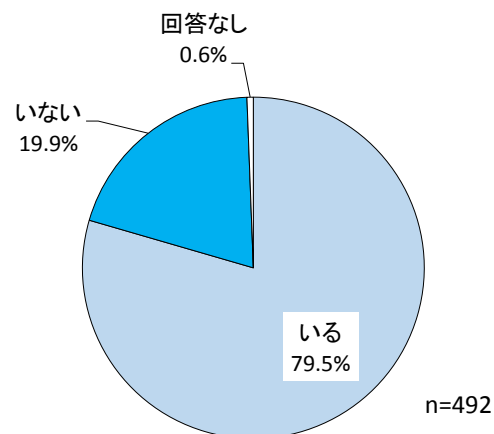
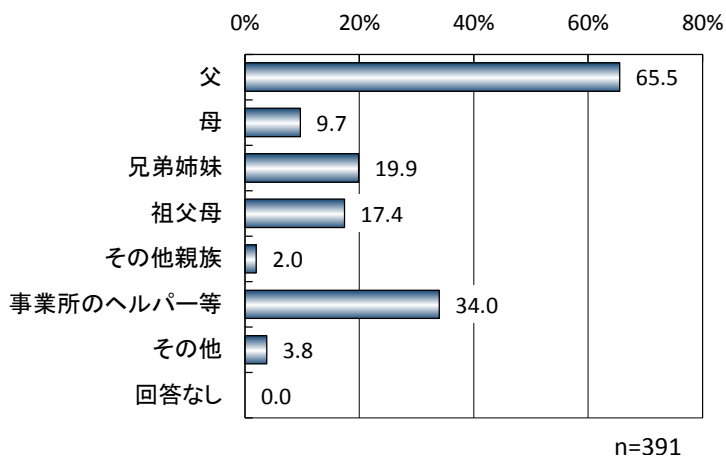


表 31-2 介護協力者 [上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

父	母	兄弟姉妹	祖父母	その他親族	事業所のヘルパー等	その他	回答なし	回答者数
256 65.5	38 9.7	78 19.9	68 17.4	8 2.0	133 34.0	15 3.8	0 0.0	391 100.0

図 31-2 介護協力者



主な介護者の年齢別でみると、介護協力者が「いる」方は、すべての区分で「いない」と比べて割合が多くなっている。

介護協力者のうち、主な介護者の年齢が「70 歳代以下」では「父」、「80 歳以上」では「事業所のヘルパー等」の割合が最も多く、「0～29 歳」では次いで「祖父母」が 60.0%となっている。

表 31-3 介護協力者の有無（主な介護者の年齢別） [上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

区分	いる	いない	回答なし	計
0～29 歳	5 55.6	4 44.4	0 0.0	9 100.0
30～39 歳	73 82.9	13 14.8	2 2.3	88 100.0
40～49 歳	117 74.5	40 25.5	0 0.0	157 100.0
50～59 歳	91 80.5	22 19.5	0 0.0	113 100.0
60～69 歳	65 84.4	11 14.3	1 1.3	77 100.0
70～79 歳	29 80.6	7 19.4	0 0.0	36 100.0
80 歳以上	7 87.5	1 12.5	0 0.0	8 100.0
回答なし	4 100.0	0 0.0	0 0.0	4 100.0
計	391 79.5	98 19.9	3 0.6	492 100.0

表 31-4 介護協力者（主な介護者の年齢別） [上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

区分	父	母	兄弟姉妹	祖父母	その他親族	事業所のヘルパー等	その他	回答なし	回答者数
0～29 歳	4 80.0	1 20.0	0 0.0	3 60.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5 100.0
30～39 歳	57 78.1	1 1.4	4 5.5	26 35.6	1 1.4	15 20.5	3 4.1	0 0.0	73 100.0
40～49 歳	77 65.8	6 5.1	24 20.5	29 24.8	3 2.6	47 40.2	3 2.6	0 0.0	117 100.0
50～59 歳	57 62.6	9 9.9	25 27.5	8 8.8	1 1.1	36 39.6	3 3.3	0 0.0	91 100.0
60～69 歳	44 67.7	13 20.0	14 21.5	2 3.1	0 0.0	21 32.3	3 4.6	0 0.0	65 100.0
70～79 歳	14 48.3	7 24.1	8 27.6	0 0.0	2 6.9	7 24.1	3 10.3	0 0.0	29 100.0
80 歳以上	1 14.3	1 14.3	2 28.6	0 0.0	1 14.3	4 57.1	0 0.0	0 0.0	7 100.0
回答なし	2 50.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	3 75.0	0 0.0	0 0.0	4 100.0
計	256 65.5	38 9.7	78 19.9	68 17.4	8 2.0	133 34.0	15 3.8	0 0.0	391 100.0

7 緊急時の介護

問 32 問2で、ご本人が現在生活しているところを「1. 自宅」又は「2. グループホーム」と答えた方のみ記入してください。

主な介護者が急な病気等でお世話できないときはどうされていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

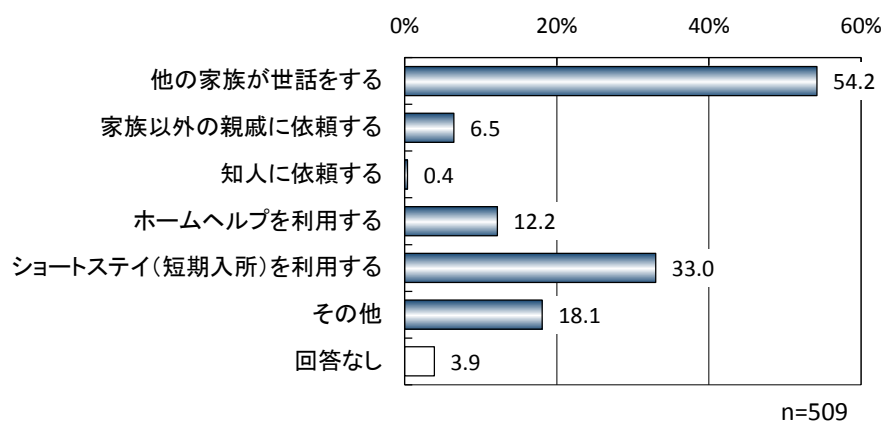
「他の家族が世話をする」が54.2%と最も多く、次いで「ショートステイ（短期入所）を利用する」が33.0%となっている。

表 32 緊急時の介護【複数回答】

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

他の家族が世話を する	家族以外の親 戚に依頼する	知人に依頼す る	ホームヘルプを 利用する	ショートステイ (短期入所)を 利用する	その他	回答なし	回答者数
276 54.2	33 6.5	2 0.4	62 12.2	168 33.0	92 18.1	20 3.9	509 100.0

図 32 緊急時の介護【複数回答】



○『名古屋市重症心身障害児者施設ティンクルなごや』について

1 入所希望の有無

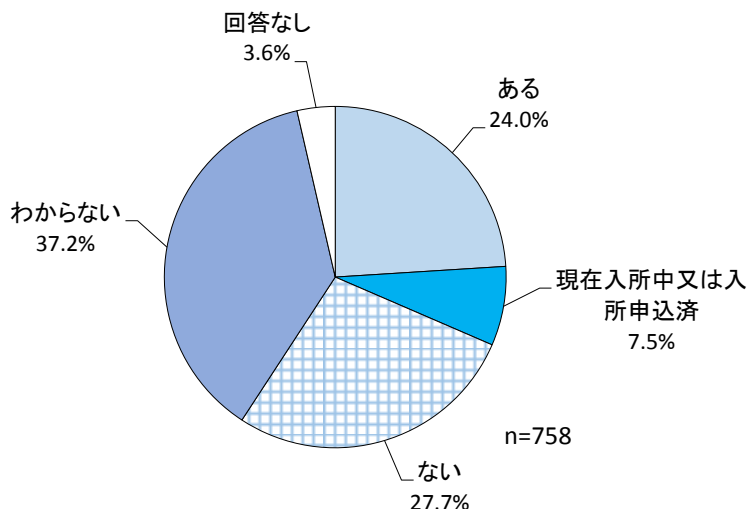
問 33 この施設への入所希望はありますか。1つだけ○をつけてください。

「わからない」が 37.2%と最も多く、次いで「ない」が 27.7%、「ある」が 24.0%となっている。

表 33 入所希望の有無 [上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

ある	現在入所中又は入所申込済	ない	わからない	回答なし	計
182 24.0	57 7.5	210 27.7	282 37.2	27 3.6	758 100.0

図 33 入所希望の有無



2 入所希望の時期

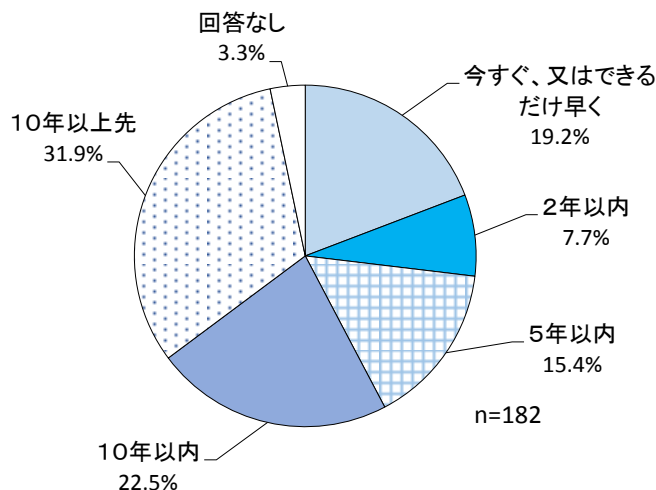
問 34 問 33 で「1. ある」と答えた方のみ記入してください。入所するならば、いつごろを希望しますか。1つだけ○をつけてください。

「10 年以上先」が 31.9%と最も多く、次いで「10 年以内」が 22.5%、「今すぐ、又はできるだけ早く」が 19.2%となっている。

表 34 入所希望の時期 [上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

今すぐ、又はできるだけ早く	2年以内	5年以内	10年以内	10年以上先	回答なし	計
35 19.2	14 7.7	28 15.4	41 22.5	58 31.9	6 3.3	182 100.0

図 34 入所希望の時期



3 入所希望しない理由

問 35 問 33 で「3. ない」、「4. わからない」と答えた方のみ記入してください。希望しない理由は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

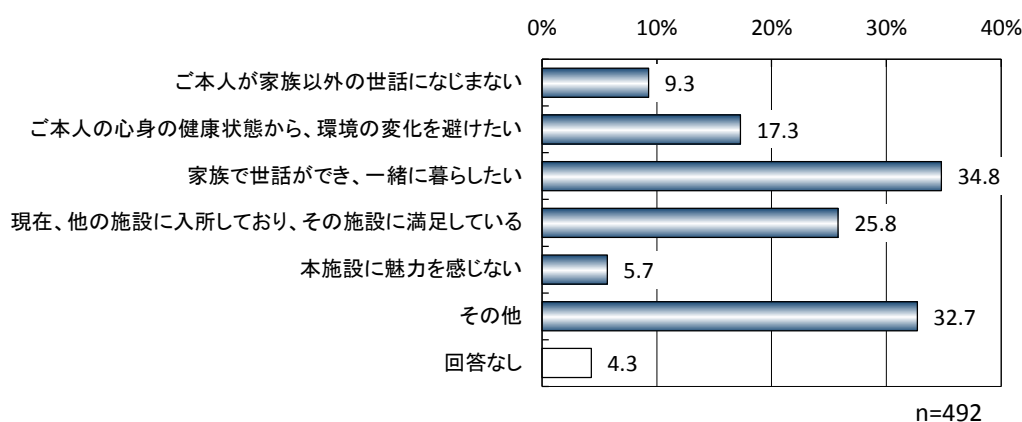
「家族で世話ができ、一緒に暮らしたい」が 34.8%と最も多く、次いで「その他」が 32.7%、「現在、他の施設に入所しており、その施設に満足している」が 25.8%となっている。

表 35 入所希望しない理由【複数回答】

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

ご本人が家族以外の世話になじまない	ご本人の心身の健康状態から、環境の変化を避けたい	家族で世話ができ、一緒に暮らしたい	現在、他の施設に入所しており、その施設に満足している	本施設に魅力を感じない	その他	回答なし	回答者数
46 9.3	85 17.3	171 34.8	127 25.8	28 5.7	161 32.7	21 4.3	492 100.0

図 35 入所希望しない理由【複数回答】



○その他

希望するサービス等

問 36 今後、新設または拡充してほしいサービス等について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

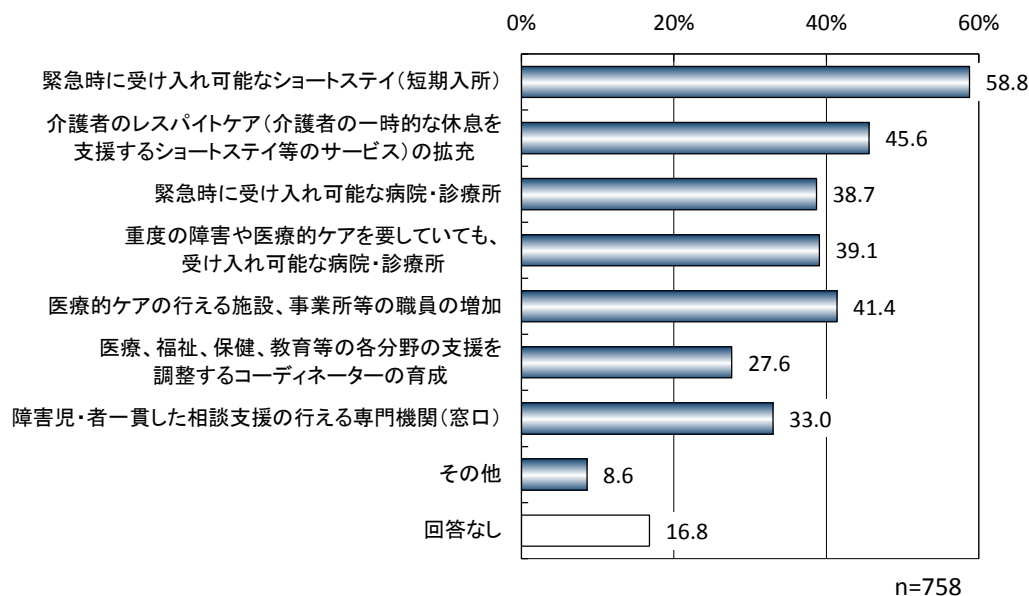
「緊急時に受け入れ可能なショートステイ（短期入所）」が 58.8%と最も多く、次いで「介護者のレスパイトケア（介護者の一時的な休息を支援するショートステイ等のサービス）の拡充」が 45.6%、「医療的ケアの行える施設、事業所等の職員の増加」が 41.4%となっている。

表 36-1 希望するサービス等【複数回答】

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

緊急時に受け入れ可能なショートステイ(短期入所)	介護者のレスパイトケア(介護者の一時的な休息を支援するショートステイ等のサービス)の拡充	緊急時に受け入れ可能な病院・診療所	重度の障害や医療的ケアを要していても、受け入れ可能な病院・診療所	医療的ケアの行える施設、事業所等の職員の増加	医療、福祉、保健、教育等の各分野の支援を調整するコーディネーターの育成	障害児・者一貫した相談支援の行える専門機関(窓口)	その他	回答なし	回答者数
446 58.8	346 45.6	293 38.7	296 39.1	314 41.4	209 27.6	250 33.0	65 8.6	127 16.8	758 100.0

図 36 希望するサービス等



年齢別でみると、30 歳代以下では「緊急時に受け入れ可能なショートステイ（短期入所）」を希望する方が最も多く、次いで「介護者のレスパイトケア（介護者の一時的な休息を支援するショートステイ等のサービス）の拡充」となっている。

「40～49 歳」では「緊急時に受け入れ可能なショートステイ（短期入所）」「重度の障害や医療的ケアを要していても、受け入れ可能な病院・診療所」が各 35.8%と最も多くなっている。

「50 歳以上」では「重度の障害や医療的ケアを要していても、受け入れ可能な病院・診療所」が 36.0%と最も多く、次いで「医療的ケアの行える施設、事業所等の職員の増加」が 35.1%となっている。

表 36-2 希望するサービス等【複数回答】（年齢別） [上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

	緊急時に受け入れ可能なショートステイ(短期入所)	介護者のレスパイトケア(介護者の一時的な休息を支援するショートステイ等のサービス)の拡充	緊急時に受け入れ可能な病院・診療所	重度の障害や医療的ケアを要していても、受け入れ可能な病院・診療所	医療的ケアの行える施設、事業所等の職員の増加	医療、福祉、保健、教育等の各分野の支援を調整するコーディネーターの育成	障害児・者一貫した相談支援の行える専門機関(窓口)	その他	回答なし	回答者数
0～5 歳	53 73.6	46 63.9	27 37.5	28 38.9	38 52.8	30 41.7	37 51.4	12 16.7	2 2.8	72 100.0
6～11 歳	62 80.5	53 69.8	31 40.3	28 36.4	40 51.9	30 39.0	33 42.9	10 13.0	5 6.5	77 100.0
12～14 歳	45 91.8	35 71.4	23 46.9	22 44.9	19 38.8	16 32.7	24 49.0	5 10.2	1 2.0	49 100.0
15～17 歳	36 83.7	30 69.8	24 55.8	17 39.5	18 41.9	18 41.9	18 41.9	4 9.3	2 4.7	43 100.0
18～19 歳	24 80.0	16 53.3	12 40.0	10 33.3	10 33.3	9 30.0	8 26.7	6 20.0	4 13.3	30 100.0
20～29 歳	90 69.8	73 56.6	60 46.5	59 45.7	64 49.6	40 31.0	48 37.2	10 7.8	9 7.0	129 100.0
30～39 歳	70 57.9	52 43.0	44 36.4	47 38.8	50 41.3	25 20.7	27 22.3	4 3.3	19 15.7	121 100.0
40～49 歳	43 35.8	28 23.3	41 34.2	43 35.8	34 28.3	20 16.7	28 23.3	10 8.3	45 37.5	120 100.0
50 歳以上	19 17.1	12 10.8	29 26.1	40 36.0	39 35.1	18 16.2	25 22.5	4 3.6	39 35.1	111 100.0
回答なし	4 66.7	1 16.7	2 33.3	2 33.3	2 33.3	3 50.0	2 33.3	0 0.0	1 16.7	6 100.0
計	446 58.8	346 45.6	293 38.7	296 39.1	314 41.4	209 27.6	250 33.0	65 8.6	127 16.8	758 100.0

医療的処置の有無別でみると、「緊急時に受け入れ可能なショートステイ（短期入所）」を希望する方は、医療的処置を「行っている」が 59.2%、「行っていない」が 60.1%と最も多くなっている。

次いで「医療的ケアの行える施設、事業所等の職員の増加」は、医療的処置を「行っている」が 55.3%、「介護者のレスパイトケア（介護者の一時的な休息を支援するショートステイ等のサービス）の拡充」は、「行っていない」で 44.5%となっている。

表 36-3 希望するサービス等【複数回答】（医療的処置の有無別） [上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

	緊急時に受け入れ可能なショートステイ(短期入所)	介護者のレスパイトケア(介護者の一時的な休息を支援するショートステイ等のサービス)の拡充	緊急時に受け入れ可能な病院・診療所	重度の障害や医療的ケアを要していても、受け入れ可能な病院・診療所	医療的ケアの行える施設、事業所等の職員の増加	医療、福祉、保健、教育等の各分野の支援を調整するコーディネーターの育成	障害児・者一貫した相談支援の行える専門機関(窓口)	その他	回答なし	回答者数
行っている	167 59.2	139 49.3	121 42.9	136 48.2	156 55.3	79 28.0	94 33.3	26 9.2	49 17.4	282 100.0
行っていない	274 60.1	203 44.5	167 36.6	155 34.0	154 33.8	126 27.6	154 33.8	39 8.6	68 14.9	456 100.0
回答なし	5 25.0	4 20.0	5 25.0	5 25.0	4 20.0	4 20.0	2 10.0	0 0.0	10 50.0	20 100.0
計	446 58.8	346 45.6	293 38.7	296 39.1	314 41.4	209 27.6	250 33.0	65 8.6	127 16.8	758 100.0

診療所の有無別でみると、「緊急時に受け入れ可能なショートステイ（短期入所）」を希望する方は、地域でかかれる診療所が「ある」で 82.2%、「ない」で 78.3%と最も多くなっている。

次いで「介護者のレスパイトケア（介護者の一時的な休息を支援するショートステイ等のサービス）の拡充」は、地域でかかれる診療所が「ある」で 63.6%、「介護者のレスパイトケア（介護者の一時的な休息を支援するショートステイ等のサービス）の拡充」「緊急時に受け入れ可能な病院・診療所」は、「ない」で各 66.7%となっている。

表 36-4 希望するサービス等【複数回答】（診療所の有無別） [上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

	緊急時に受け入れ可能なショートステイ(短期入所)	介護者のレスパイトケア(介護者の一時的な休息を支援するショートステイ等のサービス)の拡充	緊急時に受け入れ可能な病院・診療所	重度の障害や医療的ケアを要している、受け入れ可能な病院・診療所	医療的ケアの行える施設、事業所等の職員の増加	医療、福祉、保健、教育等の各分野の支援を調整するコーディネーターの育成	障害児・者一貫した相談支援の行える専門機関(窓口)	その他	回答なし	回答者数
ある	361 82.2	279 63.6	192 43.7	183 41.7	190 43.3	131 29.8	164 37.4	36 8.2	17 3.9	439 100.0
ない	47 78.3	40 66.7	40 66.7	29 48.3	33 55.0	26 43.3	26 43.3	11 18.3	2 3.3	60 100.0
回答なし	4 40.0	2 20.0	3 30.0	1 10.0	3 30.0	2 20.0	4 40.0	0 0.0	5 50.0	10 100.0
計	412 80.9	321 63.1	235 46.2	213 41.8	226 44.4	159 31.2	194 38.1	47 9.2	24 4.7	509 100.0

主な介護者の年齢別でみると、「緊急時に受け入れ可能なショートステイ（短期入所）」「介護者のレスパイトケア（介護者の一時的な休息を支援するショートステイ等のサービス）の拡充」を希望する方は、「0～29 歳」で最も多くなっている。

「緊急時に受け入れ可能なショートステイ（短期入所）」は 30 歳代以上でも最も多く、次いで「介護者のレスパイトケア（介護者の一時的な休息を支援するショートステイ等のサービス）の拡充」は、「30～60 歳代」で多く、「緊急時に受け入れ可能な病院・診療所」「重度の障害や医療的ケアを要している、受け入れ可能な病院・診療所」は、「70～79 歳」で各 47.2%となっており、「緊急時に受け入れ可能な病院・診療所」は「80 歳以上」で 50.0%となっている。

表 36-5 希望するサービス等【複数回答】（主な介護者の年齢別） [上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

	緊急時に受け入れ可能なショートステイ(短期入所)	介護者のレスパイトケア(介護者の一時的な休息を支援するショートステイ等のサービス)の拡充	緊急時に受け入れ可能な病院・診療所	重度の障害や医療的ケアを要している、受け入れ可能な病院・診療所	医療的ケアの行える施設、事業所等の職員の増加	医療、福祉、保健、教育等の各分野の支援を調整するコーディネーターの育成	障害児・者一貫した相談支援の行える専門機関(窓口)	その他	回答なし	回答者数
0～29 歳	5 55.6	5 55.6	2 22.2	3 33.3	4 44.4	1 11.1	3 33.3	0 0.0	2 22.2	9 100.0
30～39 歳	70 79.5	61 69.3	36 40.9	33 37.5	42 47.7	33 37.5	37 42.0	11 12.5	3 3.4	88 100.0
40～49 歳	133 84.7	108 68.8	71 45.2	67 42.7	71 45.2	57 36.3	69 43.9	18 11.5	3 1.9	157 100.0
50～59 歳	99 87.6	80 70.8	58 51.3	54 47.8	56 49.6	38 33.6	40 35.4	11 9.7	1 0.9	113 100.0
60～69 歳	64 83.1	44 57.1	36 46.8	27 35.1	31 40.3	16 20.8	28 36.4	4 5.2	4 5.2	77 100.0
70～79 歳	23 63.9	15 41.7	17 47.2	17 47.2	13 36.1	6 16.7	7 19.4	2 5.6	6 16.7	36 100.0
80 歳以上	7 87.5	3 37.5	4 50.0	2 25.0	2 25.0	0 0.0	3 37.5	0 0.0	1 12.5	8 100.0
回答なし	2 50.0	0 0.0	4 100.0	4 100.0	3 75.0	3 75.0	2 50.0	0 0.0	0 0.0	4 100.0
回答者数	403 81.9	316 64.2	228 46.3	207 42.1	222 45.1	154 31.3	189 38.4	46 9.3	20 4.1	492 100.0

主な介護者の健康状況別でみると、すべての区分で「緊急時に受け入れ可能なショートステイ（短期入所）」を希望する方が最も多く、次いで「介護者のレスパイトケア（介護者の一時的な休息を支援するショートステイ等のサービス）の拡充」となっている。

また、「健康」の方と比べ、「健康」以外の方が、各希望するサービス等の割合が高くなっている。

表 36-6 希望するサービス等【複数回答】（主な介護者の健康状況別）

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

	緊急時に受け入れ可能なショートステイ(短期入所)	介護者のレスパイトケア(介護者の一時的な休息を支援するショートステイ等のサービス)の拡充	緊急時に受け入れ可能な病院・診療所	重度の障害や医療的ケアを要している、受け入れ可能な病院・診療所	医療的ケアの行える施設、事業所等の職員の増加	医療、福祉、保健、教育等の各分野の支援を調整するコーディネーターの育成	障害児・者一貫した相談支援の行える専門機関(窓口)	その他	回答なし	回答者数
健康	88 77. 9	64 56. 6	39 34. 5	40 35. 4	47 41. 6	36 31. 9	43 38. 1	9 8. 0	7 6. 2	113 100. 0
腰痛	238 82. 1	187 64. 5	136 46. 9	135 46. 6	144 49. 7	99 34. 1	117 40. 3	30 10. 3	12 4. 1	290 100. 0
肩痛	165 81. 3	140 69. 0	96 47. 3	100 49. 3	114 56. 2	72 35. 5	78 38. 4	23 11. 3	6 3. 0	203 100. 0
慢性疲労	186 85. 3	163 74. 8	116 53. 2	107 49. 1	117 53. 7	85 39. 0	92 42. 2	29 13. 3	4 1. 8	218 100. 0
慢性的な睡眠不足	170 84. 6	137 68. 2	112 55. 7	104 51. 7	101 50. 2	76 37. 8	82 40. 8	26 12. 9	6 3. 0	201 100. 0
慢性病で治療中	72 84. 7	58 68. 2	48 56. 5	41 48. 2	46 54. 1	28 32. 9	42 49. 4	6 7. 1	1 1. 2	85 100. 0
高齢による体力の減退	87 77. 0	66 58. 4	58 51. 3	48 42. 5	47 41. 6	29 25. 7	43 38. 1	13 11. 5	7 6. 2	113 100. 0
その他	57 89. 1	42 65. 6	35 54. 7	29 45. 3	29 45. 3	24 37. 5	33 51. 6	11 17. 2	1 1. 6	64 100. 0
回答なし	4 100. 0	1 25. 0	1 25. 0	0 0. 0	0 0. 0	1 25. 0	2 50. 0	0 0. 0	0 0. 0	100. 0
回答者数	403 81. 9	316 64. 2	228 46. 3	207 42. 1	222 45. 1	154 31. 3	189 38. 4	46 9. 3	20 4. 1	492 100. 0

主な介護者の睡眠状況別でみると、「緊急時に受け入れ可能なショートステイ（短期入所）」を希望する方は、「連続・継続してまとまった時間眠れる」方が 81. 0%、「短時間睡眠を複数回とっている」方が 85. 6%と最も多く、次いで「介護者のレスパイトケア（介護者の一時的な休息を支援するショートステイ等のサービス）の拡充」は「連続・継続してまとまった時間眠れる」方が 62. 1%、「短時間睡眠を複数回とっている」方が 71. 2%となっている。

また、「連続・継続してまとまった時間眠れる」方と比べ、「短時間睡眠を複数回とっている」方が、各希望するサービス等の割合が高くなっている。

表 36-7 希望するサービス等【複数回答】（主な介護者の睡眠状況別）

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

	緊急時に受け入れ可能なショートステイ(短期入所)	介護者のレスパイトケア(介護者の一時的な休息を支援するショートステイ等のサービス)の拡充	緊急時に受け入れ可能な病院・診療所	重度の障害や医療的ケアを要している、受け入れ可能な病院・診療所	医療的ケアの行える施設、事業所等の職員の増加	医療、福祉、保健、教育等の各分野の支援を調整するコーディネーターの育成	障害児・者一貫した相談支援の行える専門機関(窓口)	その他	回答なし	回答者数
連続・継続してまとまった時間眠れる	282 81. 0	216 62. 1	144 41. 4	138 39. 7	153 44. 0	103 29. 6	129 37. 1	25 7. 2	16 4. 6	348 100. 0
短時間睡眠を複数回とっている	113 85. 6	94 71. 2	78 59. 1	66 50. 0	67 50. 8	47 35. 6	54 40. 9	20 15. 2	2 1. 5	132 100. 0
回答なし	8 66. 7	6 50. 0	6 50. 0	3 25. 0	2 16. 7	4 33. 3	6 50. 0	1 8. 3	2 16. 7	12 100. 0
計	403 81. 9	316 64. 2	228 46. 3	207 42. 1	222 45. 1	154 31. 3	189 38. 4	46 9. 3	20 4. 1	492 100. 0

2 診療所向調査

調査概要〔診療所向調査〕

1 目的

この調査は、診療所における重症心身障害児者の受入れ状況、利用可能な社会資源等を把握し、今後の重症心身障害児者の施策検討のための基礎資料とする。

2 調査期間

平成 28 年 8 月 19 日～平成 28 年 9 月 9 日（調査基準日：平成 28 年 8 月 1 日）

3 調査対象

平成 28 年 6 月 1 日現在、市内にある診療所

4 調査方法

調査票を診療所に郵送し、同封の封筒で郵送により回収

5 回収状況

発送・回収状況は次のとおりである。

発送件数 A	回収数 B	回収率 B/A	有効回答数 C	有効回答率 C/A
2,073 件	988 件	47.7%	988 件	47.7%

6 その他

- ・結果の取りまとめは、調査票の設問順を基準とした。
- ・nは、質問に対する回答なし（不明）を含む集計対象数で、割合算出の基準である。
- ・割合はnに対する各選択肢の百分率（％）で小数点以下第2位を四捨五入し、小数点第1位までを表記した。また、割合の合計が100.0%となるよう、個々の選択肢の割合を調整した。
- ・一人の回答者が二つ以上回答することができる設問は、各選択肢の割合の合計が100.0%を超えている。

調査結果

1 診療科の種類

問 1 貴診療所の診療科について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

「内科」が 56.7%と最も多く、次いで「小児科」が 26.5%となっている。

表 1 診療科の種類【複数回答】

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

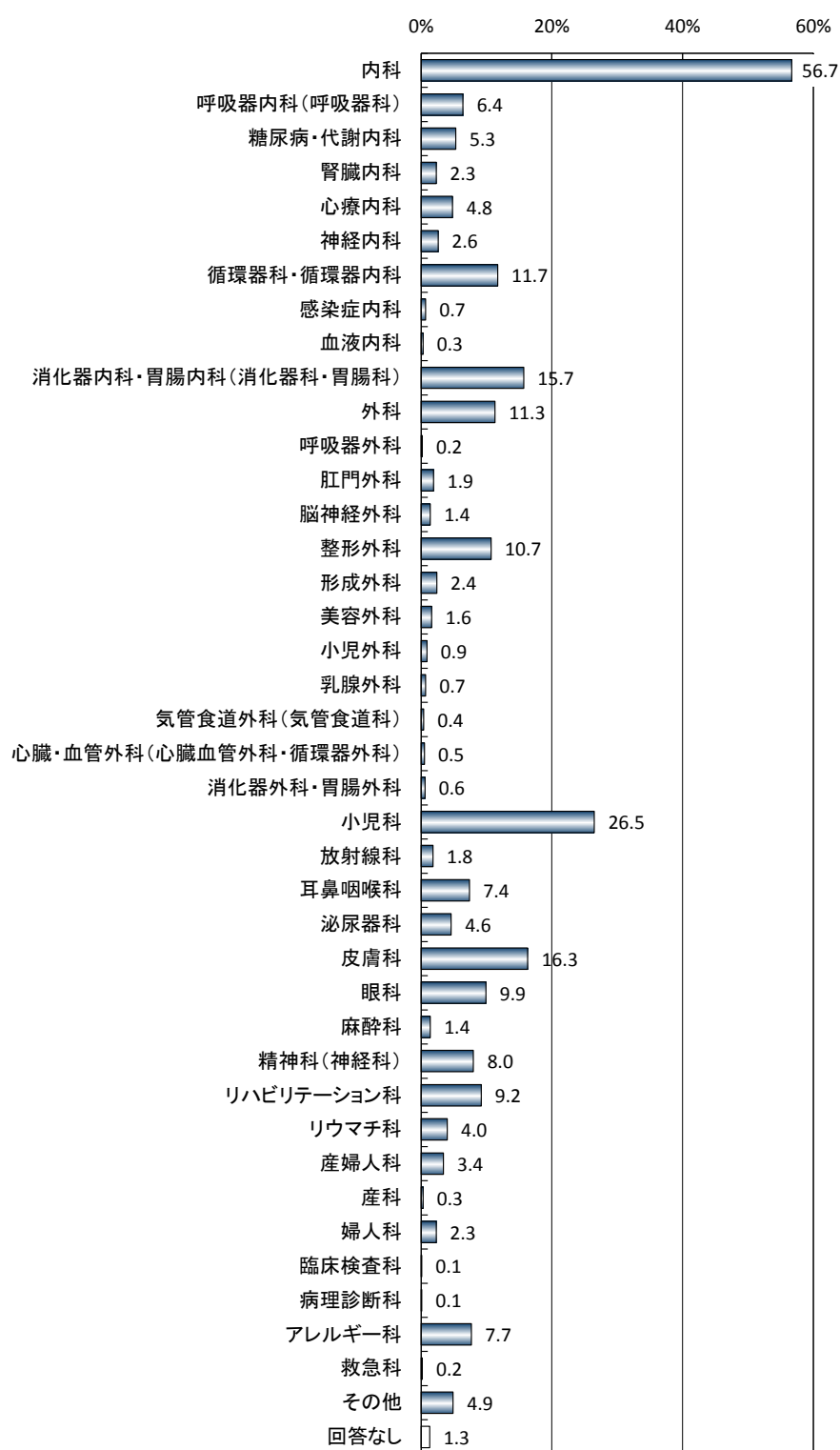
内科	呼吸器内科(呼吸器科)	糖尿病・代謝内科	腎臓内科	心療内科	神経内科	循環器科・循環器内科	感染症内科	血液内科	消化器内科・胃腸内科(消化器科・胃腸科)	外科
560 56.7	63 6.4	52 5.3	23 2.3	47 4.8	26 2.6	116 11.7	7 0.7	3 0.3	155 15.7	112 11.3

呼吸器外科	肛門外科	脳神経外科	整形外科	形成外科	美容外科	小児外科	乳腺外科	気管食道外科(気管食道科)	心臓・血管外科(心臓血管外科・循環器外科)	消化器外科・胃腸外科
2 0.2	19 1.9	14 1.4	106 10.7	24 2.4	16 1.6	9 0.9	7 0.7	4 0.4	5 0.5	6 0.6

小児科	放射線科	耳鼻咽喉科	泌尿器科	皮膚科	眼科	麻酔科	精神科(神経科)	リハビリテーション科	リウマチ科	産婦人科
262 26.5	18 1.8	73 7.4	45 4.6	161 16.3	98 9.9	14 1.4	79 8.0	91 9.2	40 4.0	34 3.4

産科	婦人科	臨床検査科	病理診断科	アレルギー科	救急科	その他	回答なし	回答者数
3 0.3	23 2.3	1 0.1	1 0.1	76 7.7	2 0.2	48 4.9	13 1.3	988 100.0

図1 診療科の種類【複数回答】



n=988

2 所在区

問2 貴診療所の所在区を記入してください。

「中区」が11.2%と最も多く、次いで「中村区」が8.5%、「緑区」が8.1%となっている。

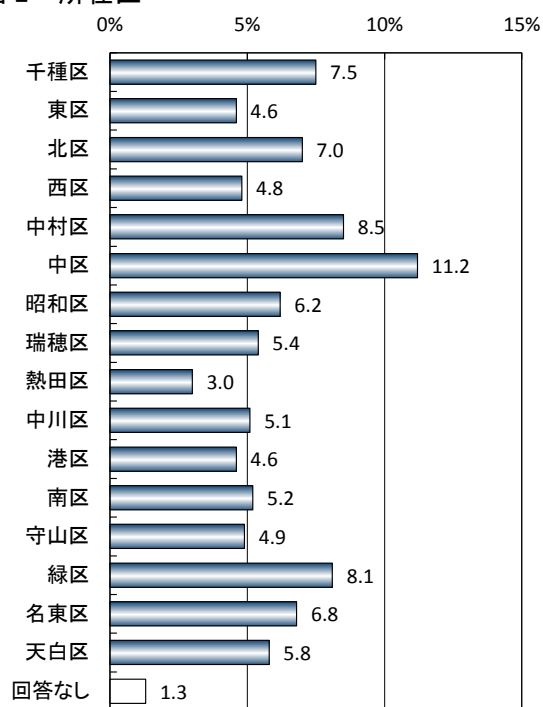
表2 所在区

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

千種区	東区	北区	西区	中村区	中区	昭和区	瑞穂区	熱田区	中川区	港区
74	45	69	47	84	114	61	53	30	50	45
7.5	4.6	7.0	4.8	8.5	11.2	6.2	5.4	3.0	5.1	4.6

南区	守山区	緑区	名東区	天白区	回答なし	計
51	48	80	67	57	13	988
5.2	4.9	8.1	6.8	5.8	1.3	100.0

図2 所在区



n=988

3 在宅療養支援診療所の届出の有無

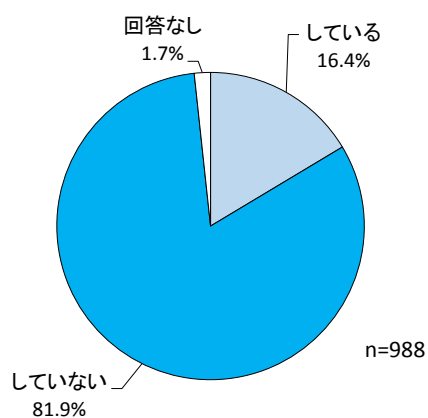
問3 在宅療養支援診療所の届出をされていますか。いずれかに○をつけてください。

「している」は16.4%となっている。

表3 在宅療養支援診療所の届出の有無 [上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

している	していない	回答なし	計
162	809	17	988
16.4	81.9	1.7	100.0

図3 在宅療養支援診療所の届出の有無



4 診察・治療経験の有無

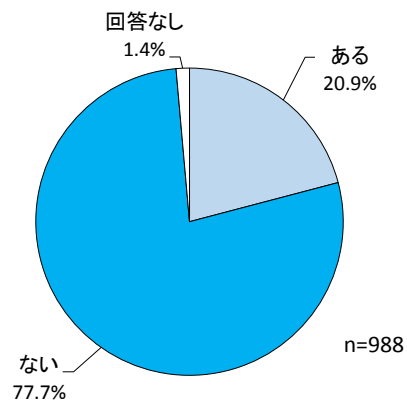
問 4 今までに重症心身障害児者に対して何らかの診察、治療等を行った経験がありますか。いずれかに○をつけてください。

「ある」は 20.9%となっている。

表 4-1 診察・治療経験の有無 [上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

ある	ない	回答なし	計
206 20.9	768 77.7	14 1.4	988 100.0

図 4 診察・治療経験の有無



診療科の種類別でみると、診察・治療経験の「ある」206 診療所のうち、「内科」が 121 診療所 (58.7%) と最も多く、次いで「小児科」が 88 診療所 (42.7%) となっている。

表 4-2 診察・治療経験の有無（診療科の種類別）

区分	ある	ない	回答なし	計
内科	121 21.6	433 77.3	6 1.1	560 100.0
呼吸器内科 (呼吸器科)	13 20.6	49 77.8	1 1.6	63 100.0
糖尿病・代謝内科	16 30.8	35 67.3	1 1.9	52 100.0
腎臓内科	4 17.4	19 82.6	0 0.0	23 100.0
心療内科	8 17.0	38 80.9	1 2.1	47 100.0
神経内科	8 30.8	18 69.2	0 0.0	26 100.0
循環器科・循環器内科	30 25.9	86 74.1	0 0.0	116 100.0
感染症内科	3 42.9	4 57.1	0 0.0	7 100.0
血液内科	0 0.0	3 100.0	0 0.0	3 100.0
消化器内科・胃腸内科 (消化器科・胃腸科)	37 23.9	115 74.2	3 1.9	155 100.0
外科	26 23.2	85 75.9	1 0.9	112 100.0
呼吸器外科	0 0.0	2 100.0	0 0.0	2 100.0
肛門外科	5 26.3	13 68.4	1 5.3	19 100.0
脳神経外科	8 57.1	6 42.9	0 0.0	14 100.0
整形外科	17 16.0	88 83.1	1 0.9	106 100.0
形成外科	6 25.0	18 75.0	0 0.0	24 100.0
美容外科	3 18.8	13 81.2	0 0.0	16 100.0
小児外科	2 22.2	7 77.8	0 0.0	9 100.0
乳腺外科	2 28.6	5 71.4	0 0.0	7 100.0
気管食道外科 (気管食道科)	0 0.0	4 100.0	0 0.0	4 100.0
心臓・血管外科(心臓血 管外科・循環器外科)	1 20.0	4 80.0	0 0.0	5 100.0
消化器外科・胃腸外科	2 33.3	3 50.0	1 16.7	6 100.0

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

区分	ある	ない	回答なし	計
小児科	88 33.6	170 64.9	4 1.5	262 100.0
放射線科	3 16.7	15 83.3	0 0.0	18 100.0
耳鼻咽喉科	17 23.3	54 74.0	2 2.7	73 100.0
泌尿器科	7 15.6	37 82.2	1 2.2	45 100.0
皮膚科	33 20.5	127 78.9	1 0.6	161 100.0
眼科	15 15.3	81 82.7	2 2.0	98 100.0
麻酔科	1 7.1	13 92.9	0 0.0	14 100.0
精神科(神経科)	12 15.2	65 82.3	2 2.5	79 100.0
リハビリテーション科	21 23.1	69 75.8	1 1.1	91 100.0
リウマチ科	6 15.0	34 85.0	0 0.0	40 100.0
産婦人科	4 11.8	30 88.2	0 0.0	34 100.0
産科	0 0.0	3 100.0	0 0.0	3 100.0
婦人科	0 0.0	23 100.0	0 0.0	23 100.0
臨床検査科	0 0.0	1 100.0	0 0.0	1 100.0
病理診断科	0 0.0	1 100.0	0 0.0	1 100.0
アレルギー科	24 31.6	52 68.4	0 0.0	76 100.0
救急科	1 50.0	1 50.0	0 0.0	2 100.0
その他	11 22.9	37 77.1	0 0.0	48 100.0
回答なし	2 15.4	9 69.2	2 15.4	13 100.0
計	206 20.9	768 77.7	14 1.4	988 100.0

在宅療養診療所の届出の有無別でみると、診療・治療経験の「ある」診療所は、届出「している」が 35.8%、「していない」が 17.9%となっている。

表 4-3 診察・治療経験の有無（在宅療養支援診療所の届出の有無別）

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

区分	ある	ない	回答なし	計
している	58 35.8	102 63.0	2 1.2	162 100.0
していない	145 17.9	655 81.0	9 1.1	809 100.0
回答なし	3 17.6	11 64.8	3 17.6	17 100.0
計	206 20.9	768 77.7	14 1.4	988 100.0

5 診察・治療実績

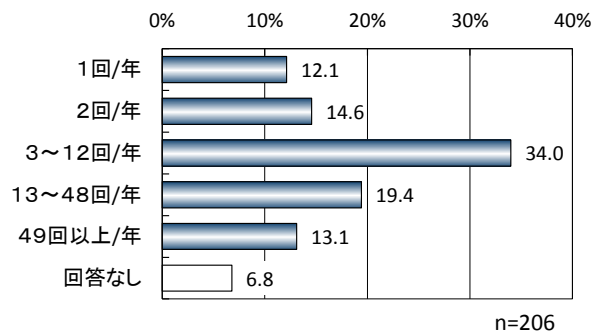
問5 問4で「1. ある」に○をつけた方のみ記入してください。診察、治療等の実績について、平均回数（延人数）を記入し、回答された回数の単位に○をつけてください。

「3～12回／年」が34.0％となっている。

表5 診察・治療実績（平均回数） [上段：回答者数（人）、下段：構成比（％）]

1回/年	2回/年	3～12回/年 (1回以下/月)	13～48回/年 (1回以下/週)	49回以上/年 (1回超/週)	回答なし	計
25 12.1	30 14.6	70 34.0	40 19.4	27 13.1	14 6.8	206 100.0

図5 診察・治療実績（平均回数）



6 診察・治療内容

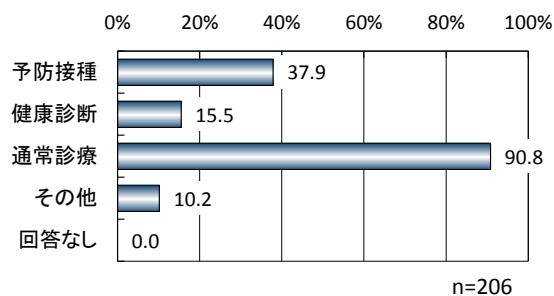
問6 問4で「1. ある」に○をつけた方のみ記入してください。次の診察、治療等を行ったことはありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

「通常診療」が90.8％と最も多く、次いで「予防接種」が37.9％となっている。

表6 診察・治療内容【複数回答】 [上段：回答者数（人）、下段：構成比（％）]

予防接種	健康診断	通常診療	その他	回答なし	回答者数
78 37.9	32 15.5	187 90.8	21 10.2	0 0.0	206 100.0

図6 診察・治療内容【複数回答】



7 診察・治療までの経緯

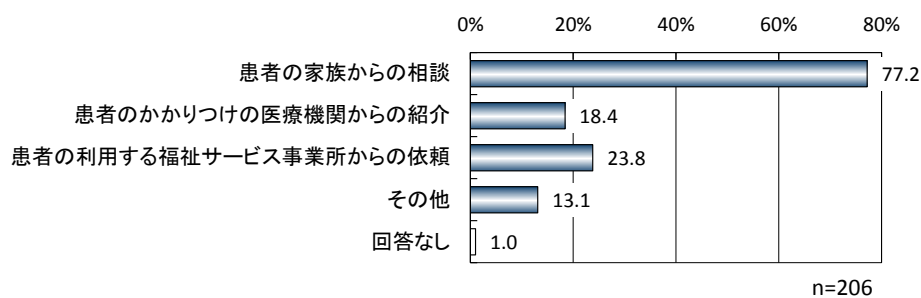
問7 問4で「1. ある」に○をつけた方のみ記入してください。重症心身障害児者に診察、治療等を行うに至った経緯について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

「患者の家族からの相談」が77.2%と最も多く、次いで「患者の利用する福祉サービス事業所からの依頼」が23.8%となっている。

表7 診察・治療までの経緯【複数回答】 [上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

患者の家族からの相談	患者のかかりつけの医療機関からの紹介	患者の利用する福祉サービス事業所からの依頼	その他	回答なし	回答者数
159 77.2	38 18.4	49 23.8	27 13.1	2 1.0	206 100.0

図7 診察・治療までの経緯【複数回答】



8 医療的ケアの実施の有無

問8 問4で「1. ある」に○をつけた方のみ記入してください。重症心身障害児者に「医療的ケア」を実施したことがありますか。いずれかに○をつけてください。また、「1. 実施したことがある」に○をつけた方は、実施したことがある医療的ケアすべてに○をつけてください。

「実施したことがある」は39.3%となっており、その内容は「吸引」が55.6%と最も多く、次いで「気管切開の手当」が33.3%、「褥瘡の手当」が32.1%となっている。

表 8-1 医療的ケアの実施の有無 [上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

実施したことがある	実施したことがない	回答なし	計
81 39.3	120 58.3	5 2.4	206 100.0

図 8-1 医療的ケアの実施の有無

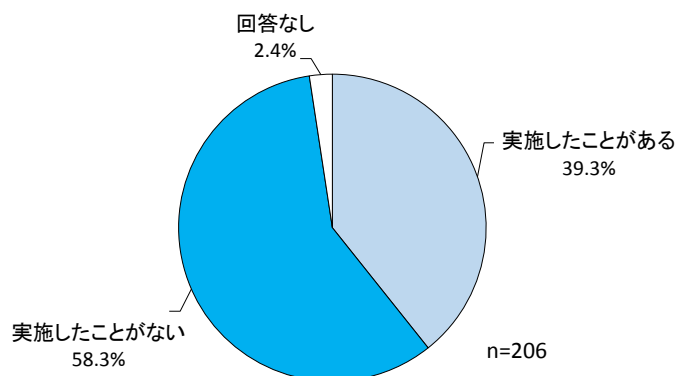
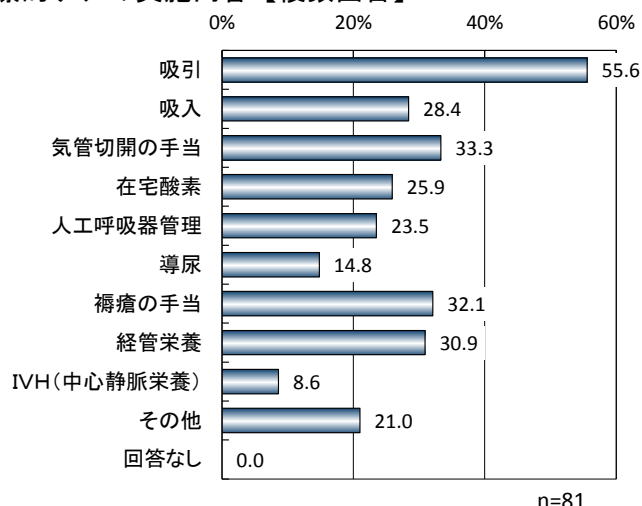


表 8-2 医療的ケアの実施内容【複数回答】 [上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

吸引	吸入	気管切開の手当	在宅酸素	人工呼吸器管理	導尿	褥瘡の手当	経管栄養	IVH(中心静脈栄養)
45 55.6	23 28.4	27 33.3	21 25.9	19 23.5	12 14.8	26 32.1	25 30.9	7 8.6

その他	回答なし	回答者数
17 21.0	0 0.0	81 100.0

図 8-2 医療的ケアの実施内容【複数回答】



診療科の種類別でみると、医療的ケアを「実施したことがある」81診療所のうち、「内科」が49診療所（60.5%）と最も多く、次いで「小児科」が41診療所（50.6%）となっている。

表 8-3 診察・治療経験の有無（診療科の種類別）

区分	実施した ことがある	実施した ことがない	回答なし	計
内科	49 40.5	70 57.8	2 1.7	121 100.0
呼吸器内科 (呼吸器科)	6 46.2	7 53.8	0 0.0	13 100.0
糖尿病・代謝内科	3 18.8	13 81.2	0 0.0	16 100.0
腎臓内科	3 75.0	1 25.0	0 0.0	4 100.0
心療内科	3 37.5	5 62.5	0 0.0	8 100.0
神経内科	5 62.5	3 37.5	0 0.0	8 100.0
循環器科・循環器内科	10 33.3	19 63.4	1 3.3	30 100.0
感染症内科	1 33.3	2 66.7	0 0.0	3 100.0
血液内科	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
消化器内科・胃腸内科 (消化器科・胃腸科)	13 35.1	24 64.9	0 0.0	37 100.0
外科	14 53.8	12 46.2	0 0.0	26 100.0
呼吸器外科	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
肛門外科	4 80.0	1 20.0	0 0.0	5 100.0
脳神経外科	4 50.0	4 50.0	0 0.0	8 100.0
整形外科	6 35.3	11 64.7	0 0.0	17 100.0
形成外科	2 33.3	4 66.7	0 0.0	6 100.0
美容外科	0 0.0	3 100.0	0 0.0	3 100.0
小児外科	2 100.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0
乳腺外科	2 100.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0
気管食道外科 (気管食道科)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
心臓・血管外科(心臓 血管外科・循環器外 科)	0 0.0	1 0.0	0 0.0	1 0.0
消化器外科・胃腸外科	1 50.0	1 50.0	0 0.0	2 100.0

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

区分	実施した ことがある	実施した ことがない	回答なし	計
小児科	41 46.6	46 52.3	1 1.1	88 100.0
放射線科	1 33.3	2 66.7	0 0.0	3 100.0
耳鼻咽喉科	6 35.3	10 58.8	1 5.9	17 100.0
泌尿器科	4 57.1	3 42.9	0 0.0	7 100.0
皮膚科	16 48.5	17 51.5	0 0.0	33 100.0
眼科	1 6.7	12 80.0	2 13.3	15 100.0
麻酔科	1 100.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0
精神科(神経科)	2 16.7	10 83.3	0 0.0	12 100.0
リハビリテーション科	9 42.9	12 57.1	0 0.0	21 100.0
リウマチ科	2 33.3	4 66.7	0 0.0	6 100.0
産婦人科	0 0.0	4 100.0	0 0.0	4 100.0
産科	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
婦人科	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
臨床検査科	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
病理診断科	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
アレルギー科	13 54.2	11 45.8	0 0.0	24 100.0
救急科	1 100.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0
その他	3 27.3	8 72.7	0 0.0	11 100.0
回答なし	1 50.0	1 50.0	0 0.0	2 100.0
計	81 39.3	120 58.3	5 2.4	206 100.0

9 診察・治療等に必要なこと

問9 医療的ケアが必要な重症心身障害児者に診察、治療等を行うにあたって、必要なことはどのようなことだと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

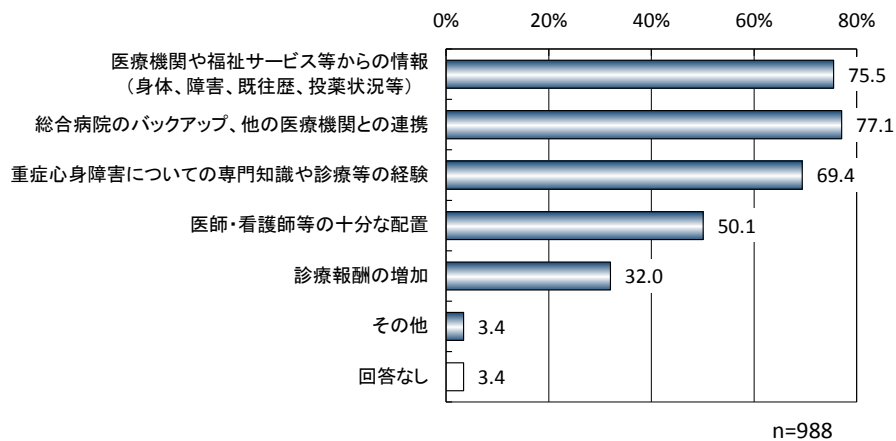
「総合病院のバックアップ、他の医療機関との連携」が77.1%と最も多く、次いで「医療機関や福祉サービス等からの情報（身体、障害、既往歴、投薬状況等）」が75.5%、「重症心身障害についての専門知識や診療等の経験」が69.4%となっている。

表9-1 診察・治療等に必要なこと【複数回答】

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

医療機関や福祉サービス等からの情報（身体、障害、既往歴、投薬状況等）	総合病院のバックアップ、他の医療機関との連携	重症心身障害についての専門知識や診療等の経験	医師・看護師等の十分な配置	診療報酬の増加	その他	回答なし	回答者数
746 75.5	762 77.1	686 69.4	495 50.1	316 32.0	34 3.4	34 3.4	988 100.0

図9 診察・治療等に必要なこと【複数回答】



診察・治療経験の有無別でみると、診療・治療経験の「ある」診療所は、「医療機関や福祉サービス等からの情報（身体、障害、既往歴、投薬状況等）」が83.0%と最も多く、次いで「総合病院のバックアップ、他の医療機関との連携」が77.7%となっている。

また、診療・治療経験の「ない」診療所は、「総合病院のバックアップ、他の医療機関との連携」が77.7%と最も多く、次いで「重症心身障害についての専門知識や診療等の経験」が75.1%となっている。

表9-2 診察・治療等に必要なこと【複数回答】（診察・治療経験の有無別）

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

区分	医療機関や福祉サービス等からの情報（身体、障害、既往歴、投薬状況等）	総合病院のバックアップ、他の医療機関との連携	重症心身障害についての専門知識や診療等の経験	医師・看護師等の十分な配置	診療報酬の増加	その他	回答なし	回答者数
ある	171 83.0	160 77.7	103 50.0	92 44.7	65 31.6	11 5.3	7 3.4	206 100.0
ない	570 74.2	597 77.7	577 75.1	400 52.1	248 32.3	23 3.0	20 2.6	768 100.0
回答なし	5 35.7	5 35.7	6 42.9	3 21.4	3 21.4	0 0.0	7 50.0	14 100.0
計	746 75.5	762 77.1	686 69.4	495 50.1	316 32.0	34 3.4	34 3.4	988 100.0

医療的ケアの実施の有無別でみると、医療的ケアを「実施たことがある」診療所は、「医療機関や福祉サービス等からの情報（身体、障害、既往歴、投薬状況等）」「総合病院のバックアップ、他の医療機関との連携」が各 85.2%となっている。

また、医療的ケアを「実施したことがない」診療所は、「医療機関や福祉サービス等からの情報（身体、障害、既往歴、投薬状況等）」が 81.7%と最も多く、次いで「総合病院のバックアップ、他の医療機関との連携」が 72.5%となっている。

表 9-3 診察・治療等に必要なこと【複数回答】（医療的ケアの実施の有無別）

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

区分	医療機関や福祉サービス等からの情報 (身体、障害、既往歴、投薬状況等)	総合病院のバックアップ、他の医療機関との連携	重症心身障害についての専門知識や診療等の経験	医師・看護師等の十分な配置	診療報酬の増加	その他	回答なし	回答者数
実施したことがある	69 85.2	69 85.2	35 43.2	38 46.9	29 35.8	7 8.6	1 1.2	81 100.0
実施したことがない	98 81.7	87 72.5	65 54.2	51 42.5	33 27.5	4 3.3	5 4.2	120 100.0
回答なし	4 80.0	4 80.0	3 60.0	3 60.0	3 60.0	0 0.0	1 20.0	5 100.0
計	171 83.0	160 77.7	103 50.0	92 44.7	65 31.6	11 5.3	7 3.4	206 100.0

10 地域生活の支援に必要なこと

問 10 医療的ケアが必要な重症心身障害児者の地域での生活を支援するにあたって、必要なことはどのようなことだと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

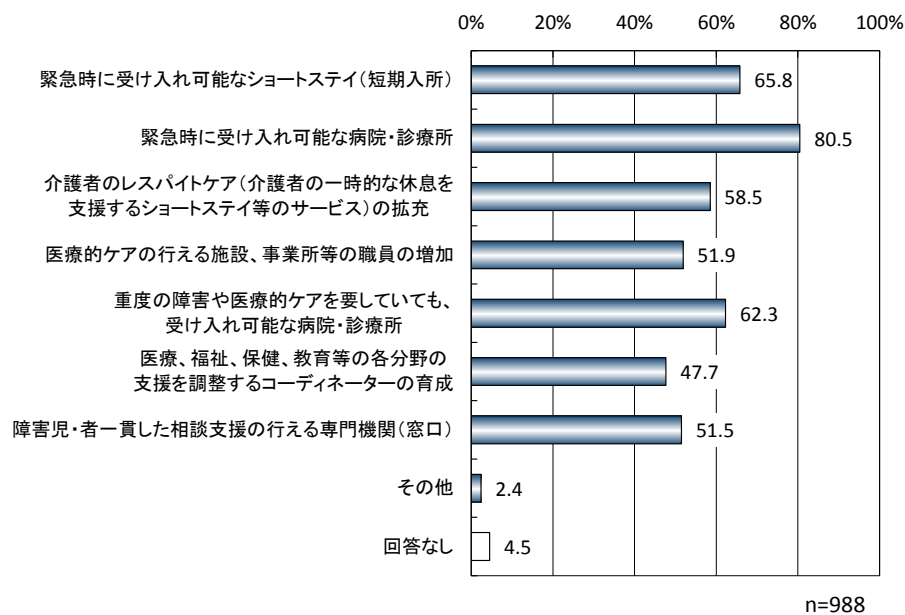
「緊急時に受け入れ可能な病院・診療所」が 80.5%と最も多く、次いで「緊急時に受け入れ可能なショートステイ（短期入所）」が 65.8%、「重度の障害や医療的ケアを要していても、受け入れ可能な病院・診療所」が 62.3%となっている。

表 10-1 地域生活支援に必要なこと【複数回答】

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

緊急時に受け入れ可能なショートステイ(短期入所)	緊急時に受け入れ可能な病院・診療所	介護者のレスパイトケア(介護者の一時的な休息を支援するショートステイ等のサービスの拡充)	医療的ケアの行える施設、事業所等の職員の増加	重度の障害や医療的ケアを要していても、受け入れ可能な病院・診療所	医療、福祉、保健、教育等の各分野の支援を調整するコーディネーターの育成	障害児・者一貫した相談支援の行える専門機関(窓口)	その他	回答なし	回答者数
650 65.8	795 80.5	578 58.5	513 51.9	616 62.3	471 47.7	509 51.5	24 2.4	44 4.5	988 100.0

図 10 地域生活支援に必要なこと【複数回答】



診察・治療経験の有無別でみると、診療・治療経験の「ある」診療所は、「緊急時に受け入れ可能な病院・診療所」が 83.0%と最も多く、次いで「緊急時に受け入れ可能なショートステイ（短期入所）」が 69.9%となっている。

また、診療・治療経験の「ない」診療所も同様に、「緊急時に受け入れ可能な病院・診療所」が 80.6%と最も多く、次いで「緊急時に受け入れ可能なショートステイ（短期入所）」が 65.4%となっている。

表 10-2 地域生活支援に必要なこと【複数回答】（診療・治療経験の有無別）

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

区分	緊急時に受け入れ可能なショートステイ(短期入所)	緊急時に受け入れ可能な病院・診療所	介護者のレスパイトケア(介護者の一時的な休息を支援するショートステイ等のサービスの拡充)	医療的ケアの行える施設、事業所等の職員の増加	重度の障害や医療的ケアを要している、受け入れ可能な病院・診療所	医療、福祉、保健、教育等の各分野の支援を調整するコーディネーターの育成	障害児・者一貫した相談支援の行える専門機関(窓口)	その他	回答なし	回答者数
ある	144 69.9	171 83.0	135 65.5	99 48.1	127 61.7	107 51.9	103 50.0	7 3.4	6 2.9	206 100.0
ない	502 65.4	619 80.6	439 57.2	408 53.1	484 63.0	360 46.9	401 52.2	17 2.2	31 4.0	768 100.0
回答なし	4 28.6	5 35.7	4 28.6	6 42.9	5 35.7	4 28.6	5 35.7	0 0.0	7 50.0	14 100.0
計	650 65.8	795 80.5	578 58.5	513 51.9	616 62.3	471 47.7	509 51.5	24 2.4	44 4.5	988 100.0

医療的ケアの実施の有無別でみると、医療的ケアを「実施したことがある」診療所は、「緊急時に受け入れ可能な病院・診療所」が 88.9%と最も多く、次いで「緊急時に受け入れ可能なショートステイ（短期入所）」が 74.1%となっている。

また、医療的ケアを「実施したことがない」診療所も同様に、「緊急時に受け入れ可能な病院・診療所」が 79.2%と最も多く、次いで「緊急時に受け入れ可能なショートステイ（短期入所）」が 66.7%となっている。

表 10-3 地域生活支援に必要なこと【複数回答】（医療的ケアの実施の有無別）

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

区分	緊急時に受け入れ可能なショートステイ(短期入所)	緊急時に受け入れ可能な病院・診療所	介護者のレスパイトケア(介護者の一時的な休息を支援するショートステイ等のサービスの拡充)	医療的ケアの行える施設、事業所等の職員の増加	重度の障害や医療的ケアを要している、受け入れ可能な病院・診療所	医療、福祉、保健、教育等の各分野の支援を調整するコーディネーターの育成	障害児・者一貫した相談支援の行える専門機関(窓口)	その他	回答なし	回答者数
実施したことがある	60 74.1	72 88.9	59 72.8	43 53.1	54 66.7	50 61.7	41 50.6	3 3.7	0 0.0	81 100.0
実施したことがない	80 66.7	95 79.2	73 60.8	54 45.0	71 59.2	55 45.8	60 50.0	4 3.3	5 4.2	120 100.0
回答なし	4 80.0	4 80.0	3 60.0	2 40.0	2 40.0	2 40.0	2 40.0	0 0.0	1 20.0	5 100.0
計	144 69.9	171 83.0	135 65.5	99 48.1	127 61.7	107 51.9	103 50.0	7 3.4	6 2.9	206 100.0

3 福祉サービス事業所等向調査

調査概要〔福祉サービス事業所等向調査〕

1 目的

この調査は、福祉サービス事業所等における重症心身障害児者の受入れ状況、利用可能な社会資源等を把握し、今後の重症心身障害児者の施策検討のための基礎資料とする。

2 調査期間

平成 28 年 8 月 19 日～平成 28 年 9 月 9 日（調査基準日：平成 28 年 8 月 1 日）

3 調査対象

平成 28 年 6 月 1 日現在、市内にある障害福祉サービス事業所、障害者支援施設、相談支援事業所、障害児通所支援事業所、障害児入所施設、障害児相談支援事業所、地域生活支援事業所、重症心身障害児小規模通所援護事業所、訪問看護事業所

4 調査方法

調査票を福祉サービス事業所等に郵送し、同封の封筒で郵送により回収

5 回収状況

発送・回収状況は次のとおりである。

発送件数 A	回収数 B	回収率 B/A	有効回答数 C	有効回答率 C/A
3,705 件	2,479 件	66.9%	2,479 件	66.9%

6 その他

- ・結果の取りまとめは、調査票の設問順を基準とした。
- ・n は、質問に対する回答なし（不明）を含む集計対象数で、割合算出の基準である。
- ・割合は n に対する各選択肢の百分率（％）で小数点以下第 2 位を四捨五入し、小数点第 1 位までを表記した。また、割合の合計が 100.0% となるよう、個々の選択肢の割合を調整した。
- ・一人の回答者が二つ以上回答することができる設問は、各選択肢の割合の合計が 100.0% を超えている。

調査結果

1 サービス種別

問1 貴事業所・施設のサービス種別について、1つだけ○をつけてください。

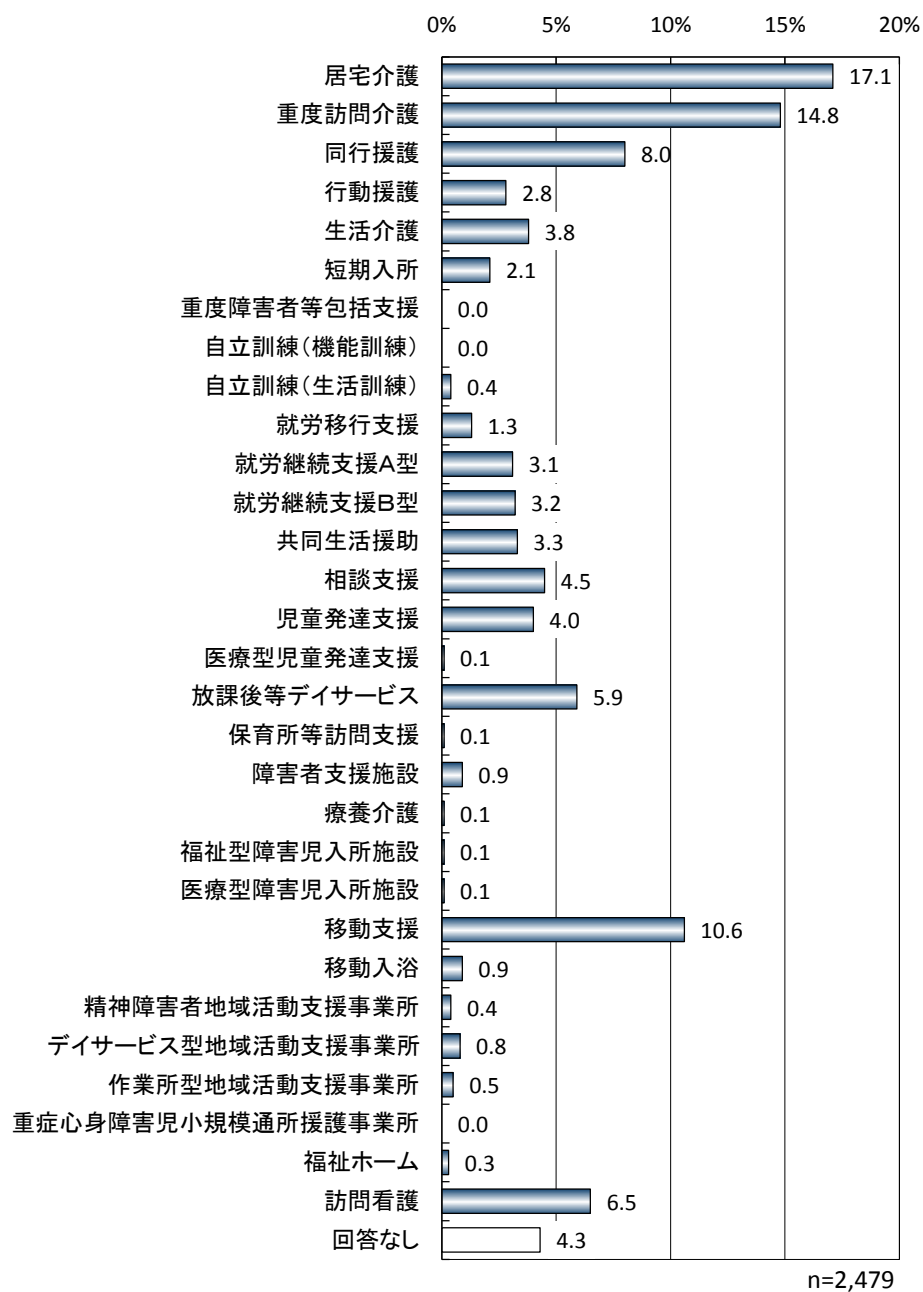
「居宅介護」が17.1%と最も多く、次いで「重度訪問介護」が14.8%、「移動支援」が10.6%となっている。

表1 サービス種別

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

居宅介護	重度訪問 介護	同行援護	行動援護	生活介護	短期入所	重度障害 者等包括 支援	自立訓練 (機能訓 練)	自立訓練 (生活訓 練)	就労移行 支援	就労継続 支援A型
425 17.1	367 14.8	198 8.0	69 2.8	95 3.8	51 2.1	1 0.0	1 0.0	9 0.4	32 1.3	76 3.1
就労継続 支援B型	共同生活 援助	相談支援	児童発達 支援	医療型児 童発達支 援	放課後等 デイサー ビス	保育所等 訪問支援	障害者支 援施設	療養介護	福祉型障 害児入所 施設	医療型障 害児入所 施設
80 3.2	81 3.3	112 4.5	98 4.0	2 0.1	146 5.9	2 0.1	23 0.9	2 0.1	2 0.1	2 0.1
移動支援	移動入浴	精神障害 者地域活 動支援事 業所	デイサー ビス型地 域活動 支援事 業所	作業所型 地域活動 支援事 業所	重症心身 障害児小 規模通所 援護事 業所	福祉ホーム	訪問看護	回答なし	計	
262 10.6	22 0.9	11 0.4	21 0.8	12 0.5	1 0.0	8 0.3	161 6.5	107 4.3	2,479 100.0	

図1 サービス種別



2 所在区

問2 貴事業所・施設の所在区を記入してください。

「中川区」が9.6%と最も多く、次いで「守山区」が9.0%となっている。

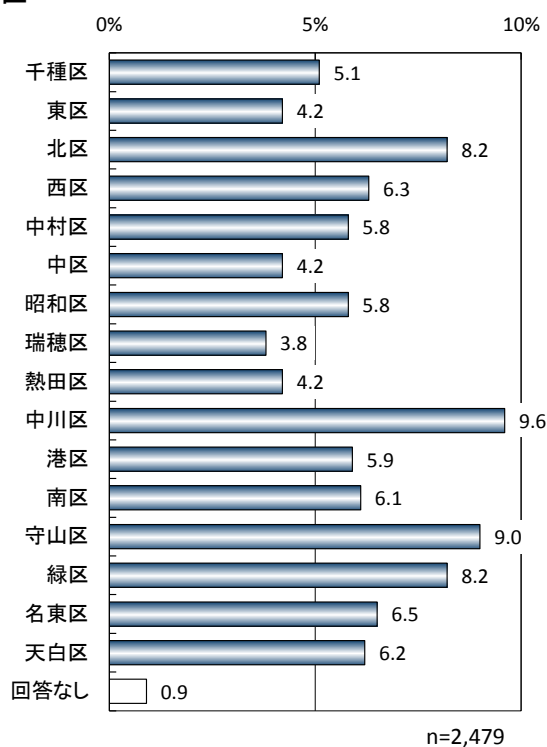
表2 所在区

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

千種区	東区	北区	西区	中村区	中区	昭和区	瑞穂区	熱田区	中川区	港区
126 5.1	103 4.2	204 8.2	156 6.3	144 5.8	105 4.2	144 5.8	94 3.8	104 4.2	238 9.6	147 5.9

南区	守山区	緑区	名東区	天白区	回答なし	計
152 6.1	222 9.0	204 8.2	161 6.5	153 6.2	22 0.9	2,479 100.0

図2 所在区



3 受入れ経験の有無

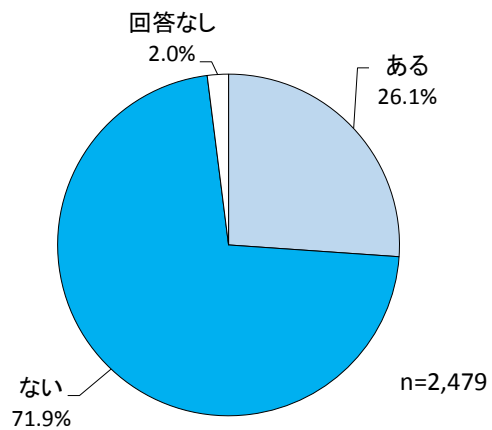
問3 今までに重症心身障害児者を貴事業所・施設で受入れたことがありますか。いずれかに○をつけてください。

「ある」が26.1%となっている。

表 3-1 受入れ経験の有無 [上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

ある	ない	回答なし	計
648	1,781	50	2,479
26.1	71.9	2.0	100.0

図 3 受入れ経験の有無



サービス種別別でみると、重症心身障害児者の受入れ経験の「ある」648 事業所等のうち、「居宅介護」「重度訪問介護」が各 112 か所（17.3%）と最も多く、次いで「移動支援」が 57 か所（8.8%）、「生活介護」が 53 か所（8.2%）となっている。

表 3-2 受入れ経験の有無（サービス種別別）

区分	ある	ない	回答なし	計
居宅介護	112 26.4	301 70.8	12 2.8	425 100.0
重度訪問介護	112 30.5	246 67.0	9 2.5	367 100.0
同行援護	20 10.1	173 87.4	5 2.5	198 100.0
行動援護	12 17.4	56 81.2	1 1.4	69 100.0
生活介護	53 55.7	41 43.2	1 1.1	95 100.0
短期入所	24 47.1	27 52.9	0 0.0	51 100.0
重度障害者等包括支援	1 100.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0
自立訓練(機能訓練)	0 0.0	1 100.0	0 0.0	1 100.0
自立訓練(生活訓練)	0 0.0	9 100.0	0 0.0	9 100.0
就労移行支援	2 6.3	29 90.6	1 3.1	32 100.0
就労継続支援A型	3 3.9	72 94.8	1 1.3	76 100.0
就労継続支援B型	3 3.8	75 93.7	2 2.5	80 100.0
共同生活援助	9 11.1	72 88.9	0 0.0	81 100.0
相談支援	52 46.4	58 51.8	2 1.8	112 100.0
児童発達支援	20 20.4	77 78.6	1 1.0	98 100.0
医療型児童発達支援	2 100.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0
放課後等デイサービス	47 32.2	96 65.7	3 2.1	146 100.0
保育所等訪問支援	0 0.0	2 100.0	0 0.0	2 100.0

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

区分	ある	ない	回答なし	計
障害者支援施設	9 39.1	14 60.9	0 0.0	23 100.0
療養介護	2 100.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0
福祉型障害児入所施設	0 0.0	2 100.0	0 0.0	2 100.0
医療型障害児入所施設	2 100.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0
移動支援	57 21.8	200 76.3	5 1.9	262 100.0
移動入浴	15 68.2	6 27.3	1 4.5	22 100.0
精神障害者地域活動支援事業所	0 0.0	11 100.0	0 0.0	11 100.0
デイサービス型地域活動支援事業所	6 28.6	14 66.6	1 4.8	21 100.0
作業所型地域活動支援事業所	3 25.0	9 75.0	0 0.0	12 100.0
重症心身障害児小規模通所援護事業所	1 100.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0
福祉ホーム	2 25.0	6 75.0	0 0.0	8 100.0
訪問看護	48 29.8	113 70.2	0 0.0	161 100.0
回答なし	31 29.0	71 66.3	5 4.7	107 100.0
計	648 26.1	1,781 71.9	50 2.0	2,479 100.0

4 利用実績（平均延人数）

問4 問3で「1. ある」に○をつけた方のみ記入してください。

重症心身障害児者の利用実績について、平均延人数を記入し、回答された人数の単位に○をつけてください。

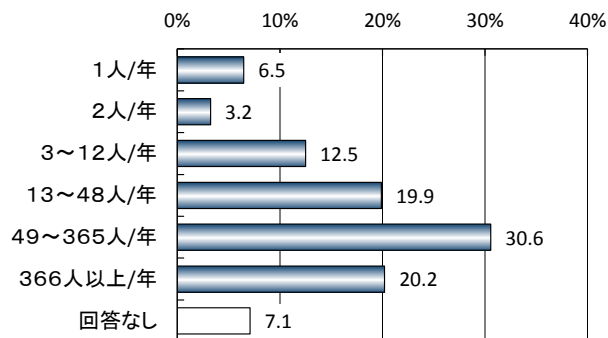
「49～365人／年」が30.6%となっている。

表4 利用実績（平均延人数）

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

1人/年	2人/年	3～12人/年 (1人以下/月)	13～48人/年 (1人以下/週)	49～365人/年 (1人以下/日)	366人以上/年 (1人超/日)	回答なし	計
42 6.5	21 3.2	81 12.5	129 19.9	198 30.6	131 20.2	46 7.1	468 100.0

図4 利用実績（平均延人数）



n=648

5 受入れまでの経緯

問5 問3で「1. ある」に○をつけた方のみ記入してください。重症心身障害児者を受入れるに至った経緯について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

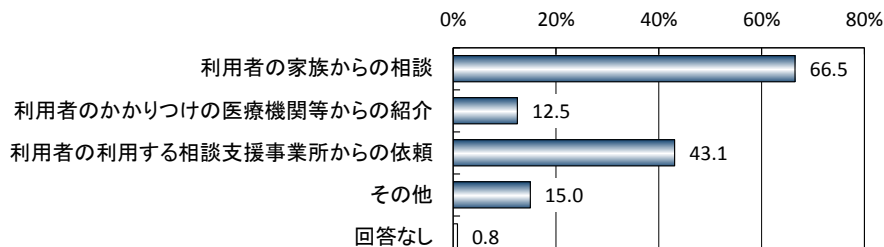
「利用者の家族からの相談」が66.5%と最も多く、次いで「利用者の利用する相談支援事業所からの依頼」が43.1%となっている。

表5 受入れまでの経緯【複数回答】

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

利用者の家族からの相談	利用者のかかりつけの医療機関等からの紹介	利用者の利用する相談支援事業所からの依頼	その他	回答なし	回答者数
431 66.5	81 12.5	279 43.1	97 15.0	5 0.8	648 100.0

図5 受入れまでの経緯【複数回答】



n=648

6 医療的ケアが必要な方の受入れ経験の有無

問6 問3で「1. ある」に○をつけた方のみ記入してください。

医療的ケアが必要な重症心身障害児者を受入れたことがありますか。いずれかに○をつけてください。また、「1. 受入れたことがある」に○をつけた方は、必要な医療的ケアすべてに○をつけてください。

「受入れたことがある」が48.3%となっており、そのうち必要な医療的ケアは「吸引」72.5%、「経管栄養」が65.8%となっている。

表 6-1 医療的ケアが必要な方の受入れ経験の有無 [上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

受入れたことがある	受入れたことがない	回答なし	計
313 48.3	326 50.3	9 1.4	648 100.0

図 6-1 医療的ケアが必要な方の受入れ経験の有無

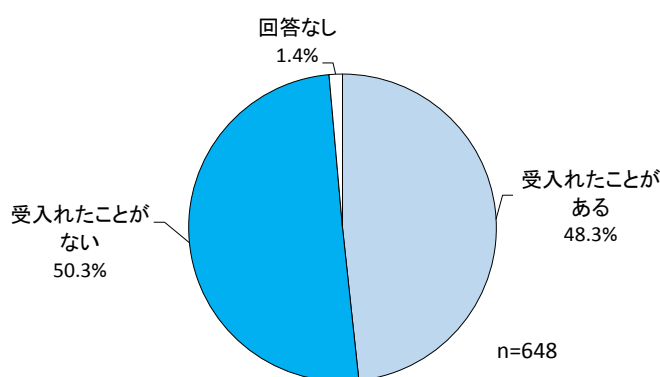
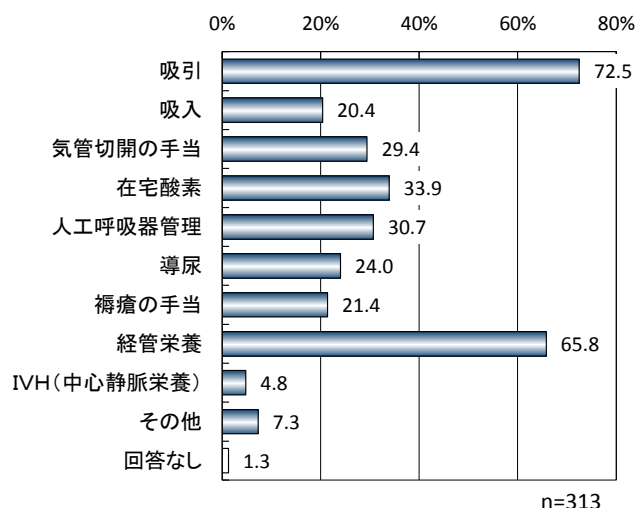


表 6-2 医療的ケアの種類【複数回答】 [上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

吸引	吸入	気管切開の手当	在宅酸素	人工呼吸器管理	導尿
227 72.5	64 20.4	92 29.4	106 33.9	96 30.7	75 24.0
褥瘡の手当	経管栄養	IVH(中心静脈栄養)	その他	回答なし	回答者数
67 21.4	206 65.8	15 4.8	23 7.3	4 1.3	313 100.0

図 6-2 医療的ケアの種類【複数回答】



サービス種別別でみると、医療的ケアが必要な重症心身障害児者の受入れ経験の「ある」313 事業所等のうち、「重度訪問介護」が49 か所(15.7%)と最も多く、次いで「居宅介護」が48 か所(15.3%)、「訪問看護」が(14.1%)となっている。

表 6-3 医療的ケアが必要な方の受入れ経験の有無（サービス種別別）

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

区分	受入れた ことがある	受入れた ことがない	回答なし	計
居宅介護	48 42.9	63 56.2	1 0.9	112 100.0
重度訪問介護	49 43.8	63 56.2	0 0.0	112 100.0
同行援護	6 30.0	14 70.0	0 0.0	20 100.0
行動援護	2 16.7	10 83.3	0 0.0	12 100.0
生活介護	24 45.3	29 54.7	0 0.0	53 100.0
短期入所	8 33.3	16 66.7	0 0.0	24 100.0
重度障害者等包括支援	0 0.0	1 100.0	0 0.0	1 100.0
自立訓練(機能訓練)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
自立訓練(生活訓練)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
就労移行支援	0 0.0	2 100.0	0 0.0	2 100.0
就労継続支援A型	1 33.3	2 66.7	0 0.0	3 100.0
就労継続支援B型	0 0.0	3 100.0	0 0.0	3 100.0
共同生活援助	2 22.2	7 77.8	0 0.0	9 100.0
相談支援	27 51.9	21 40.4	4 7.7	52 100.0
児童発達支援	13 65.0	7 35.0	0 0.0	20 100.0
医療型児童発達支援	2 100.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0
放課後等デイサービス	26 55.3	20 42.6	1 2.1	47 100.0
保育所等訪問支援	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

区分	受入れた ことがある	受入れた ことがない	回答なし	計
障害者支援施設	5 55.6	4 44.4	0 0.0	9 100.0
療養介護	2 100.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0
福祉型障害児入所施設	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
医療型障害児入所施設	2 100.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0
移動支援	19 33.3	36 63.2	2 3.5	57 100.0
移動入浴	12 80.0	2 13.3	1 6.7	15 100.0
精神障害者地域活動支援事業所	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
デイサービス型地域活動支援事業所	0 0.0	6 100.0	0 0.0	6 100.0
作業所型地域活動支援事業所	0 0.0	3 100.0	0 0.0	3 100.0
重症心身障害児小規模通所援護事業所	1 100.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0
福祉ホーム	0 0.0	2 100.0	0 0.0	2 100.0
訪問看護	44 91.7	4 8.3	0 0.0	48 100.0
回答なし	20 64.5	11 35.5	0 0.0	31 100.0
計	313 48.3	326 50.3	9 1.4	648 100.0

7 受入れ対応の内容

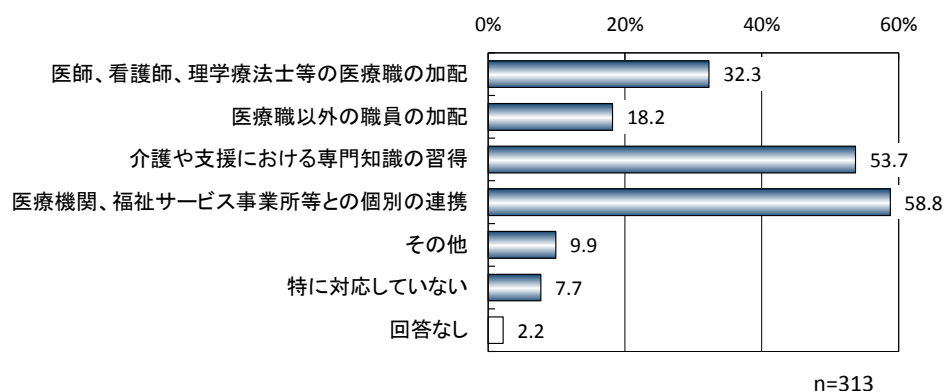
問7 問6で「1. 受入れたことがある」に○をつけた方のみ記入してください。
重症心身障害児者を受入れるにあたって、対応したことはどのようなことですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

「医療機関、福祉サービス事業所等との個別の連携」が58.8%と最も多く、次いで「介護や支援における専門知識の習得」が53.7%、「医師、看護師、理学療法士等の医療職の加配」が32.3%となっている。

表7 受入れ対応の内容【複数回答】 上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）

医師、看護師、理学療法士等の医療職の加配	医療職以外の職員の加配	介護や支援における専門知識の習得	医療機関、福祉サービス事業所等との個別の連携	その他	特に対応していない	回答なし	回答者数
101 32.3	57 18.2	168 53.7	184 58.8	31 9.9	24 7.7	7 2.2	313 100.0

図7 受入れ対応の内容【複数回答】



8 受入れにあたって必要なこと

問8 医療的ケアが必要な重症心身障害児者の利用を受入れるにあたって、必要なことはどのようなことだと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

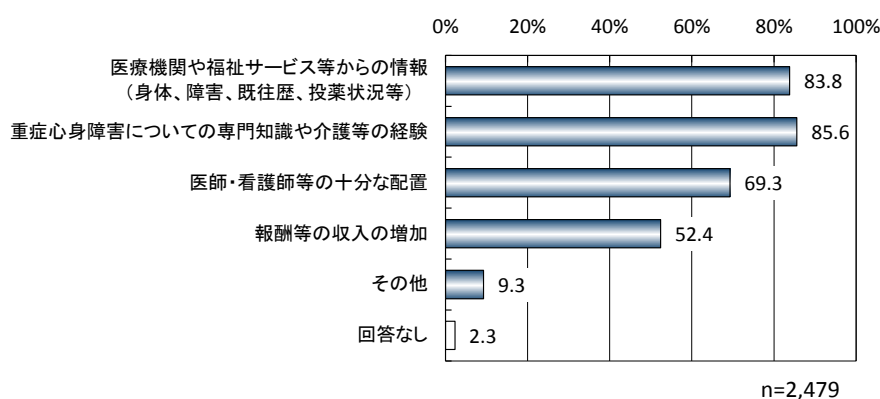
「重症心身障害についての専門知識や介護等の経験」が85.6%と最も多く、次いで「医療機関や福祉サービス等からの情報（身体、障害、既往歴、投薬状況等）」が83.8%、「医師・看護師等の十分な配置」が69.3%となっている。

表 8-1 受入れにあたって必要なこと【複数回答】

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

医療機関や福祉サービス等からの情報（身体、障害、既往歴、投薬状況等）	重症心身障害についての専門知識や介護等の経験	医師・看護師等の十分な配置	報酬等の収入の増加	その他	回答なし	回答者数
2,077 83.8	2,123 85.6	1,718 69.3	1,299 52.4	231 9.3	56 2.3	2,479 100.0

図 8 受入れにあたって必要なこと【複数回答】



重症心身障害児者の受入れ経験の有無別でみると、受入れ経験の「ある」事業所等では、「医療機関や福祉サービス等からの情報（身体、障害、既往歴、投薬状況等）」が83.6%と最も多く、次いで「重症心身障害についての専門知識や介護等の経験」が81.0%となっている。

また、受入れ経験の「ない」事業所等では、「重症心身障害についての専門知識や介護等の経験」が88.2%と最も多く、次いで「医療機関や福祉サービス等からの情報（身体、障害、既往歴、投薬状況等）」が84.6%となっている。

表 8-2 受入れにあたって必要なこと【複数回答】（受入れ経験の有無別）

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

区分	医療機関や福祉サービス等からの情報（身体、障害、既往歴、投薬状況等）	重症心身障害についての専門知識や介護等の経験	医師・看護師等の十分な配置	報酬等の収入の増加	その他	回答なし	回答者数
ある	542 83.6	525 81.0	429 66.2	357 55.1	68 10.5	20 3.1	648 100.0
ない	1,506 84.6	1,571 88.2	1,261 70.8	924 51.9	161 9.0	17 1.0	1,781 100.0
回答なし	29 58.0	27 54.0	28 56.0	18 36.0	2 4.0	19 38.0	50 100.0
計	2,077 83.8	2,123 85.6	1,718 69.3	1,299 52.4	231 9.3	56 2.3	2,479 100.0

医療的ケアが必要な重症心身障害児者の受入れ経験の有無別でみると、「受入れたことがある」事業所等では、「医療機関や福祉サービス等からの情報（身体、障害、既往歴、投薬状況等）」が85.6%と最も多く、次いで「重症心身障害についての専門知識や介護等の経験」が82.4%となっている。

また、「受入れたことがない」事業所等でも同様に、「医療機関や福祉サービス等からの情報（身体、障害、既往歴、投薬状況等）」が81.6%と最も多く、次いで「重症心身障害についての専門知識や介護等の経験」が79.4%となっている。

表 8-3 受入れにあたって必要なこと【複数回答】（医療的ケアが必要な方の受入れ経験の有無別）

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

区分	医療機関や福祉サービス等からの情報(身体、障害、既往歴、投薬状況等)	重症心身障害についての専門知識や介護等の経験	医師・看護師等の十分な配置	報酬等の収入の増加	その他	回答なし	回答者数
受入れたことがある	268 85.6	258 84.2	196 62.6	161 51.4	35 11.2	3 1.0	313 100.0
受入れたことがない	266 81.6	259 79.4	225 69.0	191 58.6	31 9.5	17 5.2	326 100.0
回答なし	8 88.9	8 88.9	8 88.9	5 55.6	2 22.2	0 0.0	9 100.0
計	542 83.6	525 81.0	429 66.2	357 55.1	68 10.5	20 3.1	648 100.0

9 地域生活支援に必要なこと

問9 医療的ケアが必要な重症心身障害児者の地域での生活を支援するにあたって、必要なことはどのようなことだと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

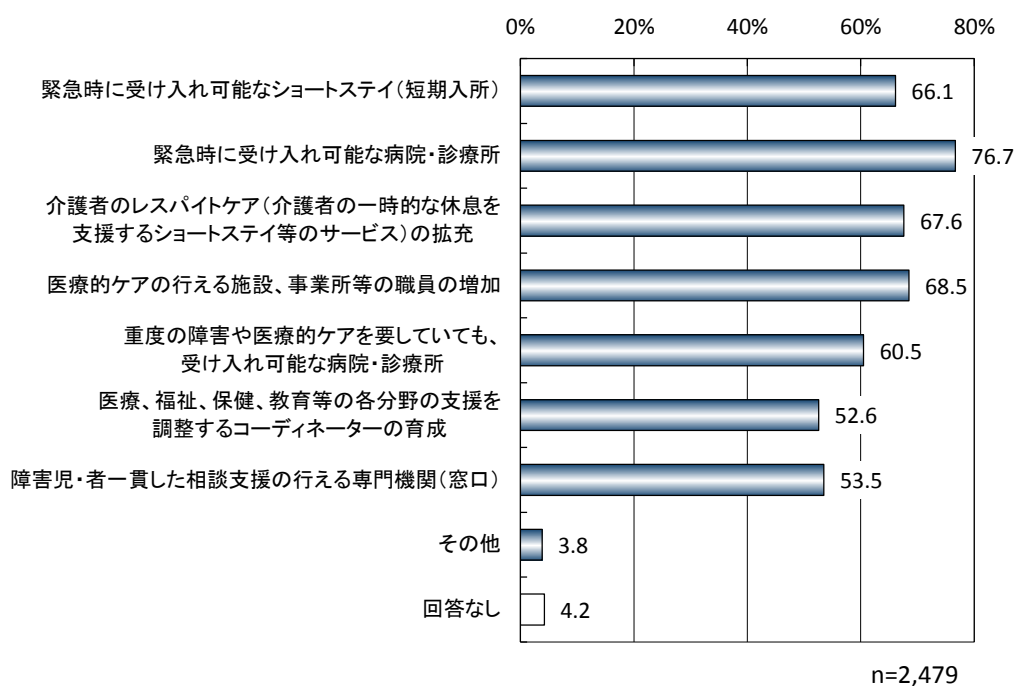
「緊急時に受け入れ可能な病院・診療所」が76.7%と最も多く、次いで「医療的ケアの行える施設、事業所等の職員の増加」が68.5%、「介護者のレスパイトケア（介護者の一時的な休息を支援するショートステイ等のサービス）の拡充」が67.6%となっている。

表 9-1 地域生活支援に必要なこと【複数回答】

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

緊急時に受け入れ可能なショートステイ(短期入所)	緊急時に受け入れ可能な病院・診療所	介護者のレスパイトケア(介護者の一時的な休息を支援するショートステイ等のサービス)の拡充	医療的ケアの行える施設、事業所等の職員の増加	重度の障害や医療的ケアを要していても、受け入れ可能な病院・診療所	医療、福祉、保健、教育等の各分野の支援を調整するコーディネーターの育成	障害児・者一貫した相談支援の行える専門機関(窓口)	その他	回答なし	回答者数
1,638 66.1	1,902 76.7	1,677 67.6	1,697 68.5	1,501 60.5	1,303 52.6	1,327 53.5	95 3.8	103 4.2	2,479 100.0

図 9 地域生活支援に必要なこと【複数回答】



重症心身障害児者の受入れ経験の有無別でみると、受入れ経験の「ある」事業所等では、「介護者のレスパイトケア（介護者の一時的な休息を支援するショートステイ等のサービス）の拡充」が74.4%と最も多く、次いで「緊急時に受け入れ可能なショートステイ（短期入所）」が72.8%、「緊急時に受け入れ可能な病院・診療所」が72.7%となっている。

また、受入れ経験の「ない」事業所等では、「緊急時に受け入れ可能な病院・診療所」が79.1%と最も多く、次いで「医療的ケアの行える施設、事業所等の職員の増加」が68.6%、「介護者のレスパイトケア（介護者の一時的な休息を支援するショートステイ等のサービス）の拡充」が65.7%となっている。

表 9-2 地域生活支援に必要なこと【複数回答】（受入れ経験の有無別）

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

区分	緊急時に受け入れ可能なショートステイ(短期入所)	緊急時に受け入れ可能な病院・診療所	介護者のレスパイトケア（介護者の一時的な休息を支援するショートステイ等のサービス）の拡充	医療的ケアの行える施設、事業所等の職員の増加	重度の障害や医療的ケアを要しても、受け入れ可能な病院・診療所	医療、福祉、保健、教育等の各分野の支援を調整するコーディネーターの育成	障害児・者一貫した相談支援の行える専門機関(窓口)	その他	回答なし	回答者数
ある	472 72.8	471 72.7	482 74.4	455 70.2	409 63.1	345 53.2	366 56.5	46 7.1	7 1.1	648 100.0
ない	1,143 64.2	1,408 79.1	1,171 65.7	1,221 68.6	941 52.8	941 52.8	946 53.1	48 2.7	76 4.3	1,781 100.0
回答なし	23 46.0	23 46.0	24 48.0	21 42.0	17 34.0	17 34.0	15 30.0	1 2.0	20 40.0	50 100.0
計	1,638 66.1	1,902 76.7	1,677 67.6	1,697 68.5	1,501 60.5	1,303 52.6	1,327 53.5	95 3.8	103 4.2	2,479 100.0

医療的ケアが必要な重症心身障害児者の受入れ経験の有無別でみると、「受入れたことがある」事業所等では、「介護者のレスパイトケア（介護者の一時的な休息を支援するショートステイ等のサービス）の拡充」が71.2%と最も多く、次いで「緊急時に受け入れ可能な病院・診療所」が70.3%、「医療的ケアの行える施設、事業所等の職員の増加」が68.4%となっている。

また、「受入れたことがない」事業所等では、「緊急時に受け入れ可能なショートステイ（短期入所）」が77.9%と最も多く、次いで「介護者のレスパイトケア（介護者の一時的な休息を支援するショートステイ等のサービス）の拡充」が77.3%、「緊急時に受け入れ可能な病院・診療所」が75.8%となっている。

表 9-3 地域生活支援に必要なこと【複数回答】（医療的ケアが必要な方の受入れ経験の有無別）

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

区分	緊急時に受け入れ可能なショートステイ(短期入所)	緊急時に受け入れ可能な病院・診療所	介護者のレスパイトケア（介護者の一時的な休息を支援するショートステイ等のサービス）の拡充	医療的ケアの行える施設、事業所等の職員の増加	重度の障害や医療的ケアを要しても、受け入れ可能な病院・診療所	医療、福祉、保健、教育等の各分野の支援を調整するコーディネーターの育成	障害児・者一貫した相談支援の行える専門機関(窓口)	その他	回答なし	回答者数
受入れたことがある	213 68.1	220 70.3	223 71.2	214 68.4	176 56.2	152 48.6	180 57.5	24 7.7	2 0.6	313 100.0
受入れたことがない	254 77.9	247 75.8	252 77.3	236 72.4	228 69.9	189 58.0	181 55.5	21 6.4	5 1.5	326 100.0
回答なし	5 55.6	4 44.4	7 77.8	5 55.6	5 55.6	4 44.4	5 55.6	1 11.1	0 0.0	9 100.0
計	472 72.8	471 72.7	482 74.4	455 70.2	409 63.1	345 53.2	366 56.5	46 7.1	7 1.1	648 100.0

(参考) 調査票

『障害児（者）実態調査』へのご協力をお願い

平成28年8月

名古屋市からアンケートのお願いをいたします。

このアンケートは、障害のある方々の日頃の状況や健康状態などを把握することによって、本市の障害児（者）福祉施策の基礎資料として参考にするものです。

アンケート対象者は、愛護手帳（療育手帳）と身体障害者手帳を所持されている重度の方及び児童相談所が重症心身障害児として認定している方です。

このアンケートは、ご住所やお名前を書く必要はございません。回答内容は統計的に処理されるため、他の人に知られることは決してございません。

何卒、調査にご協力いただきますようお願いいたします。

ご記入いただくときの注意

- 1 ご本人の立場に立ってお答えください。
- 2 **平成28年8月1日現在**の状況でお答えください。
- 3 回答はあてはまる番号に○をつけてください。
場合によっては、数字やご意見をご記入いただくものもあります。
- 4 ご記入が終わりましたら、同封の返信用封筒にアンケートだけを入れて、

平成28年8月26日（金）までに

郵送してください。（切手を貼る必要はございません。）

ご不明な点がございましたら、お手数ですが、下記までお問い合わせください。

担当・お問い合わせ先 **名古屋市健康福祉局障害福祉部障害者支援課**

〒460-8508

名古屋市中区三の丸三丁目1番1号

電話：052-972-3097（直通） FAX：052-972-4149

※アンケートの結果は、平成29年3月までに本市ウェブサイトで公表する予定です。

障害児（者）実態調査票

問1 このアンケートにお答えいただくのはどなたですか。ご本人（障害児・者）から見た続柄で1つだけ○をつけてください。

- | | | |
|------------|----------|---------------|
| 1. 父 | 2. 母 | 3. 兄弟姉妹 |
| 4. 祖父母 | 5. その他親族 | 6. 施設・事業所等の職員 |
| 7. その他 () | | |

問2 ご本人が現在生活しているところについて、1つだけ○をつけてください。

(短期入所中、入所又は入院中の方は、それまでに普段生活していたところを選択してください。)

- | | | | |
|-------|------------|---------|-------|
| 1. 自宅 | 2. グループホーム | 3. 入所施設 | 4. 病院 |
|-------|------------|---------|-------|

ご本人の状況

問3 ご本人の性別に○をつけてください。

- | | |
|------|------|
| 1. 男 | 2. 女 |
|------|------|

問4 ご本人の年齢を記入してください。（平成28年8月1日現在）

満 _____ 歳

問5 ご本人の身長と体重を記入してください。

身長 _____ c m 体重 _____ k g

問6 ご本人のお住まいの区を記入してください。

なお、ご本人がグループホームに入居中の場合はグループホームホームの所在区、入所・入院中の場合は、入所・入院する前の居住区を記入してください。

名古屋市 _____ 区

問7 ご本人の手帳の内容について記入してください。

1. 身体障害者手帳 _____ 級

障害名 ()

2. 愛護手帳 _____ 度（療育手帳 A B C ）

問8 ご本人は、障害支援区分の認定を受けていますか。いずれかに○をつけてください。

1. 受けている → あてはまる区分に○
(区分1・区分2・区分3・区分4・区分5・区分6)
2. 受けていない

日常生活の状況

問9 ご本人が義務教育対象年齢の方にお聞きします。学校教育はどこで受けていますか。
1つだけ○をつけてください。

1. 施設や病院内の学校で受けている（施設や病院で受ける訪問教育は除く）
2. 訪問教育を受けている 3. 特別支援学校へ通っている
4. 普通学級へ通っている 5. 受けていない

問10 ご本人の移動の状況はいかがですか。1つだけ○をつけてください。

1. 寝たきり 2. 寝返りができる
3. 腹ばい 4. 四つばい
5. 座ったままで進む 6. 介助すれば歩くことができる
7. その他 ()

問11 ご本人の移動の手段はいかがですか。1つだけ○をつけてください。

1. バギーを使用している
2. 車いすを使用しているが、本人は操作できない
3. 車いすを使用しており、本人が操作できる（電動車いすを含む）
4. 歩行する（歩行器等の使用、手つなぎ等の介助を含む）
5. その他 ()

問12 ご本人の意思表示・言語はいかがですか。1つだけ○をつけてください。

1. 意思表示がほとんどできない
2. 表情、目の動きで伝えることができる
3. 話せないが、声や手ぶりや身ぶりで伝えることができる
4. 文字盤やトーキングエイド等の器具や装置を使って伝えることができる
5. 単語で意思表示ができる
6. 会話ができる
7. その他 ()

問13 ご本人の食事の状況はいかがですか。1つだけ○をつけてください。

- | | |
|-----------------------|-----------------|
| 1. 経管栄養（チューブで栄養剤を与える） | |
| 2. IVH（中心静脈栄養） | 3. 全介助（経口摂取） |
| 4. 一部介助（経口摂取） | 5. 自力で食べることができる |

問14 一回の食事に要する平均時間について、1つだけ○をつけてください。

- | | | |
|----------|------------|----------|
| 1. 30分以内 | 2. 30分～1時間 | 3. 1時間以上 |
|----------|------------|----------|

問15 ご本人の排泄の状況はいかがですか。1つだけ○をつけてください。

- | | |
|-----------------|----------------|
| 1. おむつを使用 | 2. 全介助（トイレを使用） |
| 3. 一部介助（トイレを使用） | 4. 自力でできる |

問16 ご本人の排泄の予告の状況はいかがですか。1つだけ○をつけてください。

- | | |
|----------------|------------|
| 1. 事前に知らせる | 2. 事後に知らせる |
| 3. 知らせることができない | |

問17 ご本人の排便に関して緩下剤又は浣腸を使用しますか。1つだけ○をつけてください。

- | |
|-------------------------------|
| 1. 使用する（毎日又は数日おきの定期的な使用） |
| 2. ときどき使用する（便が溜まったとき等、不定期に使用） |
| 3. 使用しない |

問18 ご本人はてんかん発作がありますか。いずれかに○をつけてください。また、「1. 発作あり」に○をつけた方は、その頻度について、平均回数を記入し、回答された回数単位に○をつけてください。

- | | | | | |
|---------|------|--------|---|-------------|
| 1. 発作あり | → 頻度 | _____回 | / | (日・週・月・年) |
| 2. 発作なし | | | | |

問19 てんかん発作を抑える投薬はしていますか。いずれかに○をつけてください。

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 投薬している | 2. 投薬していない |
|-----------|------------|

医療に関する状況

問20 ご本人に医療的処置を行っていますか。いずれかに○をつけてください。また、「1. 行っている」に○をつけた方は、行っている医療的処置すべてに○をつけてください。

1. 行っている		
ア. 吸引	イ. 吸入	ウ. 在宅酸素
エ. 人工呼吸器管理	オ. 導尿	カ. じょくそうの手当
キ. 経管栄養 → あてはまる処置に○		
[鼻から・胃ろう・腸ろう・その他 ()]		
ク. 気管切開の手当 (カニューレ交換、消毒等)		
ケ. I V H (中心静脈栄養)		
コ. その他 ()		
2. 行っていない		

問21 問2で、ご本人が現在生活しているところを「1. 自宅」と答えた方のみ記入してください。ご本人が風邪、軽症な感染症等の診療、予防接種等が必要な場合、地域でかけられる診療所等がありますか。いずれかに○をつけ、ある場合はかかる診療科を記入してください。

1. ある (診療科 _____ 科)	2. ない
---------------------	-------

福祉サービスの利用状況

問22～25は、問2で、ご本人が現在生活しているところを「1. 自宅」又は「2. グループホーム」と答えた方のみ記入してください。なお、各福祉サービスの概要については、別添の「福祉サービス一覧」をご参照ください。

問22 ご本人は現在、福祉サービスを利用していますか。いずれかに○をつけてください。また、「1. 利用している」に○をつけた方は、利用しているサービスすべてに○をつけてください。

1. 利用している		
ア. 居宅介護	イ. 重度訪問介護	ウ. 同行援護
エ. 行動援護	オ. 生活介護	カ. 短期入所
キ. 重度障害者包括支援	ク. 児童発達支援	ケ. 放課後等デイ
コ. 移動支援	サ. 移動入浴	シ. 日常生活用具
ス. その他 ()		
2. 利用していない		

問23 今後どのような福祉サービスの利用を希望しますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | | |
|----------------|----------------|------------|
| 1. 居宅介護 | 2. 重度訪問介護 | 3. 同行援護 |
| 4. 行動援護 | 5. 生活介護 | 6. 短期入所 |
| 7. 重度障害者包括支援 | 8. 児童発達支援 | 9. 放課後等デイ |
| 10. 移動支援 | 11. 移動入浴 | 12. 日常生活用具 |
| 13. 療養介護 | 14. 障害者支援施設 | |
| 15. 福祉型障害児入所施設 | 16. 医療型障害児入所施設 | |
| 17. その他 | 〔 〕 | |
| 18. 利用の希望がない | | |

問24 ご本人が利用している福祉サービスの量に満足していますか。1つだけ○をつけてください。

- | | | |
|---------------|---------------|-------|
| 1. 満足 | 2. どちらかといえば満足 | 3. 普通 |
| 4. どちらかといえば不満 | 5. 不満 | |

問25 ご本人が利用している福祉サービスの質や内容に満足していますか。1つだけ○をつけてください。

- | | | |
|---------------|---------------|-------|
| 1. 満足 | 2. どちらかといえば満足 | 3. 普通 |
| 4. どちらかといえば不満 | 5. 不満 | |

家族（介護者）の状況

問26～問32は、問2で「1. 自宅」と答えた方のみ記入してください。

問26 ご本人からみて同居されている家族について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | | |
|--------|----------|---------|
| 1. 父 | 2. 母 | 3. 兄弟姉妹 |
| 4. 祖父母 | 5. その他親族 | |
| 6. その他 | 〔 〕 | |

問27 どなたがご本人のお世話を主にされていますか。1つだけ○をつけてください。

- | | | |
|--------|----------|--------------|
| 1. 父 | 2. 母 | 3. 兄弟姉妹 |
| 4. 祖父母 | 5. その他親族 | 6. 事業所のヘルパー等 |
| 7. その他 | 〔 〕 | |

問28 問27で1～5に○をつけた方のみ記入してください。主な介護者の年齢を記入してください。(平成28年8月1日現在)

満_____歳

問29 問27で1～5に○をつけた方のみ記入してください。主な介護者の健康状況について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | | |
|---------------|-------------|------------|
| 1. 健康 | 2. 腰痛 | 3. 肩痛 |
| 4. 慢性疲労 | 5. 慢性的な睡眠不足 | 6. 慢性病で治療中 |
| 7. 高齢による体力の減退 | | |
| 8. その他 | 〔 〕 | |

問30 問27で1～5に○をつけた方のみ記入してください。主な介護者の睡眠状況について、あてはまるものいずれかに○をつけ、一日の睡眠時間を記入してください。

- | |
|---------------------------------------|
| 1. 連続・継続してまとまった時間眠れる (_____ 時間 / 日) |
| 2. 短時間睡眠を複数回とっている (_____ 時間 / 日) |

問31 問27で1～5に○をつけた方のみ記入してください。主な介護者の他に、日常的に介護の協力をしていただいている方がみえますか。いずれかに○をつけてください。また、おみえになる場合は、ご本人から見た続柄で、あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | | | |
|--------|-------|---------|-------------|
| 1. いる | | | |
| └─┬─┐ | ア 父 | イ 母 | ウ 兄弟姉妹 |
| └─┬─┐ | エ 祖父母 | オ その他親族 | カ 事業所のヘルパー等 |
| └─┬─┐ | キ その他 | 〔 〕 | |
| 2. いない | | | |

その他

問36 今後、新設または拡充してほしいサービス等について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 緊急時に受け入れ可能なショートステイ（短期入所）
2. 介護者のレスパイトケア（介護者の一時的な休息を支援するショートステイ等のサービス）の拡充
3. 緊急時に受け入れ可能な病院・診療所
4. 重度の障害や医療的ケアを要していても、受け入れ可能な病院・診療所
5. 医療的ケアの行える施設、事業所等の職員の増加
6. 医療、福祉、保健、教育等の各分野の支援を調整するコーディネーターの育成
7. 障害児・者一貫した相談支援の行える専門機関（窓口）
8. その他（ ）

問37 現在お困りのことで、名古屋市に期待すること、名古屋市重症心身障害児者施設ティンクルなごやへ期待すること等がございましたら、ご記入ください。

名古屋市重症心身障害児者施設ティンクルなごやは施設入所、短期入所の利用を随時募集しております。別添のご案内にある連絡先まで、まずはご相談ください。

ご協力ありがとうございました。

『重症心身障害児者の医療に係る調査』への ご協力のお願い

平成28年8月

名古屋市からアンケートのお願いをいたします。

このアンケートは、障害のある方々や診療所の状況を把握することによって、本市の障害児（者）福祉施策の基礎資料として参考にするものです。

アンケート対象は、市内にある診療所です。

このアンケートは無記名方式で、回答内容は統計的処理されるため、貴診療所が特定されることは決してございません。

何卒、調査にご協力いただきますようお願いいたします。

なお、診療所を対象としたこのアンケートの他、重症心身障害児者本人・家族及び福祉サービス事業所を対象としたアンケートも実施しております。

（差し支えなければ、最後に貴診療所の名称、ご連絡先等をご記入ください。今後、重症心身障害児者の実態を詳しく把握するため、ご連絡させていただく場合がございます。）

ご記入いただくときの注意

- 1 平成28年8月1日現在の状況でお答えください。
- 2 回答はあてはまる番号に○をつけてください。
場合によっては、数字やご意見をご記入いただくものもあります。
- 3 ご記入が終わりましたら、同封の返信用封筒にアンケートだけを入れて、

平成28年9月9日（金）までに

郵送してください。（切手を貼る必要はございません。）

ご不明な点がございましたら、お手数ですが、下記までお問い合わせください。

担当・お問い合わせ先 **名古屋市健康福祉局障害福祉部障害者支援課**

〒460-8508

名古屋市中区三の丸三丁目1番1号

電話：052-972-3097（直通） FAX：052-972-4149

※アンケートの結果は、平成29年3月までに本市ウェブサイトで公表する予定です。

重症心身障害児者の医療に係る調査票

問 1 貴診療所の診療科について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|---------------------------|--------------------------|
| 1. 内科 | 2. 呼吸器内科（呼吸器科） |
| 3. 糖尿病・代謝内科 | 4. 腎臓内科 |
| 5. 心療内科 | 6. 神経内科 |
| 7. 循環器科・循環器内科 | 8. 感染症内科 |
| 9. 血液内科 | 10. 消化器内科・胃腸内科（消化器科・胃腸科） |
| 11. 外科 | 12. 呼吸器外科 |
| 13. 肛門外科 | 14. 脳神経外科 |
| 15. 整形外科 | 16. 形成外科 |
| 17. 美容外科 | 18. 小児外科 |
| 19. 乳腺外科 | 20. 気管食道外科（気管食道科） |
| 21. 心臓・血管外科（心臓血管外科・循環器外科） | |
| 22. 消化器外科・胃腸外科 | 23. 小児科 |
| 24. 放射線科 | 25. 耳鼻咽喉科 |
| 26. 泌尿器科 | 27. 皮膚科 |
| 28. 眼科 | 29. 麻酔科 |
| 30. 精神科（神経科） | 31. リハビリテーション科 |
| 32. リウマチ科 | 33. 産婦人科 |
| 34. 産科 | 35. 婦人科 |
| 36. 臨床検査科 | 37. 病理診断科 |
| 38. アレルギー科 | 39. 救急科 |
| 40. その他 | |
- [

]

問 2 貴診療所の所在区を記入してください。

名古屋市_____区

問 3 在宅療養支援診療所の届出をされていますか。いずれかに○をつけてください。

- | | |
|---------|----------|
| 1. している | 2. していない |
|---------|----------|

問4 今までに重症心身障害児者（※）に対して何らかの診察、治療等を行った経験がありますか。いずれかに○をつけてください。

1. ある

2. ない → 問9へ

※「重症心身障害児者」とは次のいずれかに該当する方です。

1. 愛護手帳が1度又は2度で、かつ身体障害者手帳の肢体不自由（下肢、体幹又は脳原性による移動機能障害）の程度が1級又は2級の方
2. 児童相談所から重症心身障害児として認定を受けた方

問5 問4で「1. ある」に○をつけた方のみ記入してください。診察、治療等の実績について、平均回数（延人数）を記入し、回答された回数の単位に○をつけてください。

実績_____回 / （ 日 ・ 週 ・ 月 ・ 年 ）

問6 問4で「1. ある」に○をつけた方のみ記入してください。次の診察、治療等を行ったことはありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | | |
|---------|---------|---------|
| 1. 予防接種 | 2. 健康診断 | 3. 通常診療 |
| 4. その他 | | |

（

）

問7 問4で「1. ある」に○をつけた方のみ記入してください。重症心身障害児者に診察、治療等を行うに至った経緯について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 患者の家族からの相談
2. 患者のかかりつけの医療機関からの紹介
3. 患者の利用する福祉サービス事業所からの依頼
4. その他

（

）

問8 問4で「1. ある」に○をつけた方のみ記入してください。重症心身障害児者に「医療的ケア」を実施したことがありますか。いずれかに○をつけてください。また、「1. 実施したことがある」に○をつけた方は、実施したことがある医療的ケアすべてに○をつけてください。

1. 実施したことがある

- | | | | |
|--------|---|-------------------------------------|---|
| ↓
→ | {
ア. 吸引
エ. 在宅酸素
キ. 褥瘡の手当
コ. その他 | {
イ. 吸入
オ. 人工呼吸器管理
ク. 経管栄養 | {
ウ. 気管切開の手当
カ. 導尿
ケ. IVH (中心静脈栄養) |
| | | | |
| | | | |
| | | | |

2. 実施したことがない

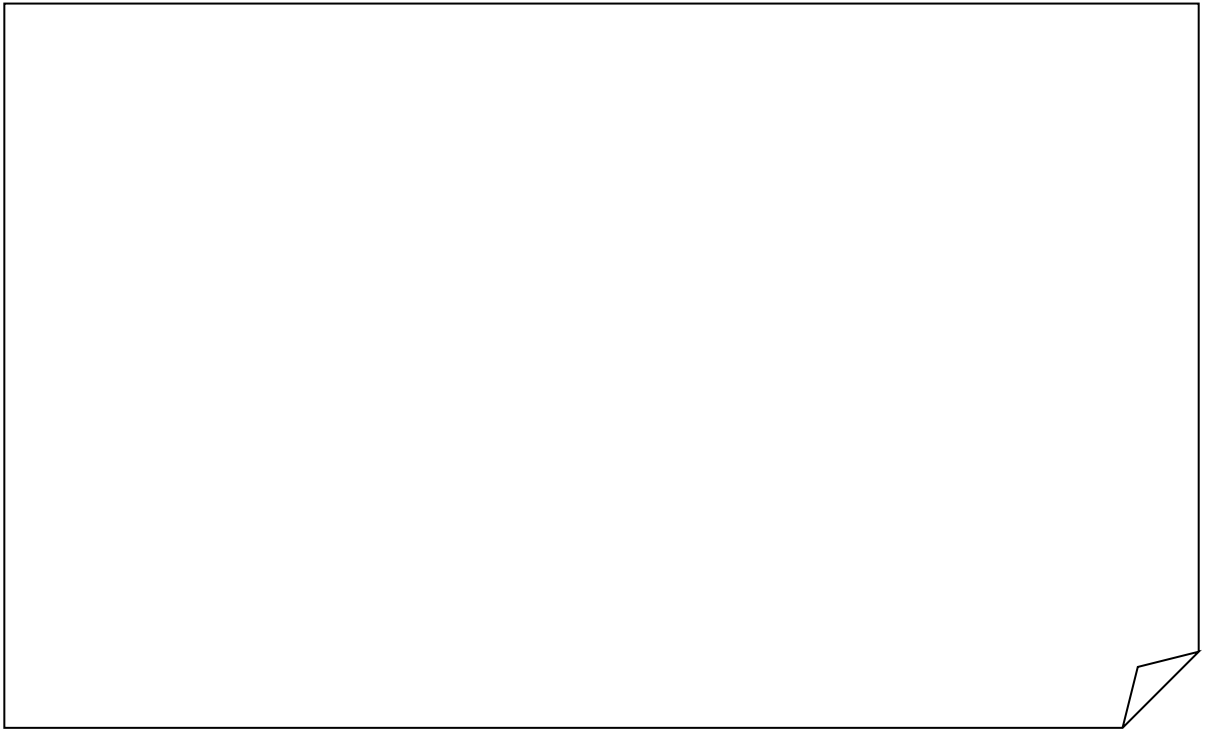
問9 医療的ケアが必要な重症心身障害児者に診察、治療等を行うにあたって、必要なことはどのようなことだと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 医療機関や福祉サービス等からの情報（身体、障害、既往歴、投薬状況等）
2. 総合病院のバックアップ、他の医療機関との連携
3. 重症心身障害についての専門知識や診療等の経験
4. 医師・看護師等の十分な配置
5. 診療報酬の増加
6. その他 ()

問10 医療的ケアが必要な重症心身障害児者の地域での生活を支援するにあたって、必要なことはどのようなことだと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 緊急時に受け入れ可能なショートステイ（短期入所）
2. 緊急時に受け入れ可能な病院・診療所
3. 介護者のレスパイトケア（介護者の一時的な休息を支援するショートステイ等のサービス）の拡充
4. 医療的ケアの行える施設、事業所等の職員の増加
5. 重度の障害や医療的ケアを要していても、受け入れ可能な病院・診療所
6. 医療、福祉、保健、教育等の各分野の支援を調整するコーディネーターの育成
7. 障害児・者一貫した相談支援の行える専門機関（窓口）
8. その他 ()

問11 その他、重症心身障害児者の支援について、名古屋市に期待すること、ご意見等がございましたら、ご記入ください。



※ 差し支えなければ、貴診療所の名称、ご担当者名、ご連絡先について、記入してください。

診療所名称	_____
担 当 者	_____
住 所	_____
電 話	_____

ご協力ありがとうございました。

『重症心身障害児者の福祉サービス等に係る調査』へのご協力のお願い

平成28年8月

名古屋市からアンケートのお願いをいたします。

このアンケートは、障害のある方々や福祉サービス事業所等の状況を把握することによって、本市の障害児（者）福祉施策の基礎資料として参考にするものです。

アンケート対象は、市内にある障害福祉サービス事業所、障害者支援施設、相談支援事業所、障害児通所支援事業所、障害児入所施設、障害児相談支援事業所、地域生活支援事業所、重症心身障害児小規模通所援護事業所、訪問看護事業所で、指定を受けられているサービス種別ごとにアンケートを送付しております。よって、1つの事業所・施設でアンケートが複数届くこともあります。サービス種別ごとにご回答くださいますようお願いいたします。

このアンケートは無記名方式で、回答内容は統計的処理されるため、貴事業所・施設が特定されることは決してございません。

何卒、調査にご協力いただきますようお願いいたします。

なお、福祉サービス事業所等を対象としたこのアンケートの他、重症心身障害児者本人・家族及び診療所を対象としたアンケートも実施しております。

差し支えなければ、最後に貴事業所・施設の名称、ご連絡先等をご記入ください。今後、重症心身障害児者の実態を詳しく把握するため、ご連絡させていただく場合がございます。

ご記入いただくときの注意

- 1 平成28年8月1日現在の状況でお答えください。
- 2 回答はあてはまる番号に○をつけてください。
場合によっては、数字やご意見をご記入いただくものもあります。
- 3 ご記入が終わりましたら、同封の返信用封筒にアンケートだけを入れて、
平成28年9月9日（金）までに
郵送してください。（切手を貼る必要はございません。）

ご不明な点がございましたら、お手数ですが、下記までお問い合わせください。

担当・お問い合わせ先 **名古屋市健康福祉局障害福祉部障害者支援課**

〒460-8508

名古屋市中区三の丸三丁目1番1号

電話：052-972-3097（直通） FAX：052-972-4149

※アンケートの結果は、平成29年3月までに本市ウェブサイトで公表する予定です。

重症心身障害児者の福祉サービス等に係る調査票

調査票は指定を受けられているサービス種別ごとにご回答ください。ただし、施設入所支援とともに日中活動系サービスの指定を受けられている場合、問1は「19. 障害者支援施設」に○をつけてください。

問1 貴事業所・施設のサービス種別について、1つだけ○をつけてください。

- | | |
|--------------------|-----------------------|
| 1. 居宅介護 | 2. 重度訪問介護 |
| 3. 同行援護 | 4. 行動援護 |
| 5. 生活介護 | 6. 短期入所 |
| 7. 重度障害者等包括支援 | 8. 自立訓練（機能訓練） |
| 9. 自立訓練（生活訓練） | 10. 就労移行支援 |
| 11. 就労継続支援A型 | 12. 就労継続支援B型 |
| 13. 共同生活援助 | 14. 相談支援 |
| 15. 児童発達支援 | 16. 医療型児童発達支援 |
| 17. 放課後等デイサービス | 18. 保育所等訪問支援 |
| 19. 障害者支援施設 | 20. 療養介護 |
| 21. 福祉型障害児入所施設 | 22. 医療型障害児入所施設 |
| 23. 移動支援 | 24. 移動入浴 |
| 25. 精神障害者地域活動支援事業所 | 26. デイサービス型地域活動支援事業所 |
| 27. 作業所型地域活動支援事業所 | 28. 重症心身障害児小規模通所援護事業所 |
| 29. 福祉ホーム | 30. 訪問看護 |

問2 貴事業所・施設の所在区を記入してください。

名古屋市_____区

問3 今までに重症心身障害児者（※）を貴事業所・施設で受入れたことがありますか。
いずれかに○をつけてください。

1. ある

2. ない → 問8へ

※「重症心身障害児者」とは次のいずれかに該当する方です。

1. 愛護手帳が1度又は2度で、かつ身体障害者手帳の肢体不自由（下肢、体幹又は脳原性による移動機能障害）の程度が1級又は2級の方
2. 児童相談所から重症心身障害児として認定を受けた方

問4 問3で「1. ある」に○をつけた方のみ記入してください。重症心身障害児者の利用実績について、平均延人数を記入し、回答された人数の単位に○をつけてください。

実績_____人 / （ 日 ・ 週 ・ 月 ・ 年 ）

問5 問3で「1. ある」に○をつけた方のみ記入してください。重症心身障害児者を受入れるに至った経緯について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 利用者の家族からの相談
2. 利用者のかかりつけの医療機関等からの紹介
3. 利用者の利用する相談支援事業所からの依頼
4. その他

（ ）

問6 問3で「1. ある」に○をつけた方のみ記入してください。医療的ケアが必要な重症心身障害児者を受入れたことがありますか。いずれかに○をつけてください。また、「1. 受入れたことがある」に○をつけた方は、必要な医療的ケアすべてに○をつけてください。

1. 受入れたことがある

→	ア. 吸引	イ. 吸入	ウ. 気管切開の手当
	エ. 在宅酸素	オ. 人工呼吸器管理	カ. 導尿
	キ. 褥瘡の手当	ク. 経管栄養	ケ. IVH（中心静脈栄養）
	コ. その他	（ ）	

2. 受入れたことがない

問7 問6で「1. 受入れたことがある」に○をつけた方のみ記入してください。重症心身障害児者を受入れるにあたって、対応したことはどのようなことですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 医師、看護師、理学療法士等の医療職の加配
2. 医療職以外の職員の加配
3. 介護や支援における専門知識の習得
4. 医療機関、福祉サービス事業所等との個別の連携
5. その他 ()
6. 特に対応していない

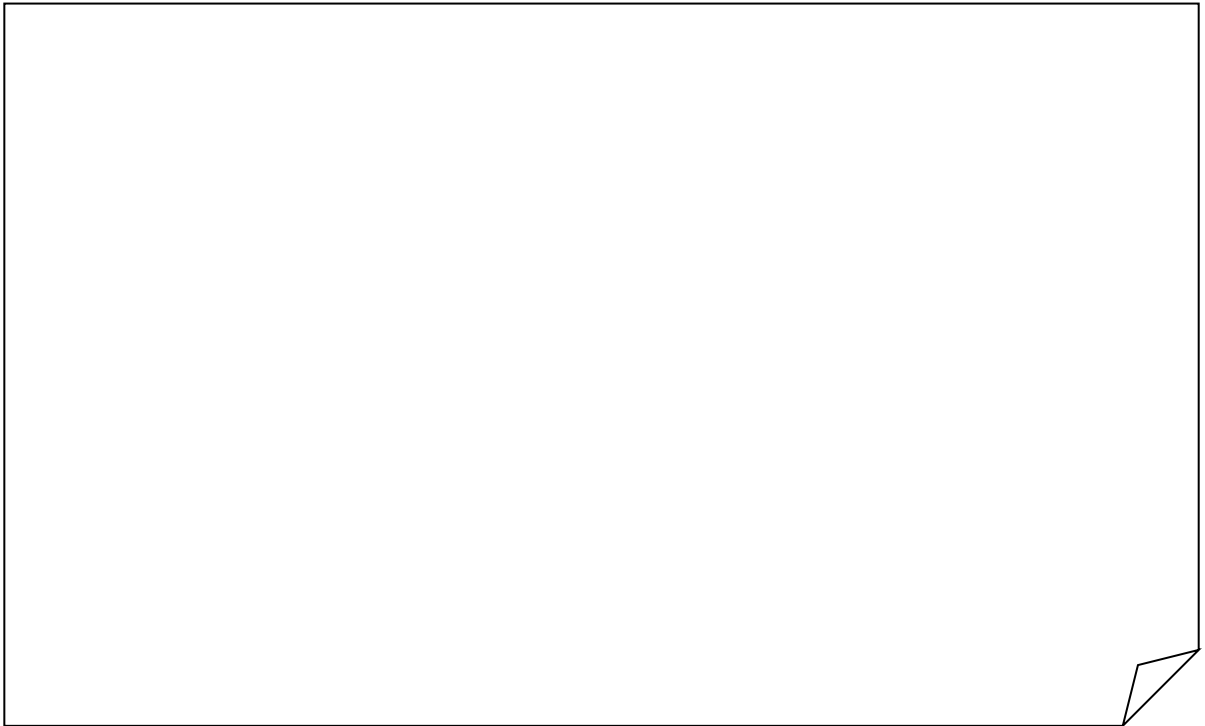
問8 医療的ケアが必要な重症心身障害児者の利用を受入れるにあたって、必要なことはどのようなことだと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 医療機関や福祉サービス等からの情報（身体、障害、既往歴、投薬状況等）
2. 重症心身障害についての専門知識や介護等の経験
3. 医師・看護師等の十分な配置
4. 報酬等の収入の増加
5. その他 ()

問9 医療的ケアが必要な重症心身障害児者の地域での生活を支援するにあたって、必要なことはどのようなことだと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 緊急時に受け入れ可能なショートステイ（短期入所）
2. 緊急時に受け入れ可能な病院・診療所
3. 介護者のレスパイトケア（介護者の一時的な休息を支援するショートステイ等のサービス）の拡充
4. 医療的ケアの行える施設、事業所等の職員の増加
5. 重度の障害や医療的ケアを要していても、受け入れ可能な病院・診療所
6. 医療、福祉、保健、教育等の各分野の支援を調整するコーディネーターの育成
7. 障害児・者一貫した相談支援の行える専門機関（窓口）
8. その他 ()

問10 その他、重症心身障害児者の支援について、名古屋市に期待すること、ご意見等がございましたら、ご記入ください。



※ 差支えなければ、貴事業所・施設の名称、ご担当者名、ご連絡先について、記入してください。

事業所・施設名称 _____

担当者 _____

住 所 _____

電 話 _____

ご協力ありがとうございました。

重症心身障害児者実態調査報告書

発行年月 平成 29 年 3 月
発 行 名古屋市
編 集 名古屋市健康福祉局障害福祉部障害者支援課
〒460-8508
名古屋市中区三の丸三丁目 1 番 1 号
電 話 〈052〉972-2560（ダイヤルイン）
FAX 〈052〉972-4149